

令和 4 年度
秋田県産業廃棄物実態調査
フォローアップ等調査報告書
(令和 3 年度実績)

令和 5 年 3 月

秋 田 県

目 次

第 1 章 調査の概要	1
第 1 節 調査の目的	1
第 2 節 調査に関する基本的事項	1
第 3 節 調査の方法	6
第 4 節 調査結果の利用上の留意事項	9
第 5 節 標本抽出・回収結果	11
第 2 章 調査結果	13
第 1 節 結果の概要	13
第 2 節 排出状況	14
第 3 節 処理状況	18
第 3 章 業種別の調査結果	26
第 1 節 建設業	26
第 2 節 製造業	29
第 3 節 電気・水道業	33
第 4 節 その他の業種	36
第 4 章 農業・鉱業を含めた産業廃棄物	40
第 1 節 農業からの産業廃棄物	40
第 2 節 鉱業からの産業廃棄物	41
第 3 節 農業・鉱業を含めた排出量	43
第 5 章 産業廃棄物の移動状況	44
第 1 節 産業廃棄物の移動状況の概要	44
第 2 節 県外への搬出状況	45
第 3 節 県内への搬入状況	46
第 6 章 産業廃棄物の推移	48
第 1 節 令和 2 年度実績との比較	48
第 2 節 目標の達成状況	50
第 7 章 意識調査結果	51
第 1 節 電子マニフェストの利用状況について	51
第 2 節 県への要望等について	53
参考資料＜統計表＞	55
参考資料＜調査票等一式＞	115

第 1 章 調査の概要

第 1 節 調査の目的

調査は、秋田県内で排出される産業廃棄物の発生及び処理の状況を調査し、産業廃棄物の発生量、処理量及び処理方法等を把握することを目的に実施した。

第 2 節 調査に関する基本的事項

1 調査対象期間

令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日までの 1 年間

2 調査対象廃棄物

調査対象廃棄物は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 2 条第 4 項及び第 2 条第 5 項、同法施行令第 2 条及び第 2 条の 4 に定める表 1-2-1 及び表 1-2-2 の産業廃棄物とした。

なお、これらの産業廃棄物のうち、汚泥、廃油、廃プラスチック類、がれき類については、廃棄物の性状に応じて種類をさらに区分した。

表 1-2-1 産業廃棄物の区分

	調査対象廃棄物	細区分化の例等
1	燃え殻	
2	汚泥	有機性汚泥、無機性汚泥
3	廃油	一般廃油、廃溶剤、その他
4	廃酸	
5	廃アルカリ	
6	廃プラスチック類	廃プラスチック、廃タイヤ
7	紙くず	
8	木くず	
9	繊維くず	
10	動植物性残さ	
11	動物系固形不要物	
12	ゴムくず	
13	金属くず	
14	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	※本報告書における図表では「ガラス陶磁器くず」と略した
15	鉱さい	
16	がれき類	コンクリート片、廃アスファルト、その他
17	動物のふん尿	
18	ばいじん	
19	上記の産業廃棄物を処分するために処理したもの	コンクリート固形化物等

表 1-2-2 特別管理産業廃棄物の区分

	調査対象廃棄物	細区分化の例
1	廃油	揮発油類、灯油類、軽油類
2	廃酸	pH が 2.0 以下の廃酸
3	廃アルカリ	pH が 12.5 以上の廃アルカリ
4	感染性産業廃棄物	
5	特定有害産業廃棄物	

また、次の有償物、廃棄物等については、それぞれ記載のとおり取り扱うこととした。

- (1) 法令上廃棄物とならない有償物も今後の社会状況の変化によっては産業廃棄物となる可能性があるため、今回の調査対象に含めた。
- (2) 紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ及び動物系固形不要物については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第2条で、産業廃棄物となる業種が指定されている。このため、指定された業種以外の事業所から発生した紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ及び動物系固形不要物については、原則として事業系一般廃棄物とし、調査対象から除外した。ただし、貨物の流通のために使用したパレットに係る木くずは、産業廃棄物として取り扱われるため、パレットに係る木くずはすべての業種で産業廃棄物として集計した。
- (3) 酸性又はアルカリ性の排水であって、これを公共用水域へ放流することを目的として事業所で中和処理を行っている場合には、中和処理後に生じた汚泥（沈でん物）を調査対象廃棄物とし、脱水前の量を発生量とした。
- (4) 自社で廃棄物を焼却処理した場合は、焼却処理前の廃棄物を発生量とし、焼却処理後は自己中間処理後量として計上した。

3 調査対象業種

調査対象業種は、日本標準産業分類（[平成 25 年 10 月改訂]総務省）に記載された分類を基本に、産業廃棄物の排出量等を勘案し、表 1-2-3 の業種とした。

なお、本報告書では、業種の名称を一部省略して用いた。

表 1-2-3 調査対象業種

日本標準産業分類	略 称
建設業	建設業
製造業 食料品製造業 飲料・たばこ・飼料製造業 繊維工業 木材・木製品製造業（家具を除く） 家具・装備品製造業 パルプ・紙・紙加工品製造業 印刷・同関連業 化学工業 石油製品・石炭製品製造業 プラスチック製品製造業 ゴム製品製造業 なめし革・同製品・毛皮製造業 窯業・土石製品製造業 鉄鋼業 非鉄金属製造業 金属製品製造業 はん用機械器具製造業 生産用機械器具製造業 業務用機械器具製造業 電子部品・デバイス・電子回路製造業 電気機械器具製造業 情報通信機械器具製造業 輸送用機械器具製造業 その他の製造業	製造業 食料品 飲料・飼料 繊維 木材 家具 パルプ・紙 印刷 化学 石油・石炭 プラスチック ゴム 皮革 窯業・土石 鉄鋼 非鉄金属 金属 はん用機器 生産用機器 業務用機器 電子部品 電気機器 情報通信機器 輸送機器 その他
電気・ガス・熱供給・水道業 電気業 ガス業 上水道業 下水道業	電気・水道業 電気業 ガス業 上水道業 下水道業

4 調査対象地域

本調査では、秋田県内全域を調査対象とし、次の構成市町村により 4 地域とした。

表 1-2-4 地域区分

地 域 名	構 成 市 町 村
秋田市	秋田市
県北地域	能代市、大館市、鹿角市、北秋田市、小坂町、上小阿仁村、藤里町、三種町、八峰町
県央地域	男鹿市、由利本荘市、潟上市、にかほ市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村
県南地域	横手市、湯沢市、大仙市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村

5 排出量及び処理状況の流れ図

調査の集計結果は、図 1-2-1 の排出量及び処理状況の流れ図に示した項目により、取りまとめた。

なお、図 1-2-1 における各項目の用語の定義は、表 1-2-5 のとおりである。

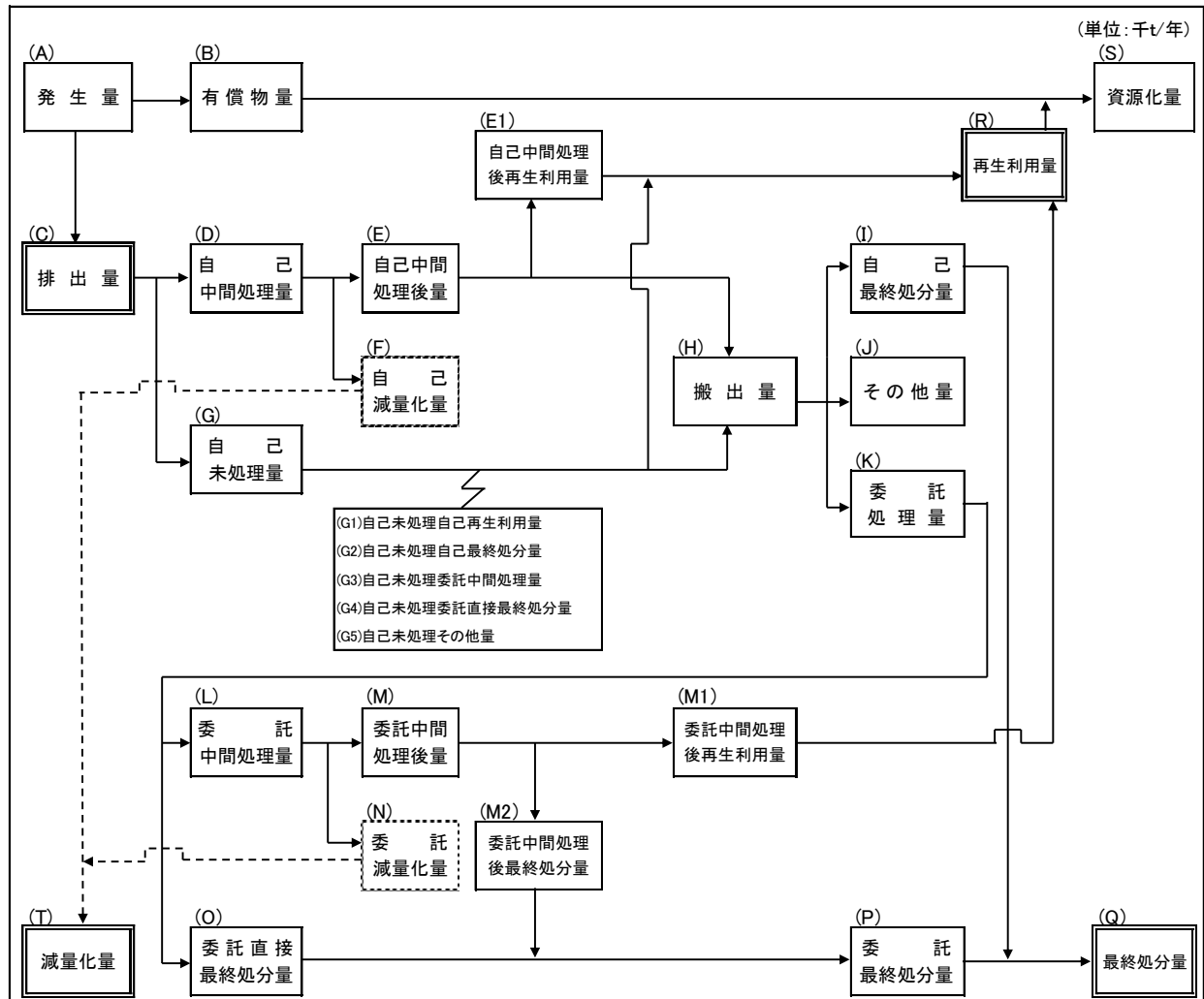


図 1-2-1 排出量及び処理状況の流れ図

表 1-2-5 排出量及び処理状況の流れ図の項目に関する用語の定義

項 目	定 義
(A) 発生量	事業場内等で生じた産業廃棄物量及び有償物量
(B) 有償物量	(A)の発生量のうち、中間処理されることなく、他者に有償で売却した量(他者に有償売却できるものを自己利用した場合を含む)
(C) 排出量	(A)の発生量のうち、(B)の有償物量を除いた量
(D) 自己中間処理量	(C)の排出量のうち、自ら中間処理した廃棄物量で処理前の量
(G) 自己未処理量	(C)の排出量のうち、自己中間処理されなかった量
(G1) 自己未処理自己再生利用量	(G)の自己未処理量のうち、他者に有償売却できないものを自ら利用した量
(G2) 自己未処理自己最終処分量	(I)の自己最終処分量のうち、自己未処理で自己最終処分された量
(G3) 自己未処理委託中間処理量	(L)の委託中間処理量のうち、自己未処理で委託中間処理された量
(G4) 自己未処理委託直接最終処分量	(O)の委託直接最終処分量のうち、自己未処理で委託直接最終処分された量
(G5) 自己未処理その他量	(J)のその他量のうち、自己未処理でその他となった量
(E) 自己中間処理後量	(D)で中間処理された後の廃棄物量
(E1) 自己中間処理後再生利用量	(E)の自己中間処理後量のうち、自ら利用し又は他者に有償で売却した量
(F) 自己減量化量	(D)の自己中間処理量から(E)の自己中間処理後量を差し引いた量
(H) 搬出量	(I)の自己最終処分量、(J)のその他、(K)の委託処理量の合計
(I) 自己最終処分量	自己の埋立地に処分した量
(J) その他量	保管されている量、又は、それ以外の量
(K) 委託処理量	中間処理及び最終処分を委託した量
(L) 委託中間処理量	(K)の委託処理量のうち、処理業者等で中間処理された量
(O) 委託直接最終処分量	(K)の委託処理量のうち、処理業者等で中間処理されることなく最終処分された量
(M) 委託中間処理後量	(L)で中間処理された後の廃棄物量
(M1) 委託中間処理後再生利用量	(M)の委託中間処理後量のうち、処理業者等で自ら利用し又は他者に有償で売却した量
(M2) 委託中間処理後最終処分量	(M)の委託中間処理後量のうち、最終処分された量
(N) 委託減量化量	(L)の委託中間処理量から(M)の委託中間処理後量を差し引いた量
(P) 委託最終処分量	処理業者等で最終処分された量
(Q) 最終処分量	排出事業者と処理業者等の最終処分量の合計
(R) 再生利用量	排出事業者又は、処理業者等で再生利用された量
(S) 資源化量	(B)の有償物量と(R)の再生利用量の合計
(T) 減量化量	排出事業者又は、処理業者等の中間処理により減量された量

第3節 調査の方法

1 調査方法の概要

調査は、「産業廃棄物排出・処理実態調査指針 改訂版（平成22年4月 環境省）」に基づき、排出事業者へのアンケート調査（全数調査、標本調査）と既存資料（処分業者による処分実績報告等）を用いた調査を組み合わせ、産業廃棄物の排出量及び処理量を把握する方法で行った。

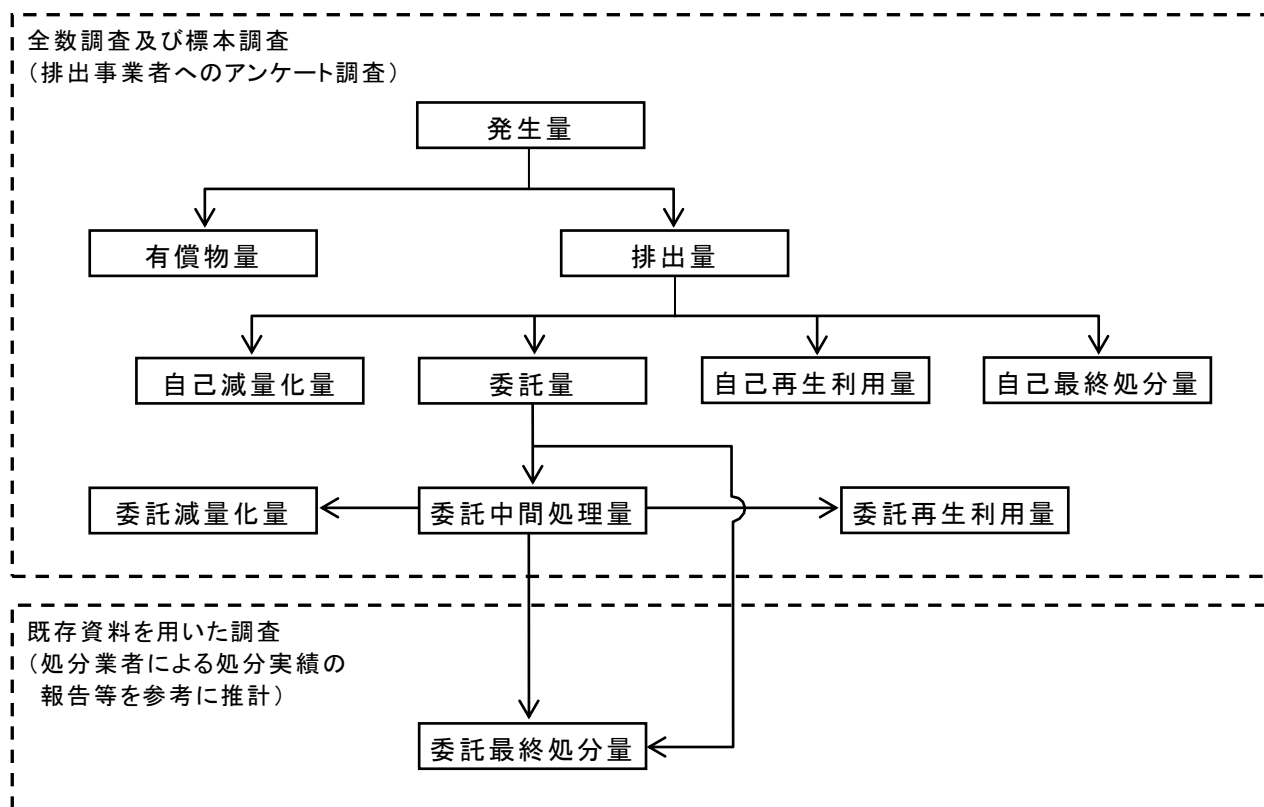


図 1-3-1 排出事業者へのアンケート調査等による方法

○水道業は、浄水場及び下水処理場の全施設に対してアンケート調査を実施した。

○水道業以外の業種は、抽出した事業者に対してアンケート調査を実施した。なお、建設業と製造業においては、業種毎の活動量指標を用いて調査対象全体の産業廃棄物の発生量を推計した。

2 標本調査について

標本調査は、郵便配布及び郵便回収によるアンケート調査により実施した。

回答を得た産業廃棄物の排出量及び処理状況に関する内容と産業廃棄物の排出量を説明する活動量指標(製造品出荷額等)を基に、県内の産業廃棄物の排出量等を推定した。

(1) 標本抽出方法

標本調査の抽出は、令和元年経済センサス基礎調査を基に、業種別、従業者規模別、地域別に事業所を層別し、これらの各層ごとに実施した。

表 1-3-1 標本抽出方法

業 種	抽出方法等
建設業	○資本金 1 億円以上：全数抽出 ○資本金 1 億円未満：令和 3 年度産業廃棄物排出量が 1,000 t 以上の事業所を全数抽出
製造業	○従業者 50 人以上：全数抽出 ○従業者 50 人未満：令和 3 年度産業廃棄物排出量が 1,000 t 以上の事業所を全数抽出 ※ 上記に該当が無い業種等は、令和 2 年度秋田県産業廃棄物実態調査・令和 3 年度秋田県産業廃棄物実態調査フォローアップ等調査により発生量のあった事業所から抽出
電気・水道業	○電気業は令和 2 年度秋田県産業廃棄物実態調査の対象事業所（風力及び地熱の廃棄物が発生しない事業は除く） ○ガス業は令和 2 年度秋田県産業廃棄物実態調査の対象事業所 ○水道業は施設名簿より全数抽出

(2) アンケート調査項目

アンケート調査の項目は、活動量指標(製造品出荷額等)と廃棄物の排出量及び処理状況に関するものとし、調査票の形式は、各業種で排出される廃棄物や処理状況の特性を考慮して、次の 2 種類の調査票を作成した。

○建設業

○製造業及び電気・水道業

各調査票における調査項目の詳細は、本報告書の巻末のとおりである。

(3) 排出原単位の算出と調査対象全体の排出量の推定方法

1) 排出原単位の算出

排出原単位は、アンケート調査等によって得られた標本の業種別、種類別に集計した産業廃棄物量と、業種別の集計活動量指標から、図 1-3-2 の A 式により活動量指標単位当たりの産業廃棄物排出量（排出原単位）を算出した。

2) 調査対象全体の排出量の推定方法

1) で算出された排出原単位と、業種別の調査対象全体（母集団）における調査当該年度の活動量指標を用いて、図 1-3-2 の B 式によって調査対象全体の産業廃棄物の排出量を推定した。

① 排出原単位の算出		
A 式	$\alpha = W / O$	α : 産業廃棄物の排出原単位 W : 標本に基づく集計産業廃棄物排出量 O : 標本に基づく集計活動量指標
② 調査対象全体の発生量の推定方法		
B 式	$W' = \alpha \times O'$	W' : 調査当該年度の推定産業廃棄物排出量 O' : 調査当該年度の母集団の活動量指標

図 1-3-2 排出原単位の算出と排出量の推定計算の概念図

3) 活動量指標

本調査で推計に用いた活動量指標は、次のとおりである。

表 1-3-2 業種別の活動量指標

業 種	活動量指標	出 典
建設業	元請完成工事高	建設工事施工統計調査報告 令和 2 年度実績 (国土交通省)
製造業	製造品出荷額等	2020 年工業統計調査(経済産業省)
電気・水道業	従業者数	平成 28 年経済センサス活動調査(総務省)

※水道業は全数調査のため推定していない。

第4節 調査結果の利用上の留意事項

1 産業廃棄物の種類の区分

本報告書では、産業廃棄物の種類を3段階で設定した。

1 段階	発生時点の種類
2 段階	排出事業者の中間処理により変化した処理後の種類 例；木くず→（焼却）→〔燃え殻〕 注）1段階時点の種類と排出事業者の中間処理方法を用いて推定した。
3 段階	委託中間処理により変化した処理後の種類 注）2段階時点の種類と委託中間処理方法を用いて推定した。

中間処理により廃棄物の種類が変化する場合がある。この場合において、中間処理後の変化した廃棄物の種類で記載した場合には「種類別：変換」と記載し、変化する前（発生時）の廃棄物の種類で記載した場合には「種類別：無変換」と表現した。

2 建設業の地域別排出量等の推計方法

建設業は他の業種と違い、事業所のある場所が廃棄物の排出場所ではなく、工事現場が廃棄物の排出場所となっている。本調査では、建設業の各地域別の量を算出するため、建設業における産業廃棄物の排出量全体を地域別の人口数の割合で按分して算出した。

3 その他の業種の排出量等の推計方法

建設業、製造業、電気・水道業以外の業種（その他の業種）は、令和2年度の秋田県産業廃棄物実態調査報告書のデータを使用して推計した値を令和3年度実績とした。

その他の業種	情報通信業、運輸業、卸・小売業、物品賃貸業、 学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、 教育・学習支援業、医療・福祉、サービス業
--------	---

4 単位と数値に関する処理

（1）単位に関する表示

本報告書の調査結果表においては、すべて1年間の量であることを示すため、図表の単位は「千 t/年」で表示しているが、文章中においては、原則として「千トン」で記述している。

（2）数値の処理

本報告書に記載されている千トン表示の数値は、四捨五入しているために、総数と個々の合計とは一致しないものがある。なお、表中の空欄は、1トン/年以上の該当値がなかったもの、「0」表示は、500トン/年未満であることを示している。

また、構成比(%)はトン単位で算出しているため、四捨五入した千トン表示の数値で計算した場合と一致しないものがある。

5 特別管理産業廃棄物について

本報告書は、特別管理産業廃棄物を含めた結果を産業廃棄物として記載している（例：引火性廃油→廃油に含む、特定有害廃酸→廃酸に含む）。ただし、感染性産業廃棄物については、該当する産業廃棄物の種類がないため、「その他の産業廃棄物」に含めて集計した。

6 農業と鉱業から発生する産業廃棄物の取り扱い

農業と鉱業から発生する産業廃棄物は、前回調査との整合性や秋田県循環型社会形成推進基本計画の数値目標に含まれていないことなどから、第4章でのみ記載している。第4章以外の推計結果には、県内の農業と鉱業から発生する産業廃棄物は含まれていない。

第5節 標本抽出・回収結果

秋田県内に所在する総事業所数 51,473 件（令和元年経済センサス基礎調査）のうち、アンケート調査の対象となったのは 8,811 事業所である。

このうち、業種特性、規模別特性等を考慮し、設定された業種別、従業者規模別の抽出率を基に、562 事業所（抽出率 6.4%）を抽出し、アンケート調査を実施した。

回収された調査票は 483 件（回収率 85.9%）であり、このうち、廃業及び休業等の理由により無効となった調査票を除いた有効調査票は、466 事業所であった。

標本抽出・回収結果	
総事業所数	: 51,473 事業所
調査対象事業所数	: 8,811 事業所
アンケート送付事業所数	: 562 事業所
回答数	: 483 事業所
回収率	: 85.9 %
有効回答数	: 466 事業所

標本抽出及び回収結果は、表 1-5-1 のとおりであり、表中の項目の説明は次のとおりである。

- A 調査対象事業所数 : アンケート調査の対象とした業種の県内全体の事業所数
- B 抽出事業所数 : 調査対象事業所よりアンケート調査の対象として抽出した事業所数
- C 抽出率 : $B \div A \times 100$
- D 回収事業所数 : アンケート調査票を送付し調査票が回収（返送）された事業所数
- E 回収率 : $D \div B \times 100$
- F 有効調査票数 : 事業所の廃業及び休業等の理由により無効となった調査票を除いた数
- G 集計活動量指標値 : 有効調査票より入力した各業種の活動量指標値（従業者数、元請完成工事高、製造品出荷額等）の集計値
- H 母集団の活動量指標値 : 各業種の活動量指標値の県全体値（母集団値）
- I 指標カバー率 : 県全体（母集団）の活動量指標値に対する有効調査票による集計活動量指標値の割合 $G \div H \times 100$
- J 集計廃棄物発生量 : 有効調査票より入力した各業種の廃棄物の発生量の集計値
- K 推定廃棄物発生量 : 各業種の廃棄物の発生量の推定値
- L 捕捉率 : 推定した廃棄物量に対する集計廃棄物量の割合 $J \div K \times 100$
（捕捉率は10単位で算出しているため、表 1-5-1 の $J \div K$ と一致しない場合がある。）

表 1-5-1 標本抽出・回収結果

	(A) 調査対象 事業所数	(B) 抽出事業 所数	(C) 抽出率 (B) ÷ (A)	(D) 回収事業 所数	(E) 回収率 (D) ÷ (B)	(F) 有効調査 票数	(G) 集計活動 量指標値	(H) 母集団の 活動量指 標値	(I) 指標カ バー率 (G) ÷ (H)	(J) 集計廃棄 物発生量 ＜千 t＞	(K) 推定廃棄 物発生量 ＜千 t＞	(L) 捕捉率 (J) ÷ (K)
合計	8,811	562	6.4%	483	85.9%	466	--	--	--	2,267.1	2,707.2	83.7%
建設業	5,395	168	3.1%	140	83.3%	132	241,830	628,228	38.5%	281.8	652.7	43.2%
製造業	3,335	313	9.4%	262	83.7%	254	750,106	1,286,173	58.3%	840.7	909.9	92.4%
食料品	607	29	4.8%	23	79.3%	23	49,650	111,846	44.4%	22.1	34.6	63.8%
飲料・飼料	84	5	6.0%	4	80.0%	4	8,611	21,703	39.7%	3.3	3.7	88.8%
繊維	410	25	6.1%	22	88.0%	22	16,200	35,941	45.1%	2.3	2.7	86.1%
木材	287	13	4.5%	10	76.9%	10	32,781	69,038	47.5%	87.9	91.8	95.8%
家具	239	5	2.1%	4	80.0%	4	2,387	10,101	23.6%	0.4	1.6	23.6%
パルプ・紙	24	5	20.8%	3	60.0%	3	30,420	38,748	78.5%	455.3	461.5	98.7%
印刷	158	5	3.2%	5	100.0%	5	2,245	11,487	19.5%	0.2	0.8	19.5%
化学	24	5	20.8%	5	100.0%	5	47,680	60,405	78.9%	8.4	9.6	87.6%
石油・石炭	28	5	17.9%	4	80.0%	4	2,011	4,948	40.6%	0.2	0.4	40.7%
プラスチック	68	8	11.8%	7	87.5%	7	10,066	25,962	38.8%	4.3	7.3	58.3%
ゴム	19	5	26.3%	3	60.0%	3	3,549	4,351	81.6%	0.2	0.2	82.0%
皮革	73	5	6.8%	3	60.0%	3	183	2,145	8.5%	0.0	0.0	8.5%
窯業・土石	135	28	20.7%	28	100.0%	26	21,153	34,421	61.5%	40.2	56.5	71.2%
鉄鋼	43	7	16.3%	6	85.7%	6	14,691	18,998	77.3%	10.5	12.2	86.1%
非鉄金属	21	11	52.4%	11	100.0%	11	59,654	66,794	89.3%	160.0	160.7	99.5%
金属	263	22	8.4%	20	90.9%	20	45,816	74,954	61.1%	5.0	8.2	61.1%
はん用機器	41	5	12.2%	5	100.0%	5	3,573	19,529	18.3%	0.4	2.3	18.3%
生産用機器	215	24	11.2%	22	91.7%	22	55,763	100,350	55.6%	3.0	5.3	55.6%
業務用機器	44	19	43.2%	16	84.2%	15	79,624	85,404	93.2%	10.9	11.4	95.1%
電子部品	136	42	30.9%	33	78.6%	29	190,577	373,368	51.0%	17.8	27.7	64.4%
電気機器	70	15	21.4%	11	73.3%	10	18,556	28,493	65.1%	2.7	3.0	88.8%
情報通信機器	20	8	40.0%	5	62.5%	5	5,641	8,901	63.4%	0.6	0.9	63.4%
輸送機器	51	12	23.5%	9	75.0%	9	47,163	67,079	70.3%	5.2	7.4	70.5%
その他	275	5	1.8%	3	60.0%	3	2,112	11,207	18.8%	0.0	0.1	19.2%
電気・水道業	81	81	100.0%	81	100.0%	80	--	--	--	1144.6	1144.6	100.0%
電気業	13	13	100.0%	13	100.0%	12	--	--	--	623.4	623.4	100.0%
ガス業	3	3	100.0%	3	100.0%	3	--	--	--	0.1	0.1	100.0%
上水道業	27	27	100.0%	27	100.0%	27	--	--	--	58.2	58.2	100.0%
下水道業	38	38	100.0%	38	100.0%	38	--	--	--	462.9	462.9	100.0%
(活動量指標の内容) 建設業：元請完成工事高（百万円） 製造業：製造品出荷額等（百万円）												

第 2 章 調査結果

令和 3 年度に秋田県で発生した産業廃棄物の推計結果は以下のとおりである。

なお、情報通信業等のその他の業種については、今年度は標本調査の対象ではないため、令和 2 年度の秋田県産業廃棄物実態調査報告書をもとに整理した。

第 1 節 結果の概要

発生量は 2,733 千トで、有償物量は 201 千ト、有償物量を除いた排出量は 2,532 千ト、搬出量は 1,487 千トとなっている。

表 2-1-1 発生・排出、処理状況

(単位:千t/年)

発生量	有償物量	排出量	搬出量
2,733 (100.0%)	201 (7.3%)	2,532 (92.7%)	1,487 (54.4%)

※搬出量とは、排出事業所内で減量（再生利用又は中間処理による減量化量）
された量を除いたもの。

（ ）内のパーセントは発生量に対する割合である。

令和 3 年度の排出量に対する再生利用量の割合（以下、再生利用率という）は 42.2%、
減量化量の割合（以下、減量化率という）は 43.0%、最終処分量の割合（以下、最終処分
率という）は 14.8%となっている。

表 2-1-2 処理・処分状況

(単位:千t/年)

排出量	再生利用量	減量化量	最終処分量	その他量
2,532 (100.0%)	1,068 (42.2%)	1,088 (43.0%)	376 (14.8%)	0 (0.0%)

※（ ）内のパーセントは排出量に対する割合である。

第2節 排出状況

1 種類別の排出状況

排出量を種類別にみると、汚泥が 1,145 千トン（45.2%）で最も多く、次いで、がれき類が 505 千トン（19.9%）、以下、その他の産業廃棄物が 438 千トン（17.3%）、鉱さいが 150 千トン（5.9%）、木くずが 70 千トン（2.8%）等となっている。

その他の産業廃棄物の割合が高い要因として、令和2年3月から営業運転を開始した電気業の石炭火力発電所の新施設が、ばいじんと燃え殻を一緒に合わせた状態で排出する構造であるため、混合物（ばいじん、燃え殻）としての排出量が増加したことによるものである。

なお、汚泥は排出時においては多量であるが、排出事業者自らによる脱水、乾燥、焼却等の処理により大幅に減量されるため、搬出量ベースでみると 180 千トン（12.1%）となる。

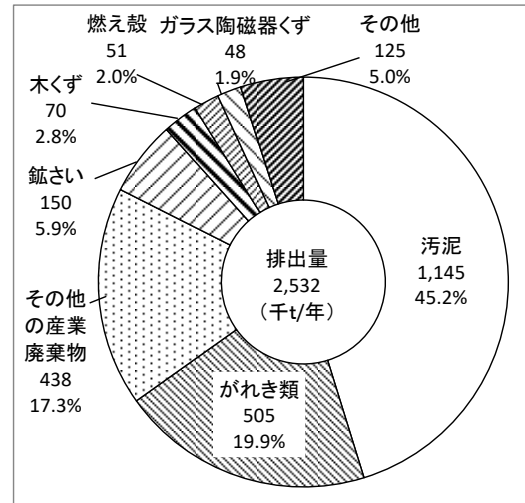


図 2-2-1 種類別排出量

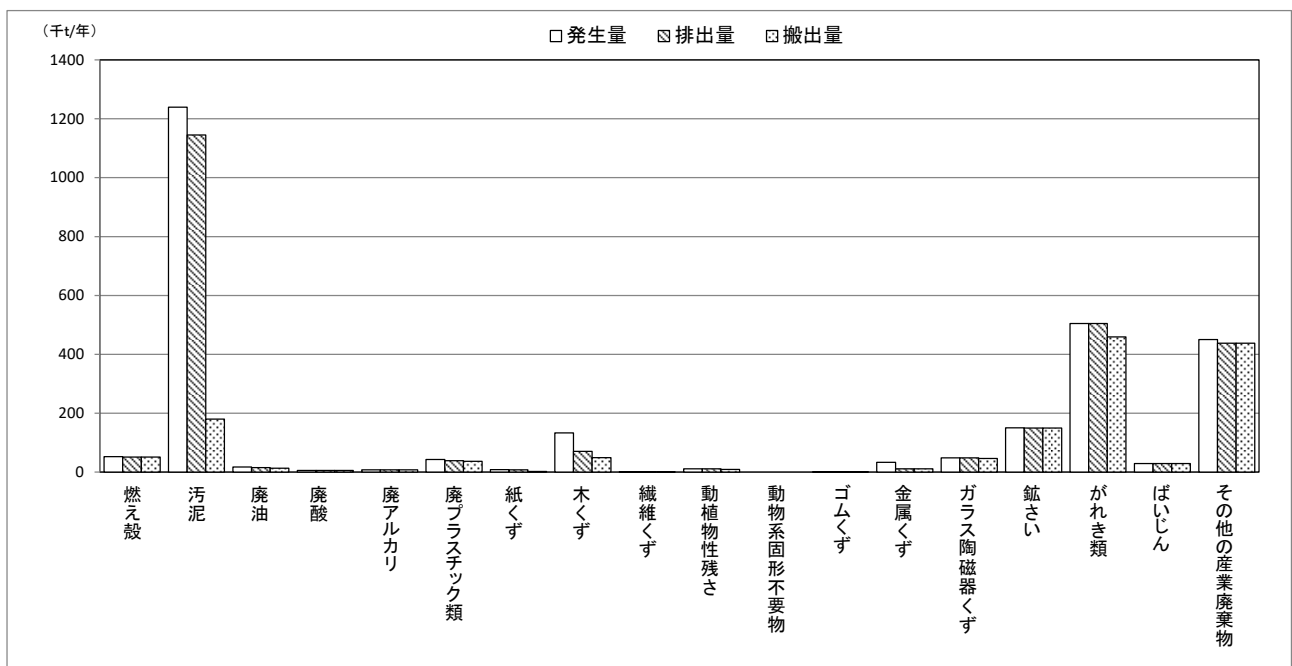


図 2-2-2 種類別の発生量、排出量、搬出量

2 業種別の排出状況

排出量を業種別にみると、電気・水道業が1,034千トン（40.8％）で最も多く、以下、製造業が822千トン（32.5％）、建設業が652千トン（25.8％）となっており、この3業種で排出量全体の99.1％を占めている。

なお、電気・水道業と製造業から排出される汚泥は、脱水等の自己中間処理により大幅に減量されるため、搬出量でみると電気・水道業が534（35.9％）、製造業が327千トン（22.0％）となる。

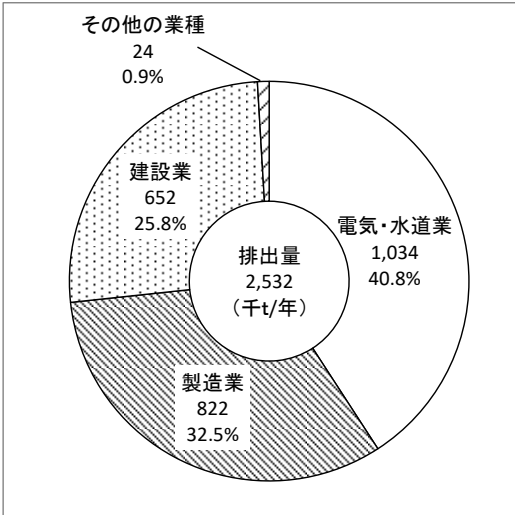
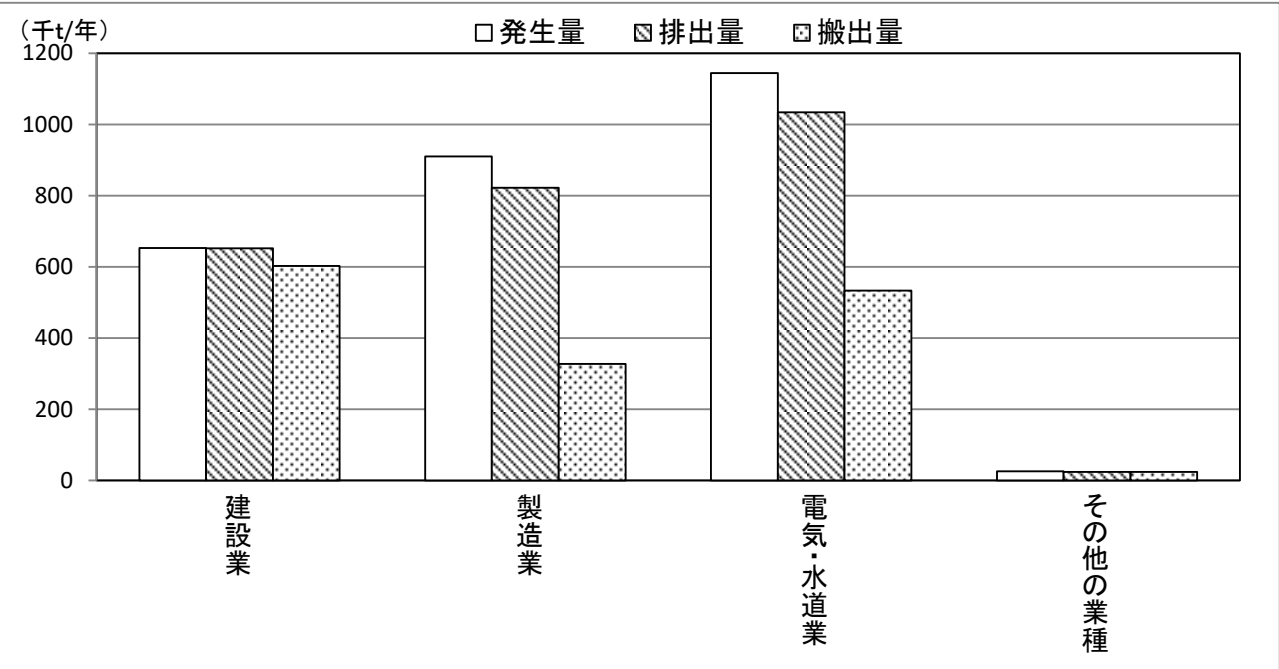


図 2-2-3 業種別排出量



業 種 (千t/年)	合 計	建設業	製造業	電気・水道業	その他の業種
発 生 量	2,733 (100%)	653 (23.9%)	910 (33.3%)	1,145 (41.9%)	26 (0.9%)
排 出 量	2,532 (100%)	652 (25.8%)	822 (32.5%)	1,034 (40.8%)	24 (0.9%)
搬 出 量	1,487 (100%)	603 (40.5%)	327 (22.0%)	534 (35.9%)	24 (1.6%)

図 2-2-4 業種別の発生量、排出量、搬出量

3 業種別・種類別の排出状況

業種別・種類別の排出量は、表 2-2-1 のとおりである。

表 2-2-1 業種別・種類別の排出量

(単位：千t/年)

業 種 種 類	合 計	建設業	製造業	電気・水道業	その他の業種
合 計	2,532 (100%)	652 (25.8%)	822 (32.5%)	1,034 (40.8%)	24 (0.9%)
燃え殻	51 (2.0%)	0	15	35	0
汚泥	1,145 (45.2%)	67	506	569	3
廃油	15 (0.6%)	0	12	0	3
廃酸	5 (0.2%)		5	0	0
廃アルカリ	8 (0.3%)	0	7		0
廃プラスチック類	39 (1.5%)	8	22	0	8
紙くず	7 (0.3%)	1	7		0
木くず	70 (2.8%)	47	23		0
繊維くず	0 (0.0%)	0	0		
動植物性残さ	11 (0.4%)		11		
動物系固形不要物					
ゴムくず	0 (0.0%)	0	0		0
金属くず	11 (0.4%)	6	4	0	2
ガラス陶磁器くず	48 (1.9%)	10	38		0
鉱さい	150 (5.9%)		150		
がれき類	505 (19.9%)	502	1	1	1
ばいじん	29 (1.1%)	0	15	14	
その他の産業廃棄物	438 (17.3%)	11	7	414	6

(注1) 表中の「0」は1t以上500t未満で、空欄は1t未満。

(注2) 千t未満を四捨五入したため、内訳の計が合計に一致しないものがある。

4 地域別の排出状況

排出量を地域別にみると、秋田市が1,067千トン（42.1%）で最も多く、以下、県北地域が955千トン（37.7%）、県南地域が304千トン（12.0%）、県央地域が205千トン（8.1%）となっている。

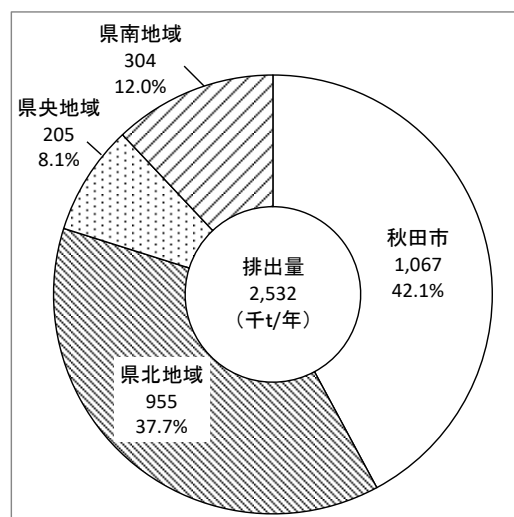
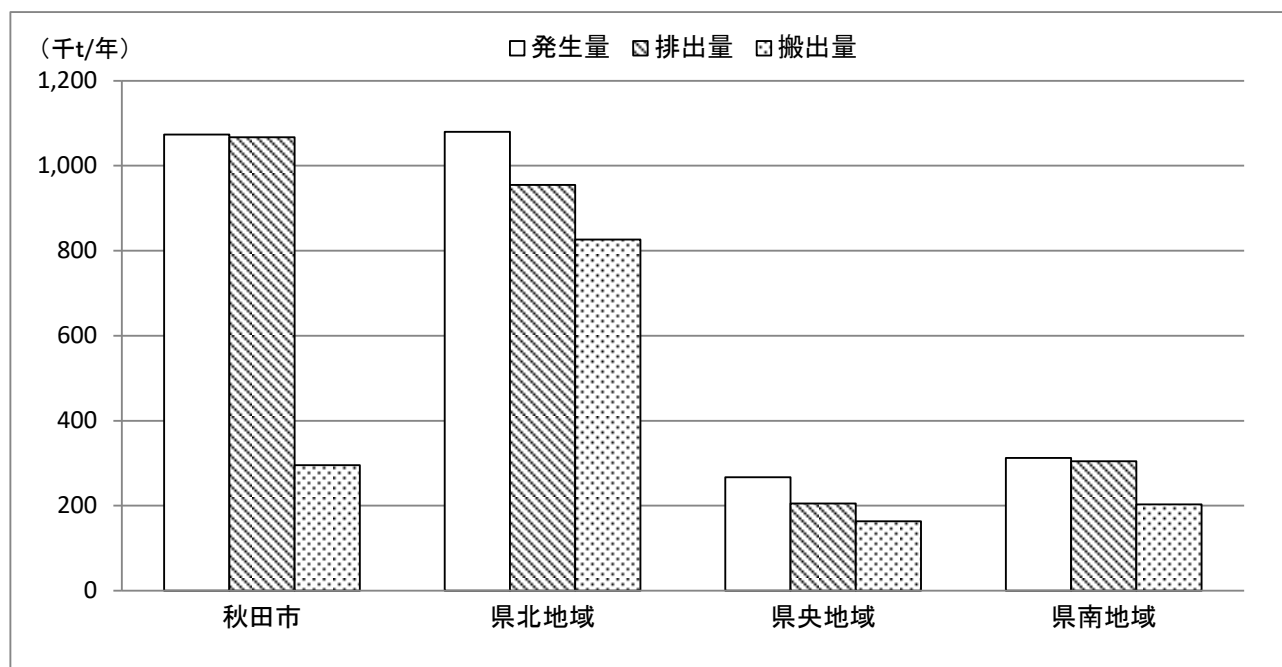


図 2-2-5 地域別排出量の内訳



(単位: 千t/年)

	合計	秋田市	県北地域	県央地域	県南地域
発 生 量	2,733 (100%)	1,073 (39.3%)	1,080 (39.5%)	267 (9.8%)	312 (11.4%)
排 出 量	2,532 (100%)	1,067 (42.1%)	955 (37.7%)	205 (8.1%)	304 (12.0%)
搬 出 量	1,487 (100%)	295 (19.9%)	826 (55.6%)	163 (11.0%)	203 (13.6%)

図 2-2-6 地域別の発生量、排出量、搬出量

第3節 処理状況

1 処理・処分状況の概要

令和3年度の1年間に秋田県内で発生した産業廃棄物の発生量は2,733千トンで、有償物量は201千トン、排出量は2,532千トンとなっている。

排出量2,532千トンのうち、排出事業者自らの中間処理による減量(970千トン)及び再生利用(75千トン)を除いた搬出量は1,487千トン(排出量の58.7%)となっている。

搬出量1,487千トンは、自己最終処分量(127千トン)及び委託処理量(1,360千トン)、保管等のその他量(0千トン)に区分される。

委託処理量1,360千トンのうち、業者中間処理による減量化量が118千トン、再生利用量が993千トン、最終処分量が249千トンとなっている。

県内で排出した産業廃棄物は最終的に、減量化量が1,088千トン(排出量の43.0%)、再生利用量が1,068千トン(同42.2%)、最終処分量が376千トン(同14.8%)となっている。

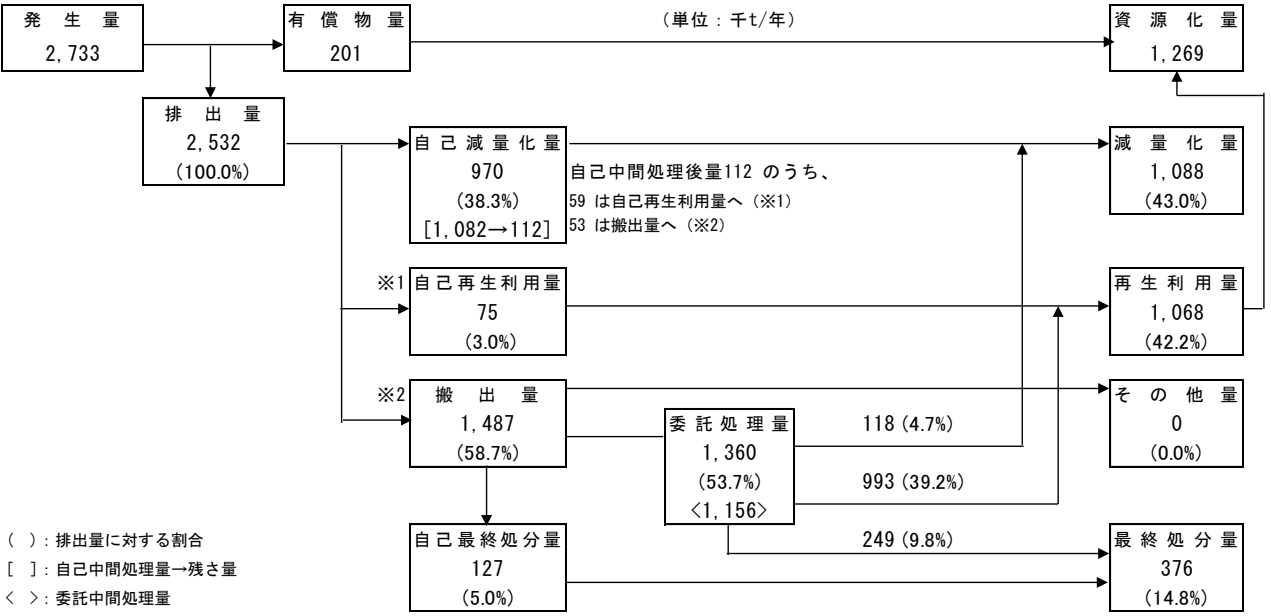
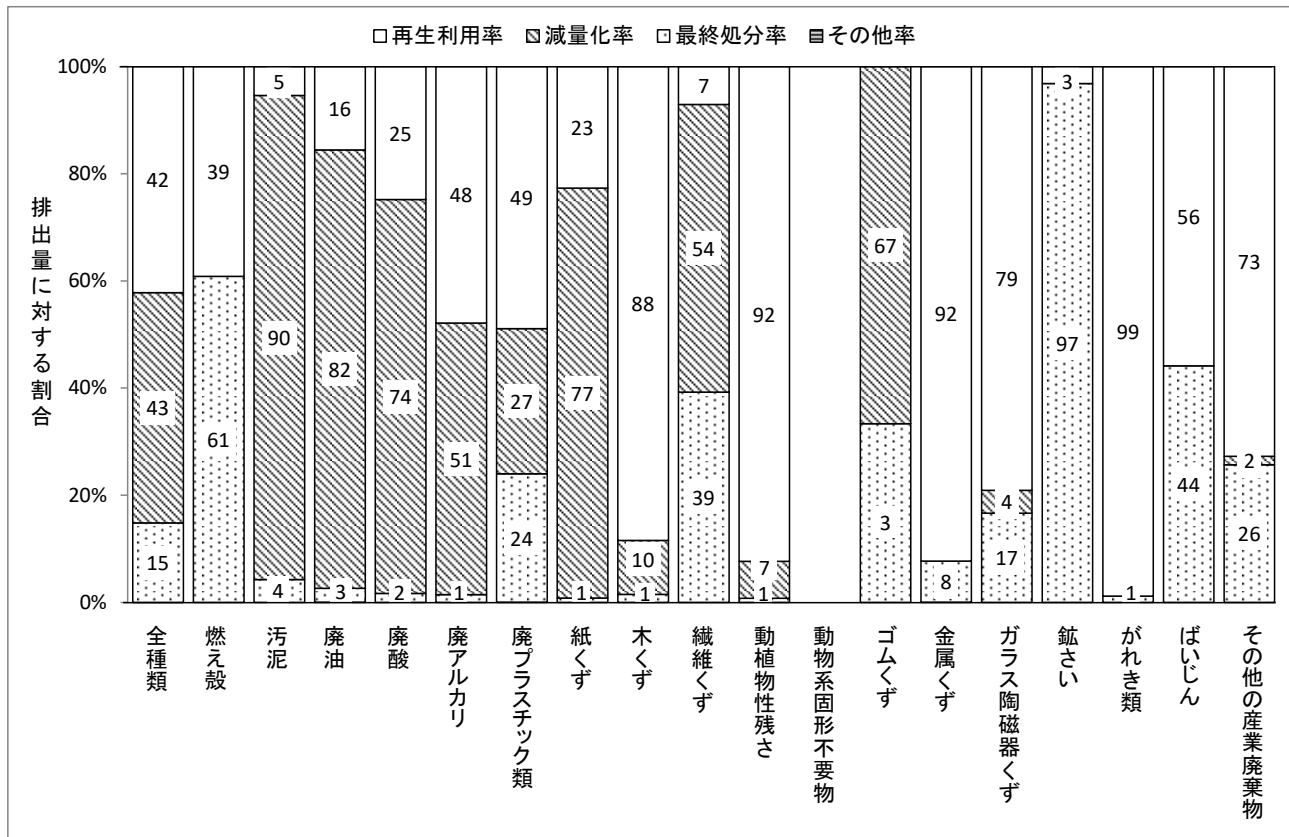


図 2-3-1 処理・処分状況

2 種類別及び業種別にみた再生利用率、減量化率、最終処分率

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比は、種類別にみると図 2-3-2 に示すとおりであり、業種別にみると図 2-3-3 に示すとおりである。



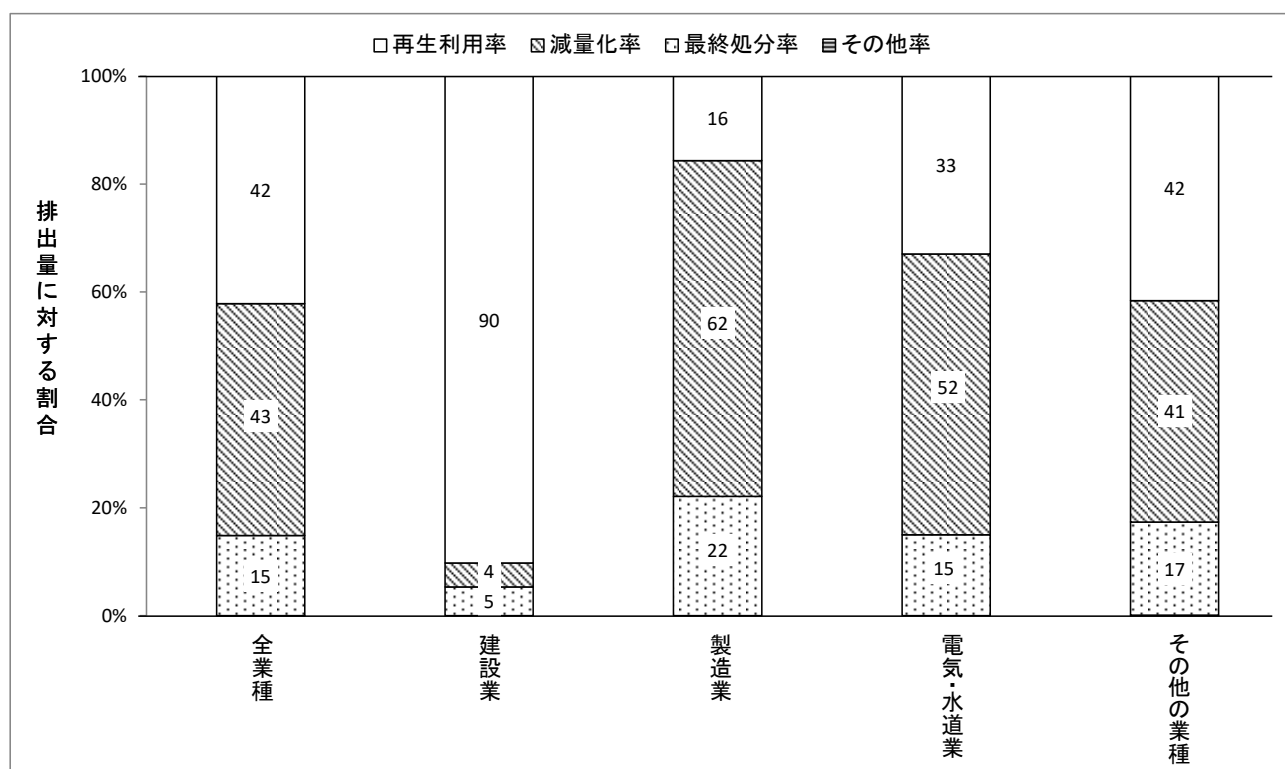
種類:無変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
排出量	2,532 (100%)	51 (100%)	1,145 (100%)	15 (100%)	5 (100%)	8 (100%)	39 (100%)	7 (100%)	70 (100%)	0 (100%)	11 (100%)		0 (100%)	11 (100%)	48 (100%)	150 (100%)	505 (100%)	29 (100%)	438 (100%)
再生利用量	1,068 (42.2%)	20 (39.1%)	61 (5.4%)	2 (15.6%)	1 (24.8%)	4 (47.9%)	19 (48.9%)	2 (22.7%)	62 (88.4%)	0 (7.1%)	10 (92.3%)			10 (92.3%)	38 (79.1%)	5 (3.2%)	499 (98.8%)	16 (55.8%)	319 (72.7%)
減量化量	1,088 (43.0%)		1,035 (90.4%)	12 (81.8%)	4 (73.5%)	4 (50.7%)	10 (27.1%)	6 (76.5%)	7 (10.1%)	0 (53.6%)	1 (6.9%)		0 (66.7%)		2 (4.3%)				7 (1.6%)
最終処分量	376 (14.8%)	31 (60.9%)	49 (4.2%)	0 (2.6%)	0 (1.7%)	0 (1.4%)	9 (24.0%)	0 (0.8%)	1 (1.5%)	0 (39.3%)	0 (0.8%)		0 (33.3%)	1 (7.7%)	8 (16.6%)	145 (96.8%)	6 (1.2%)	13 (44.2%)	112 (25.7%)
その他量	0 (0.0%)			0 (0.0%)			0 (0.0%)							0 (0.0%)					

注1) 廃油、廃酸、廃アルカリ等に最終処分量が表示されているが、実際には、中間処理により燃え殻となったものが最終処分されている。
しかし、この表における再生利用量、最終処分量はこのような中間処理等による廃棄物の種類の変化を考慮していない。

(参考)

発生量	2,733 (100%)	52 (100%)	1,239 (100%)	17 (100%)	5 (100%)	8 (100%)	43 (100%)	8 (100%)	133 (100%)	0 (100%)	11 (100%)		0 (100%)	33 (100%)	48 (100%)	150 (100%)	505 (100%)	29 (100%)	450 (100%)
有償物量	201 (7.3%)	1 (2.6%)	94 (7.6%)	2 (14.2%)		0 (0.0%)	4 (9.4%)	1 (8.3%)	63 (47.2%)		0 (1.9%)		0 (14.3%)	22 (65.8%)	0 (0.3%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)		12 (2.8%)

図 2-3-2 種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比



業 種 (千t/年)	合 計	建設業	製造業	電気・水道業	その他の業種
排 出 量	2,532 (100%)	652 (100%)	822 (100%)	1,034 (100%)	24 (100%)
再 生 利 用 量	1,068 (42.2%)	589 (90.2%)	129 (15.6%)	341 (33.0%)	10 (41.6%)
減 量 化 量	1,088 (43.0%)	29 (4.4%)	511 (62.2%)	538 (52.0%)	10 (41.1%)
最 終 処 分 量	376 (14.8%)	35 (5.3%)	182 (22.1%)	155 (15.0%)	4 (17.2%)
そ の 他 量	0 (0.0%)				0 (0.1%)

(参考)

発 生 量	2,733 (100%)	653 (100%)	910 (100%)	1,145 (100%)	26 (100%)
有 償 物 量	201 (7.3%)	0 (0.1%)	88 (9.7%)	110 (9.6%)	2 (7.2%)

図 2-3-3 業種別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

3 自己中間処理状況

自己中間処理量は 1,082 千トンとなっており、排出量の 42.7%を占めている。

種類別に排出量に対する自己中間処理量の割合でみると、汚泥が 87.1%で最も高く、次いで紙くずが 81.2%、次いで紙くずが 81.2%、ガラス陶磁器くずが 41.8%となっている。

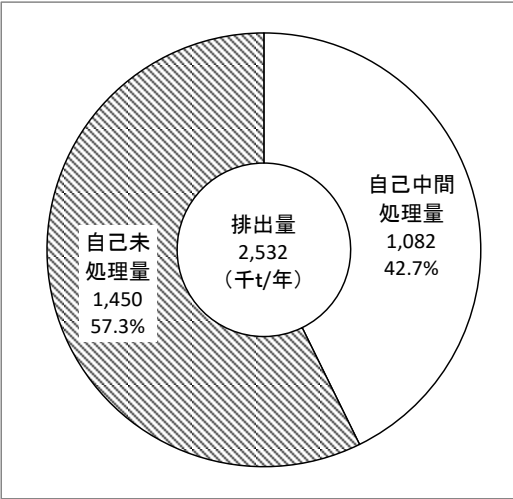
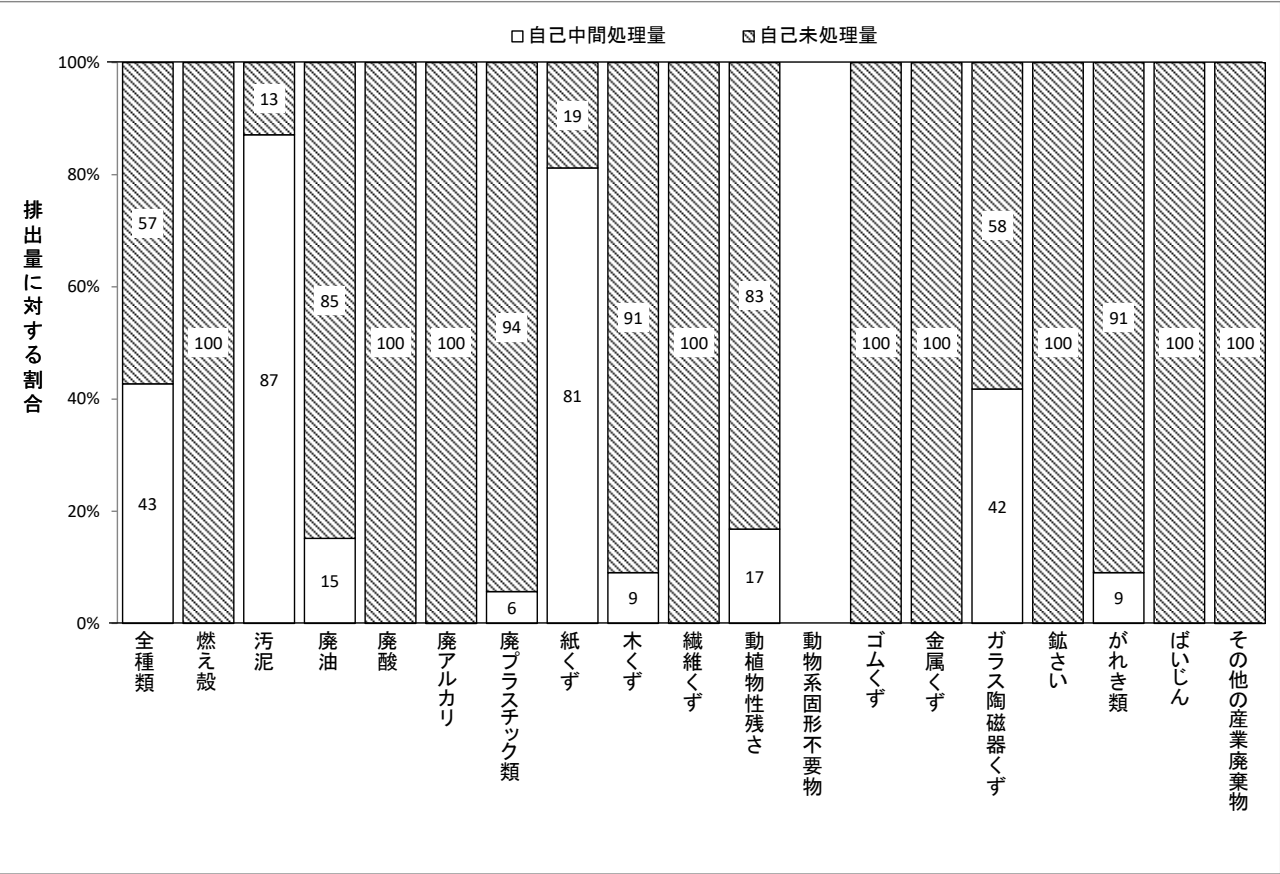


図 2-3-4 自己中間処理量及び自己未処理量の構成比



種類:無変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
排出量	2,532 (100%)	51 (100%)	1,145 (100%)	15 (100%)	5 (100%)	8 (100%)	39 (100%)	7 (100%)	70 (100%)	0 (100%)	11 (100%)		0 (100%)	11 (100%)	48 (100%)	150 (100%)	505 (100%)	29 (100%)	438 (100%)
自己中間処理量	1,082 (42.7%)		997 (87.1%)	2 (15.2%)		0 (0.0%)	2 (5.7%)	6 (81.2%)	6 (9.1%)		2 (16.8%)			0 (0.1%)	20 (41.8%)		46 (9.1%)		0 (0.0%)
(自己減量化量)	970 (38.3%)		958 (83.7%)	2 (14.8%)			0 (0.0%)	5 (74.4%)	2 (2.4%)						2 (4.3%)				0 (0.0%)
自己未処理量	1,450 (57.3%)	51 (100%)	148 (12.9%)	13 (84.8%)	5 (100%)	8 (100%)	37 (94.3%)	1 (18.8%)	64 (90.9%)	0 (100%)	9 (83.2%)		0 (100%)	11 (99.9%)	28 (58.2%)	150 (100%)	459 (90.9%)	29 (100%)	438 (100%)

図 2-3-5 種類別の排出量に対する自己中間処理量、自己未処理量の構成比

4 委託処理状況

委託処理量は 1,360 千トンであり、排出量の 53.7%を占めている。

種類別にみると、がれき類が 459 千トン (33.8%) で最も多く、次いで、その他の産業廃棄物が 438 千トン (32.2%)、以下、汚泥が 163 千トン (12.0%)、燃え殻が 63 千トン (4.6%)、木くずが 49 千トン (3.6%) となっている。

委託処理量 1,360 千トンのうち、委託直接最終処分量は 204 千トン (委託処理量の 15.0%)、委託中間処理量は 1,156 千トン (同 85.0%) となっている。

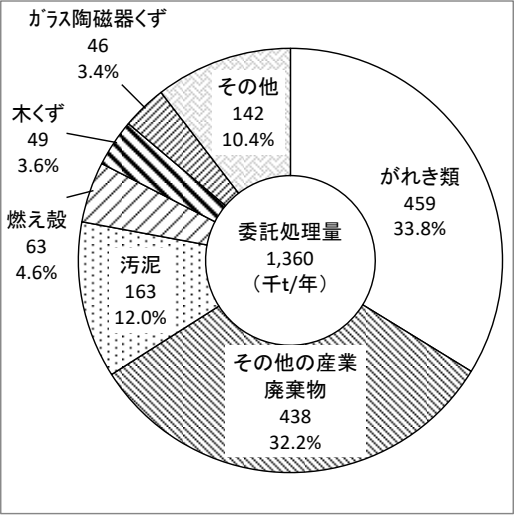
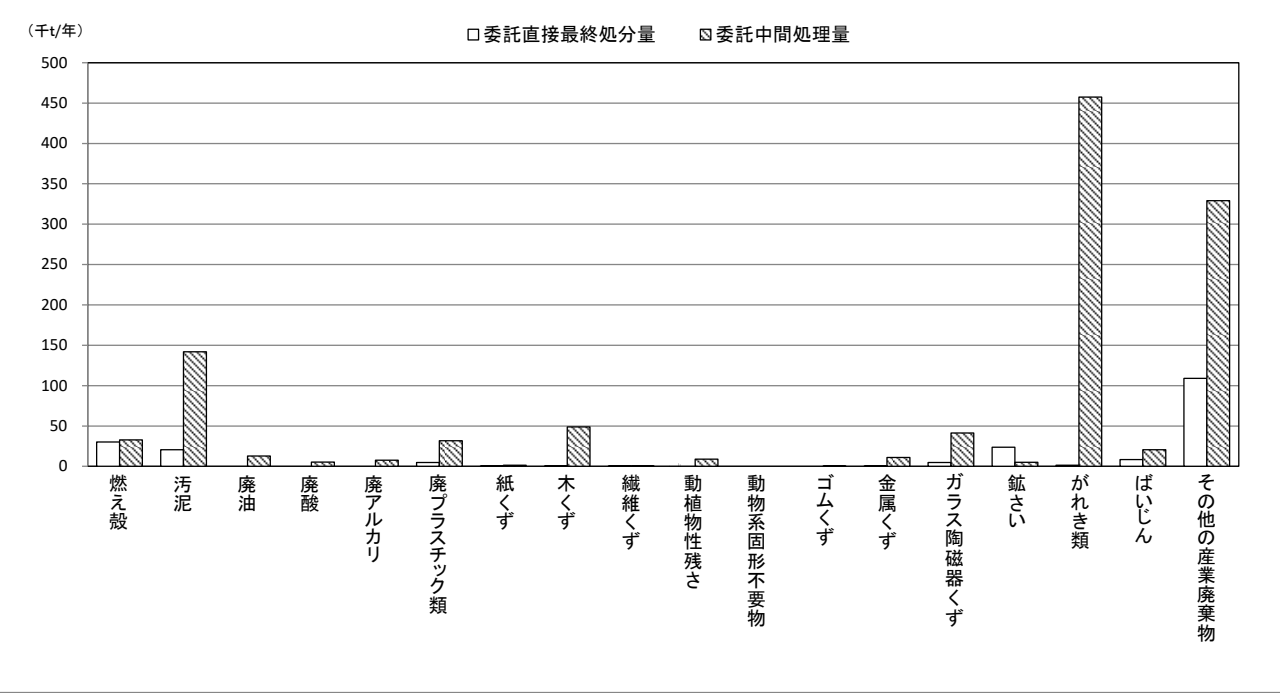


図 2-3-6 種類別委託処理量の構成比



種類:変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
委託処理量	1,360 (100%)	63 (4.6%)	163 (12.0%)	13 (0.9%)	5 (0.4%)	8 (0.6%)	37 (2.7%)	1 (0.1%)	49 (3.6%)	0 (0.0%)	9 (0.7%)		0 (0.0%)	11 (0.8%)	46 (3.4%)	29 (2.1%)	459 (33.8%)	29 (2.1%)	438 (32.2%)
委託直接最終処分量	204 (100%)	30 (14.8%)	21 (10.1%)				5 (2.4%)	0 (0.0%)	0 (0.2%)	0 (0.1%)				0 (0.1%)	5 (2.3%)	24 (11.6%)	1 (0.7%)	8 (4.1%)	109 (53.5%)
委託中間処理量	1,156 (100%)	33 (2.8%)	142 (12.3%)	13 (1.1%)	5 (0.5%)	8 (0.7%)	32 (2.7%)	1 (0.1%)	49 (4.2%)	0 (0.0%)	9 (0.8%)		0 (0.0%)	11 (0.9%)	41 (3.6%)	5 (0.4%)	458 (39.6%)	21 (1.8%)	329 (28.5%)

図 2-3-7 種類別の委託処理量

5 最終処分状況

最終処分量は 376 千トンとなっており、排出量の 14.8%を占めている。

種類別にみると、鉱さいが 145 千トン（38.6%）で最も多く、次いで、その他の産業廃棄物が 112 千トン（29.8%）、以下、汚泥が 43 千トン（11.5%）、燃え殻が 38 千トン（10.2%）等となっている。

最終処分量 376 千トンの処理を主体別にみると、排出事業者自らの自己最終処分量が 127 千トン（最終処分量の 33.8%）、処理業者及び県等の公共施設での最終処分量が 249 千トン（同 66.2%）となっている。

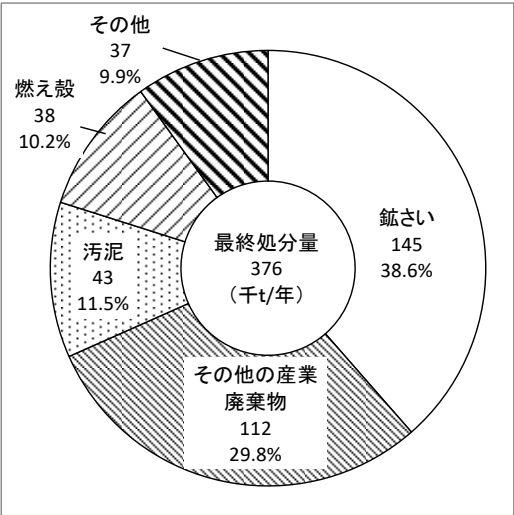
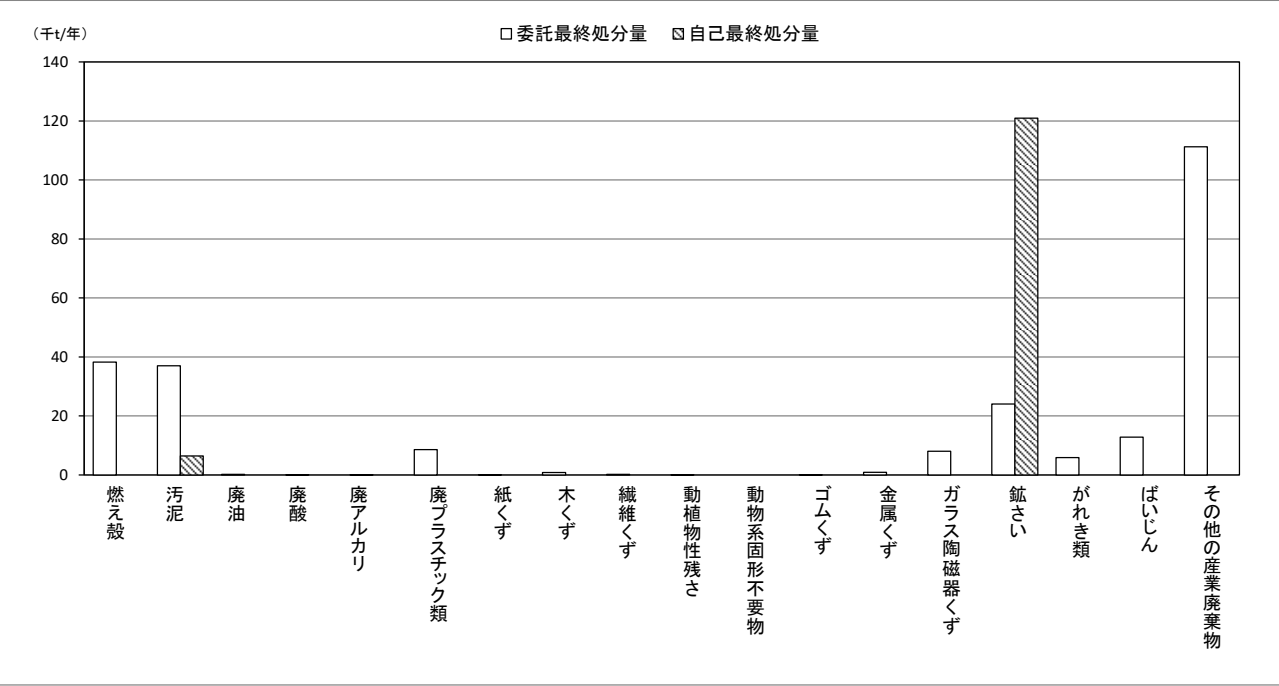


図 2-3-8 種類別最終処分量の構成比



種類:変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
最終処分量	376 (100%)	38 (10.2%)	43 (11.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (2.3%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)		0 (0.0%)	1 (0.2%)	8 (2.1%)	145 (38.6%)	6 (1.6%)	13 (3.4%)	112 (29.8%)
委託最終処分量	249 (100%)	38 (15.4%)	37 (14.9%)	0 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (3.4%)	0 (0.0%)	1 (0.3%)	0 (0.1%)	0 (0.0%)		0 (0.0%)	1 (0.3%)	8 (3.2%)	24 (9.7%)	6 (2.4%)	13 (5.1%)	111 (44.7%)
自己最終処分量	127 (100%)		6 (5.0%)													121 (95.0%)			

図 2-3-9 種類別の最終処分量

6 再生利用状況

再生利用量は 1,068 千トンとなっており、排出量の 42.2%を占めている。

種類別にみると、がれき類が 499 千トン (46.7%) で最も多く、以下、その他の産業廃棄物が 319 千トン (29.8%)、木くずが 62 千トン (5.8%)、汚泥が 52 千トン (4.9%)、ガラス陶磁器くずが 38 千トン (3.6%) 等となっている。

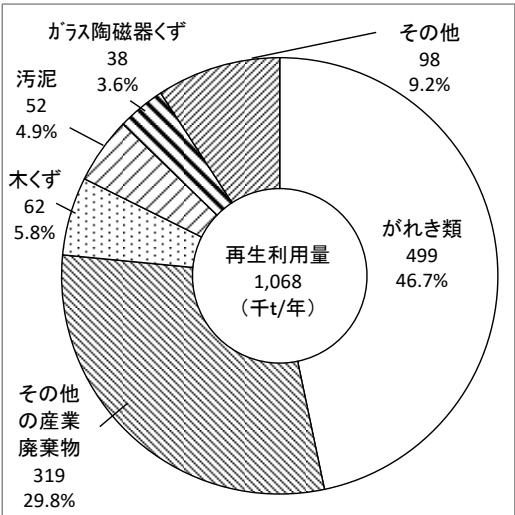
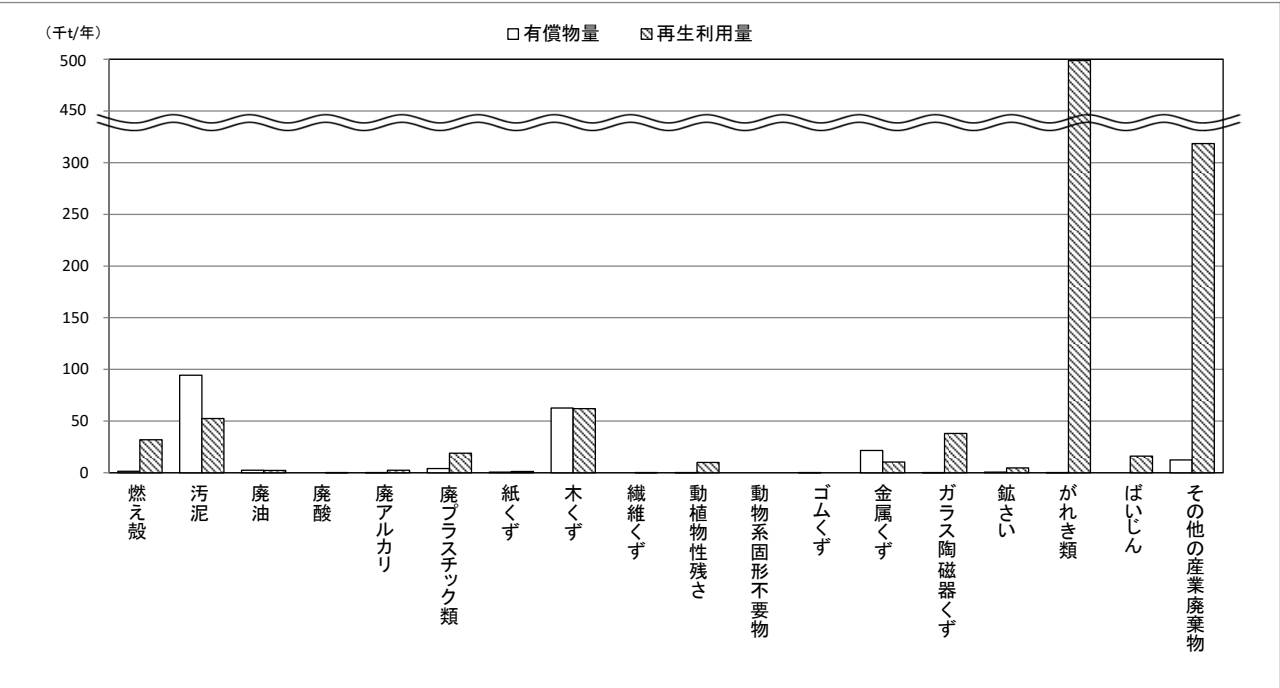


図 2-3-10 種類別の再生利用量の構成比



種類: 変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
再生利用量	1,068 (100%)	32 (3.0%)	52 (4.9%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	2 (0.2%)	19 (1.8%)	1 (0.1%)	62 (5.8%)	0 (0.0%)	10 (0.9%)			10 (1.0%)	38 (3.6%)	5 (0.4%)	499 (46.7%)	16 (1.5%)	319 (29.8%)
有償物量	201 (100%)	1 (0.7%)	94 (47.0%)	2 (1.2%)		0 (0.0%)	4 (2.0%)	1 (0.3%)	63 (31.3%)		0 (0.1%)		0 (0.0%)	22 (10.8%)	0 (0.1%)	1 (0.3%)	0 (0.0%)		12 (6.2%)
資源化量	1,269 (100%)	33 (2.6%)	147 (11.6%)	5 (0.4%)	0 (0.0%)	2 (0.2%)	23 (1.8%)	2 (0.1%)	125 (9.8%)	0 (0.0%)	10 (0.8%)		0 (0.0%)	32 (2.5%)	38 (3.0%)	5 (0.4%)	499 (39.3%)	16 (1.3%)	331 (26.1%)

図 2-3-11 種類別の再生利用量

7 発生量及び処理状況の流れ図

発生した産業廃棄物の処理の流れは、図 2-3-12 に示すとおりである。

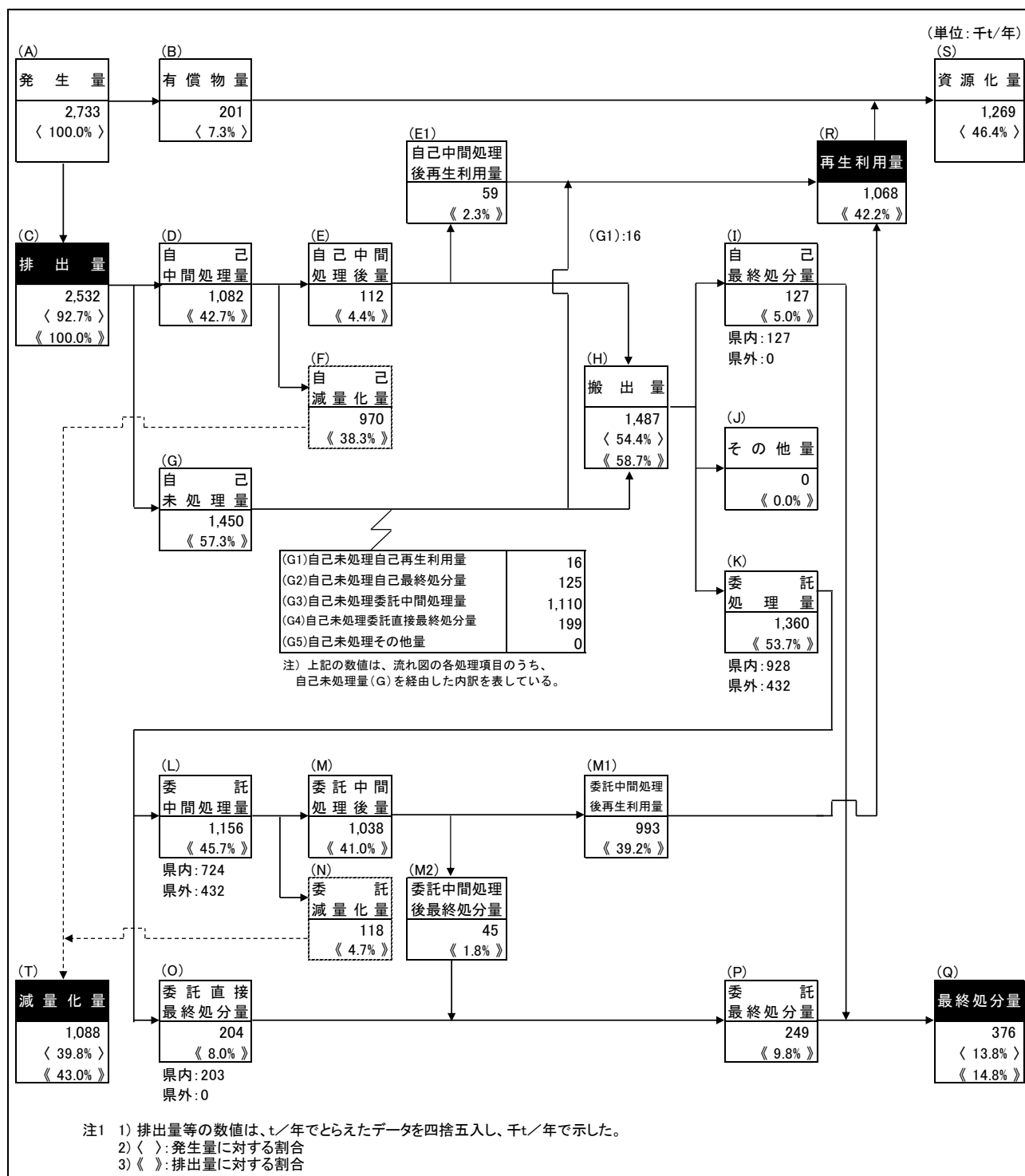


図 2-3-12 発生及び処理状況の流れ図

第3章 業種別の調査結果

第1節 建設業

1 概要

建設業からの排出量は 652 千トンで、県全体の排出量の 25.8% を占めている。

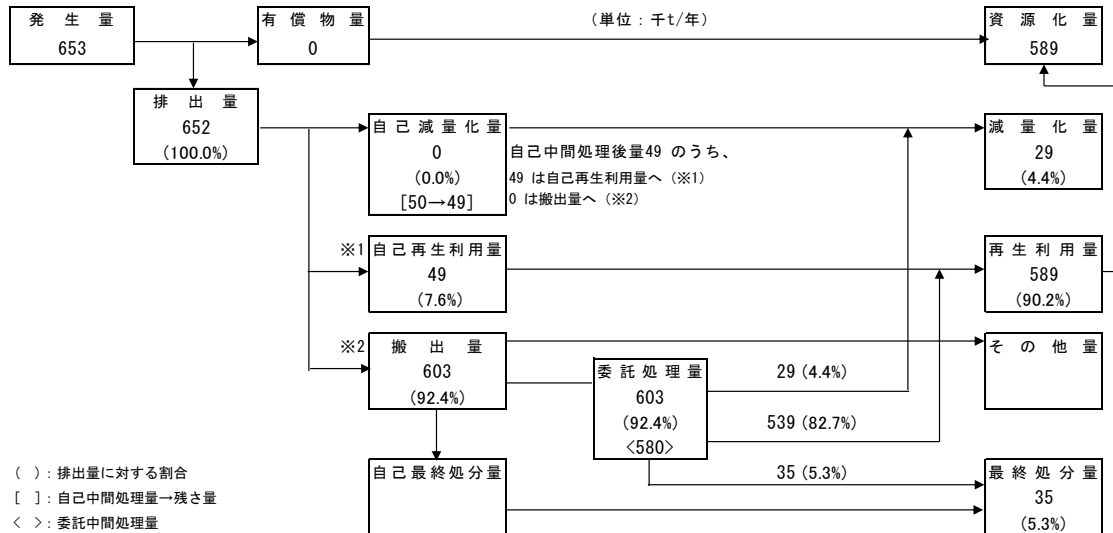


図 3-1-1 建設業の処理・処分状況

2 排出及び処理状況

排出量を種類別にみると、がれき類の 502 千トン（建設業の排出量の 76.9%）と汚泥の 67 千トン（同 10.2%）、木くずの 47 千トン（同 7.2%）で建設業全体の 94.3% を占めている。

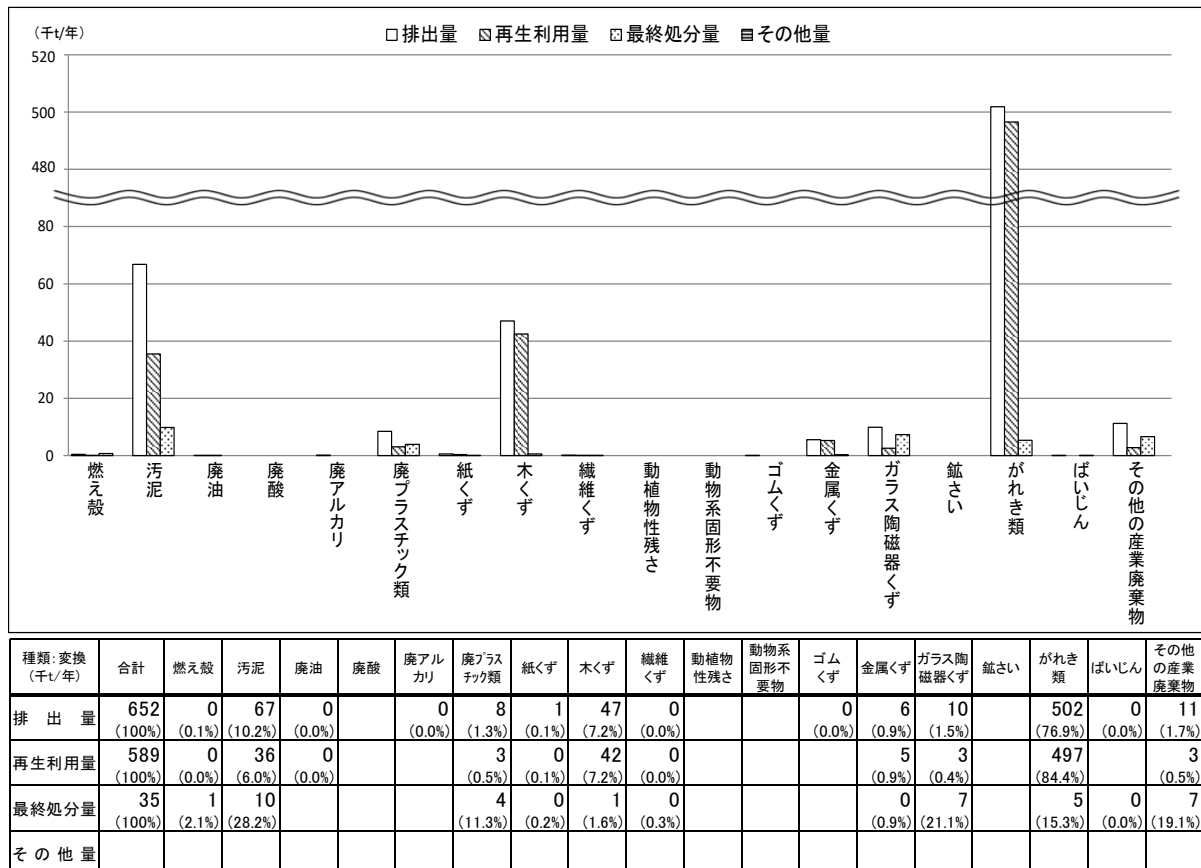


図 3-1-2 種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

排出された 652 千トンの処理・処分状況をみると、29 千トン（4.4％）が減量化され、再生利用量は 589 千トン（90.2％）、最終処分量は 35 千トン（5.3％）となっている。

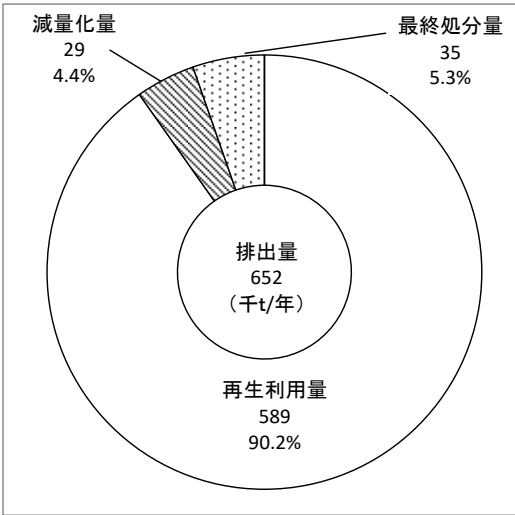
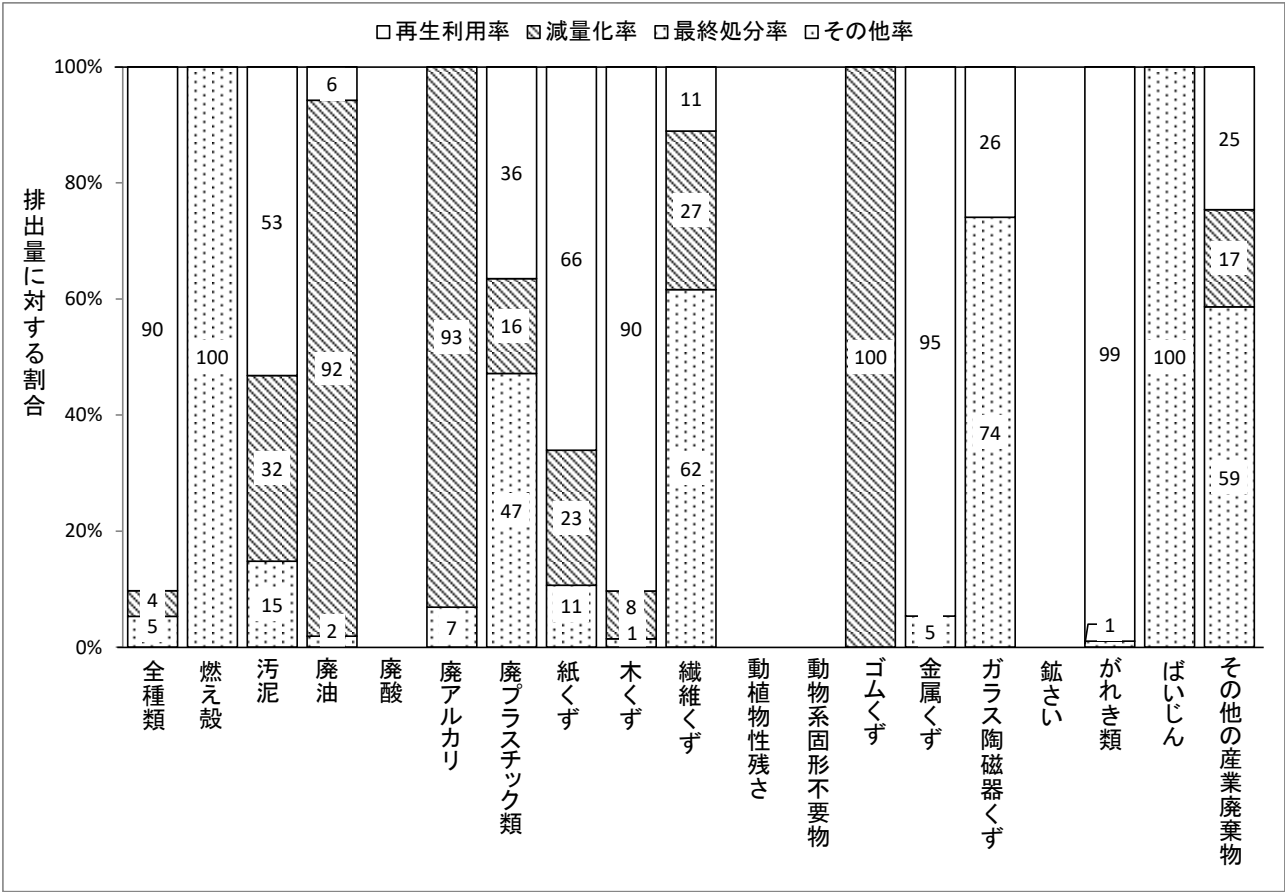


図 3-1-3 建設業の排出量に対する処理・処分状況の構成比



種類:無変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
排 出 量	652	0	67	0		0	8	1	47	0			0	6	10		502	0	11
再生利用量	589		36	0			3	0	42	0				5	3		497		3
減 量 化 量	29		21	0		0	1	0	4	0			0						2
最終処分量	35	0	10	0		0	4	0	1	0				0	7		5	0	7
そ の 他 量																			

注1) 廃油に最終処分量が表示されているが、実際には、中間処理により燃え殻や汚泥となったものが最終処分されている。
この表における再生利用量、最終処分量はこのような中間処理等による廃棄物の種類の変化を考慮していない。

図 3-1-4 種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

発生した産業廃棄物の処理・処分の流れは、図 3-1-5 のとおりである。

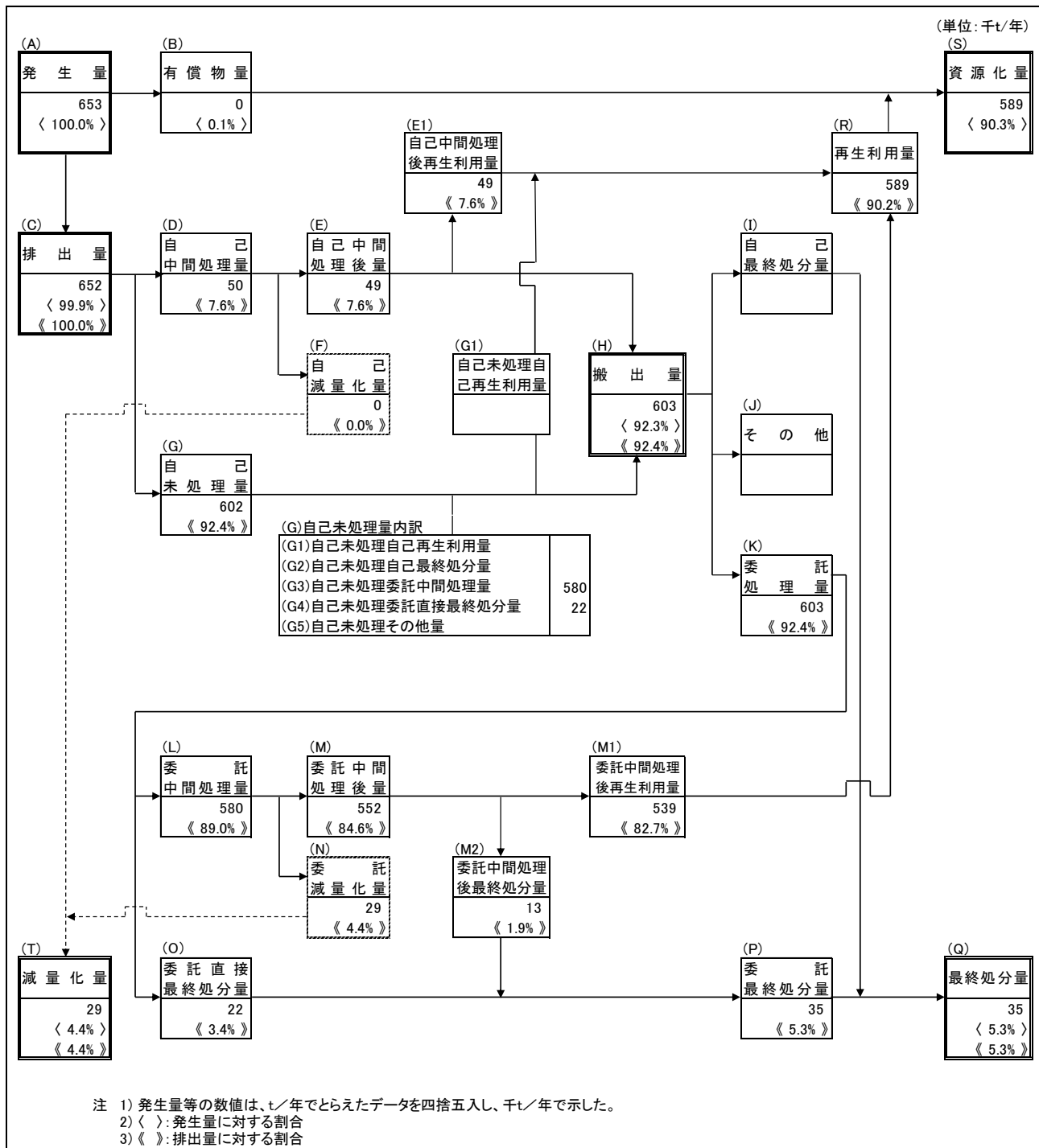


図 3-1-5 建設業の発生及び処理状況の流れ図

第2節 製造業

1 概要

製造業からの排出量は822千トで、県全体の排出量の32.5%を占めている。

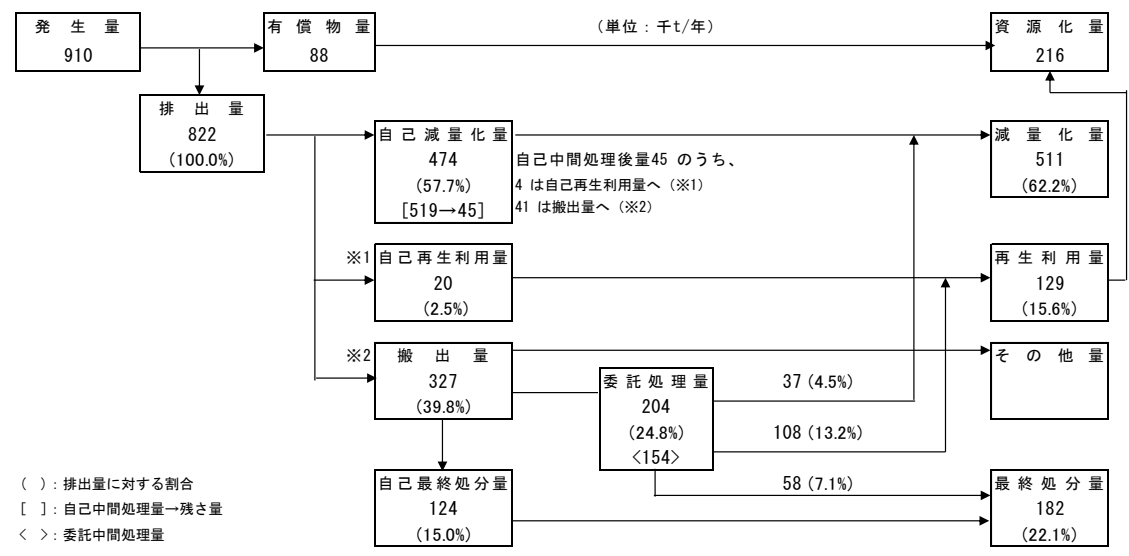
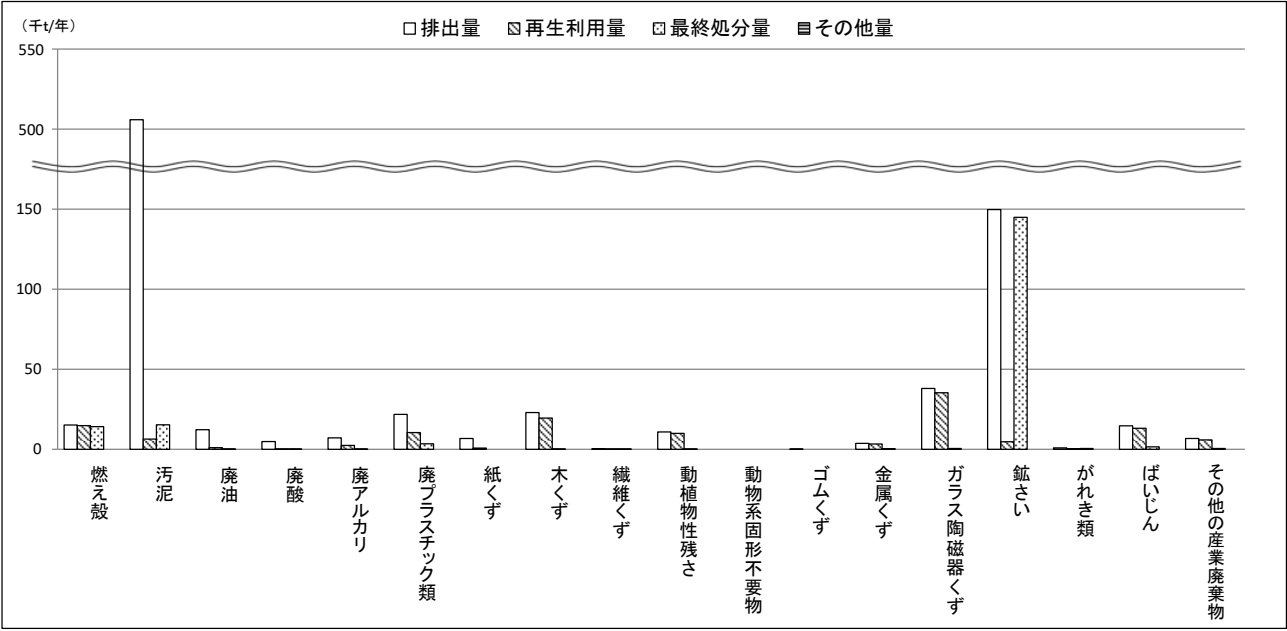


図 3-2-1 製造業の処理・処分状況

2 排出及び処理状況

排出量を種類別にみると、汚泥の506千ト（製造業の排出量の61.5%）と鉱さいの150千ト（同18.2%）で製造業全体の79.7%を占めている。



種類:変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
排出量	822 (100%)	15 (1.9%)	506 (61.5%)	12 (1.5%)	5 (0.6%)	7 (0.9%)	22 (2.7%)	7 (0.8%)	23 (2.8%)	0 (0.0%)	11 (1.3%)		0 (0.0%)	4 (0.5%)	38 (4.6%)	150 (18.2%)	1 (0.1%)	15 (1.8%)	7 (0.8%)
再生利用量	129 (100%)	15 (11.5%)	6 (5.0%)	1 (0.8%)	0 (0.1%)	2 (1.9%)	10 (8.1%)	1 (0.6%)	20 (15.2%)	0 (0.0%)	10 (7.8%)			3 (2.6%)	35 (27.5%)	5 (3.7%)	0 (0.3%)	13 (10.2%)	6 (4.6%)
最終処分量	182 (100%)	14 (7.8%)	15 (8.4%)	0 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (1.9%)		0 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)			0 (0.2%)	1 (0.3%)	145 (79.7%)	1 (0.3%)	2 (0.8%)	0 (0.3%)
その他量																			

図 3-2-2 種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

排出量を業種中分類別にみると、パルプ・紙の 461 千トン（製造業の排出量の 56.1%）と非鉄金属の 160 千トン（同 19.5%）、窯業・土石業の 56 千トン（同 6.9%）で製造業全体の 82.5% を占めている。

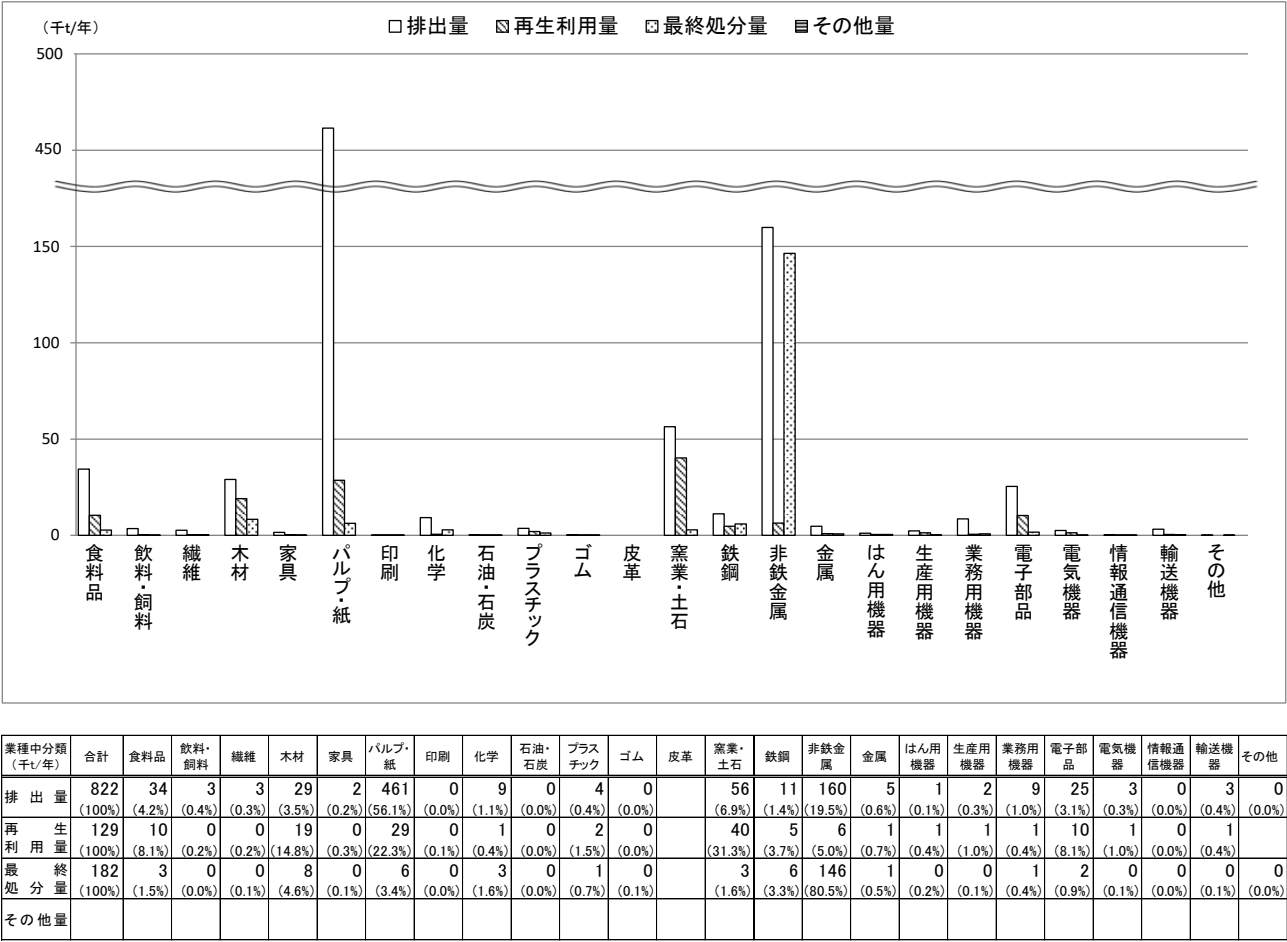


図 3-2-3 業種中分類別の発生量、再生利用量、最終処分量

排出された 822 千トンの処理・処分状況をみると、511 千トン（62.2%）が減量化され、再生利用量は 129 千トン（15.6%）、最終処分量は 182 千トン（22.1%）となっている。

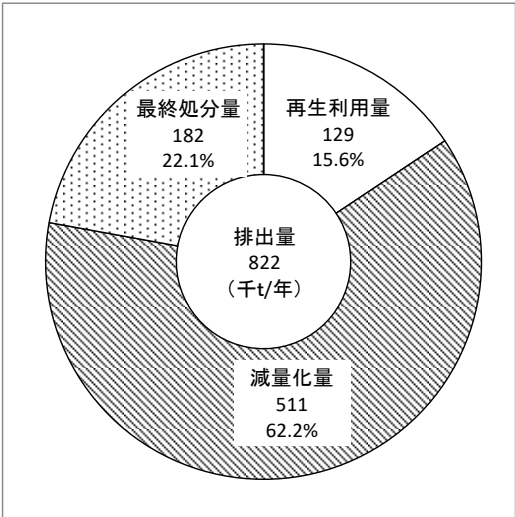
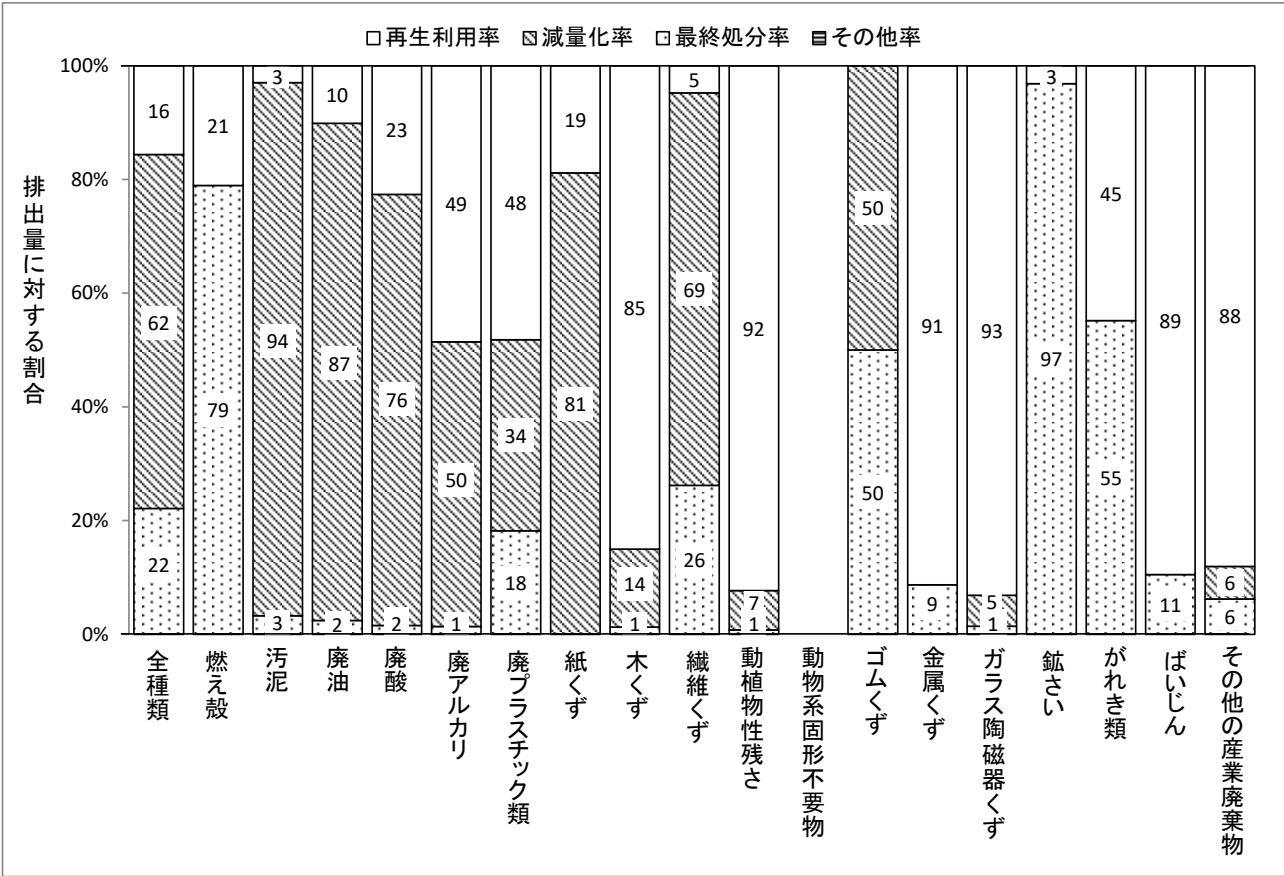


図 3-2-4 種類別の排出量に対する処理・処分状況の構成比



種類:無変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
排出量	822	15	506	12	5	7	22	7	23	0	11		0	4	38	150	1	15	7
再生利用量	129	3	15	1	1	3	11	1	20	0	10			3	35	5	0	13	6
減量化量	511		474	11	4	4	7	6	3	0	1		0		2				0
最終処分量	182	12	17	0	0	0	4	0	0	0	0		0	0	1	145	1	2	0
その他量																			

注1) 廃油、廃酸、廃アルカリに最終処分量が表示されているが、実際には、中間処理により燃え殻や汚泥となったものが最終処分されている。
この表における再生利用量、最終処分量はこのような中間処理等による廃棄物の種類の変化を考慮していない。

図 3-2-5 種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

発生した産業廃棄物の処理・処分の流れは、図 3-2-6 に示すとおりである。

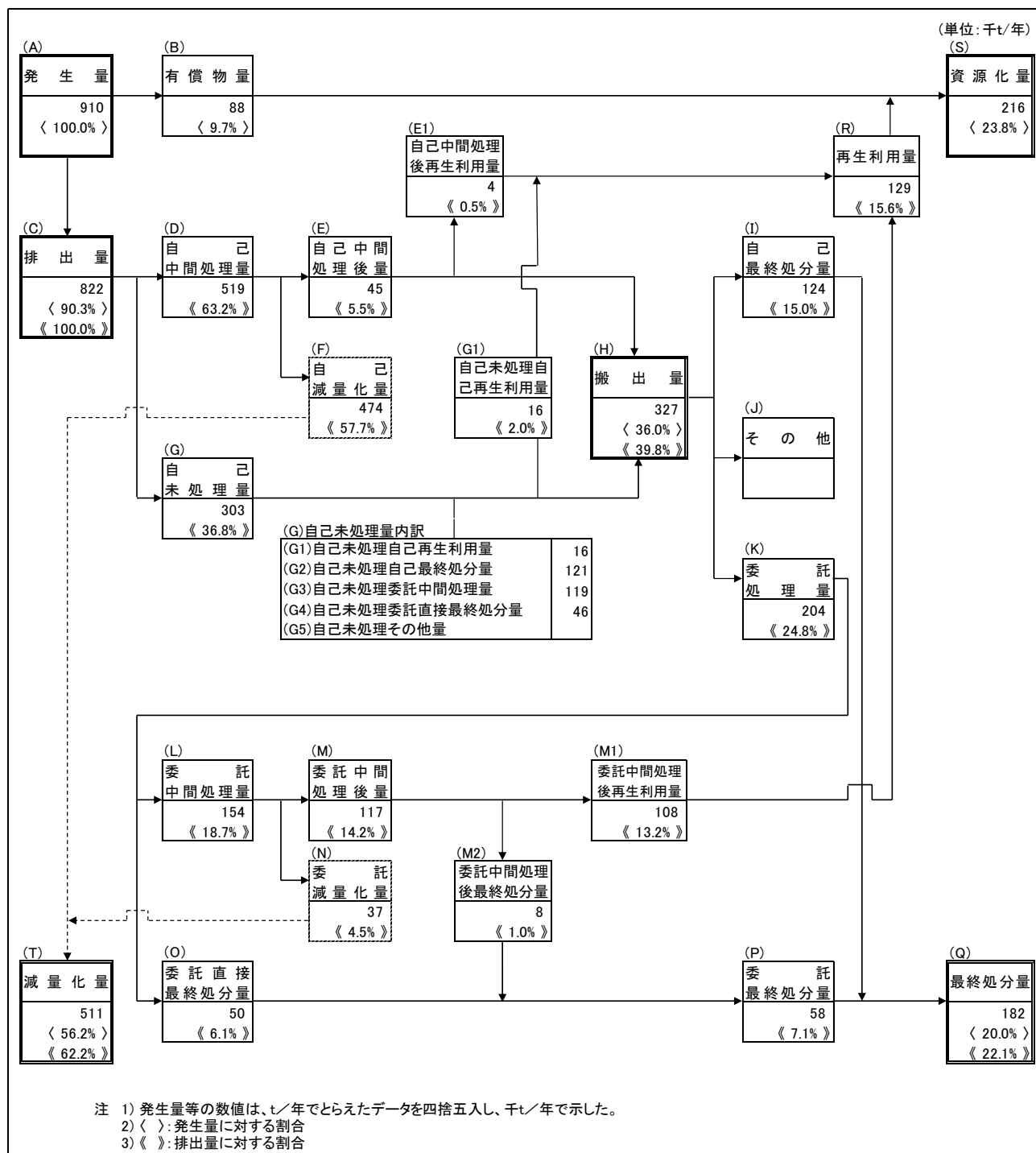


図 3-2-6 製造業の発生及び処理状況の流れ図

第3節 電気・水道業

1 概要

電気・水道業からの排出量は1,034千トで、県全体の排出量の40.8%を占めている。

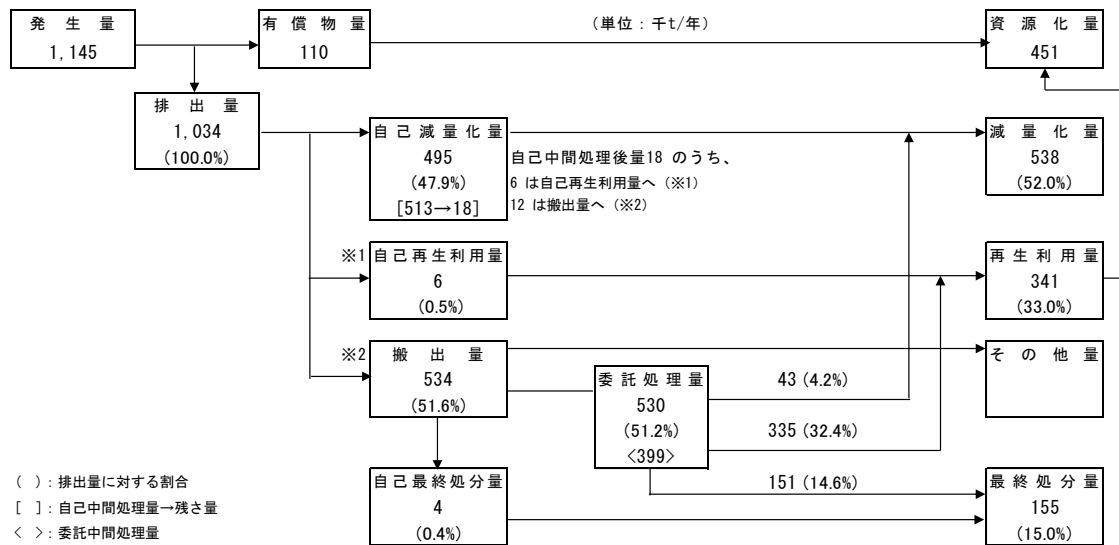
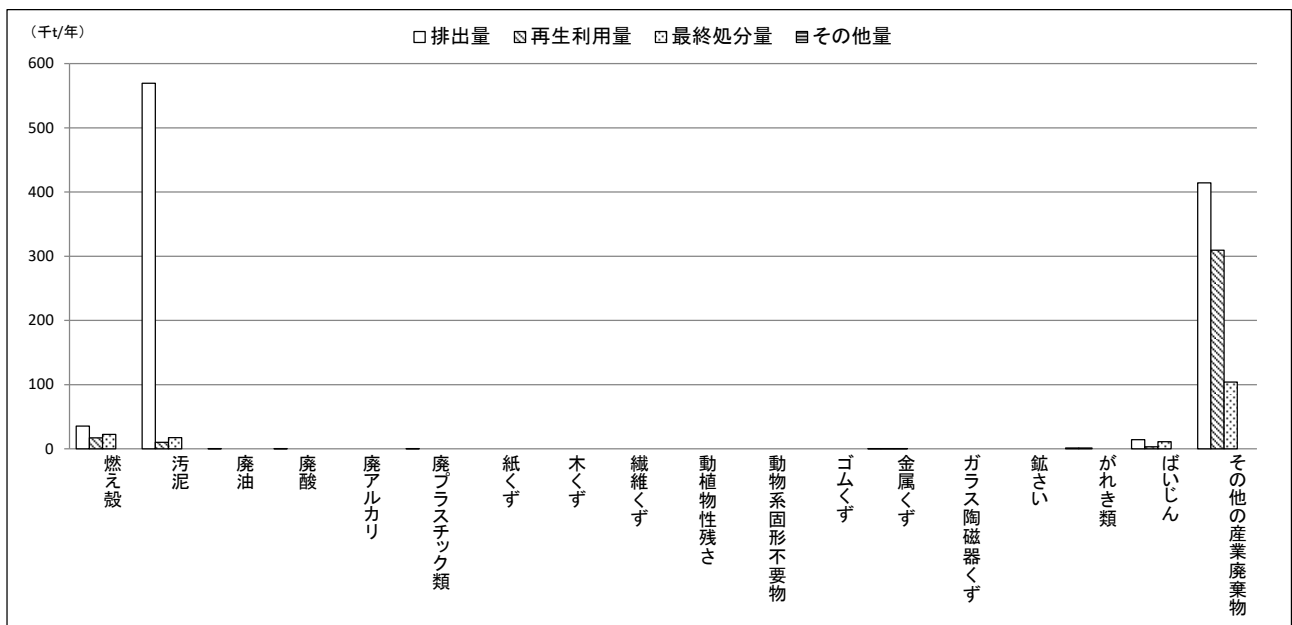


図 3-3-1 電気・水道業の処理・処分状況

2 排出及び処理状況

排出量を種類別にみると、汚泥の569千ト（電気・水道業の排出量の55.0%）とその他の産業廃棄物の414千ト（同40.0%）で電気・水道業全体の95.0%を占めている。



種類:変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
排出量	1,034 (100%)	35 (3.4%)	569 (55.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)		0 (0.0%)							0 (0.0%)			1 (0.1%)	14 (1.4%)	414 (40.0%)
再生利用量	341 (100%)	17 (5.0%)	10 (3.0%)											0 (0.0%)			1 (0.3%)	3 (0.9%)	309 (90.8%)
最終処分量	155 (100%)	22 (14.4%)	17 (11.2%)											0 (0.0%)				11 (7.2%)	104 (67.1%)
その他量																			

図 3-3-2 種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

排出された 1,034 千トンの処理・処分状況を見ると、538 千トン（52.0%）が減量化され、再生利用量は 341 千トン（33.0%）、最終処分量は 155 千トン（15.0%）となっている。

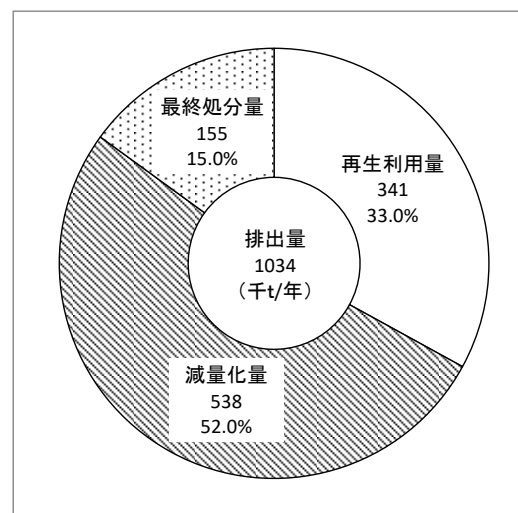
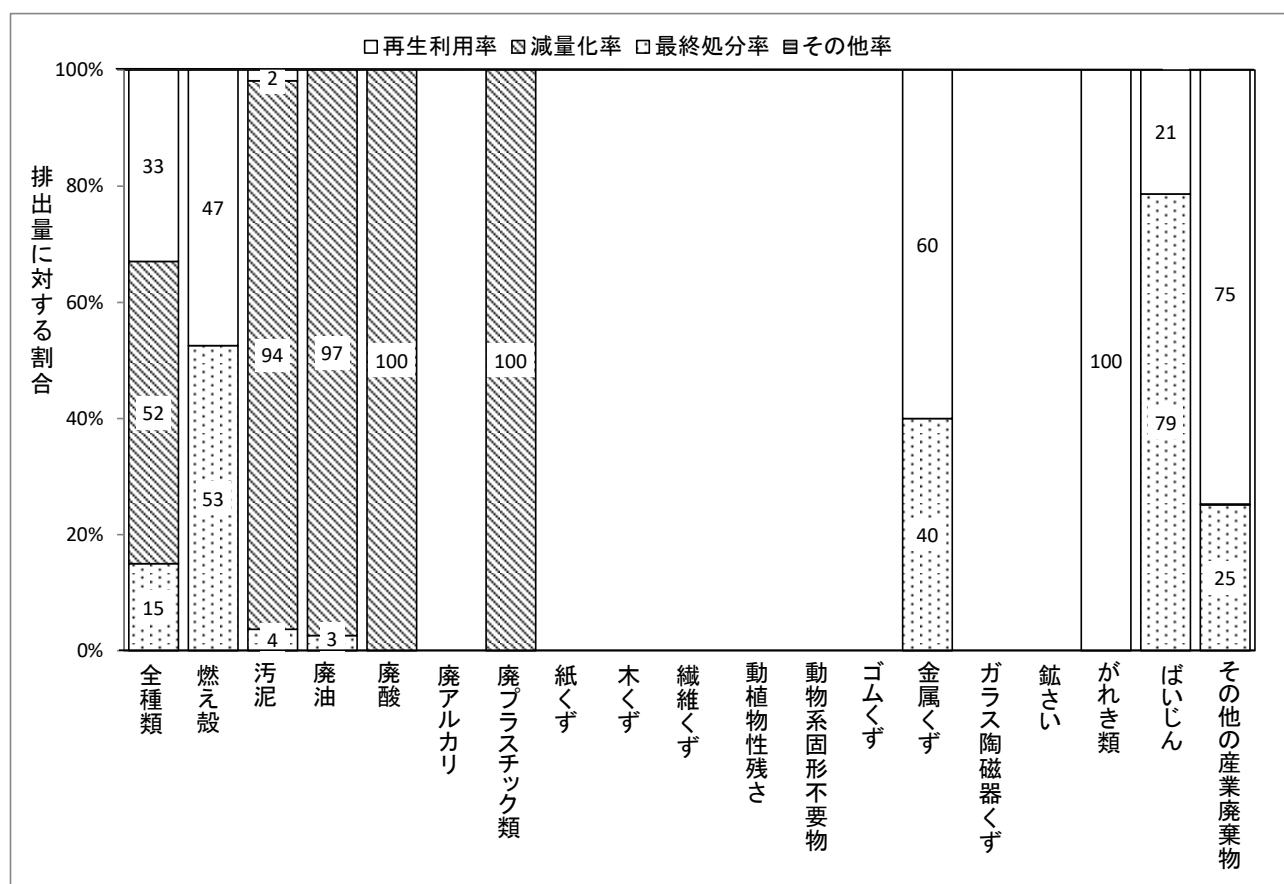


図 3-3-3 種類別の排出量に対する処理・処分状況の構成比



種類:無変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
排 出 量	1,034	35	569	0	0		0							0			1	14	414
再生利用量	341	17	11											0			1	3	309
減 量 化 量	538		538	0	0		0												0
最終処分量	155	19	21	0										0				11	104
そ の 他 量																			

図 3-3-4 種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

発生した産業廃棄物の処理・処分の流れは、図 3-3-5 に示すとおりである。

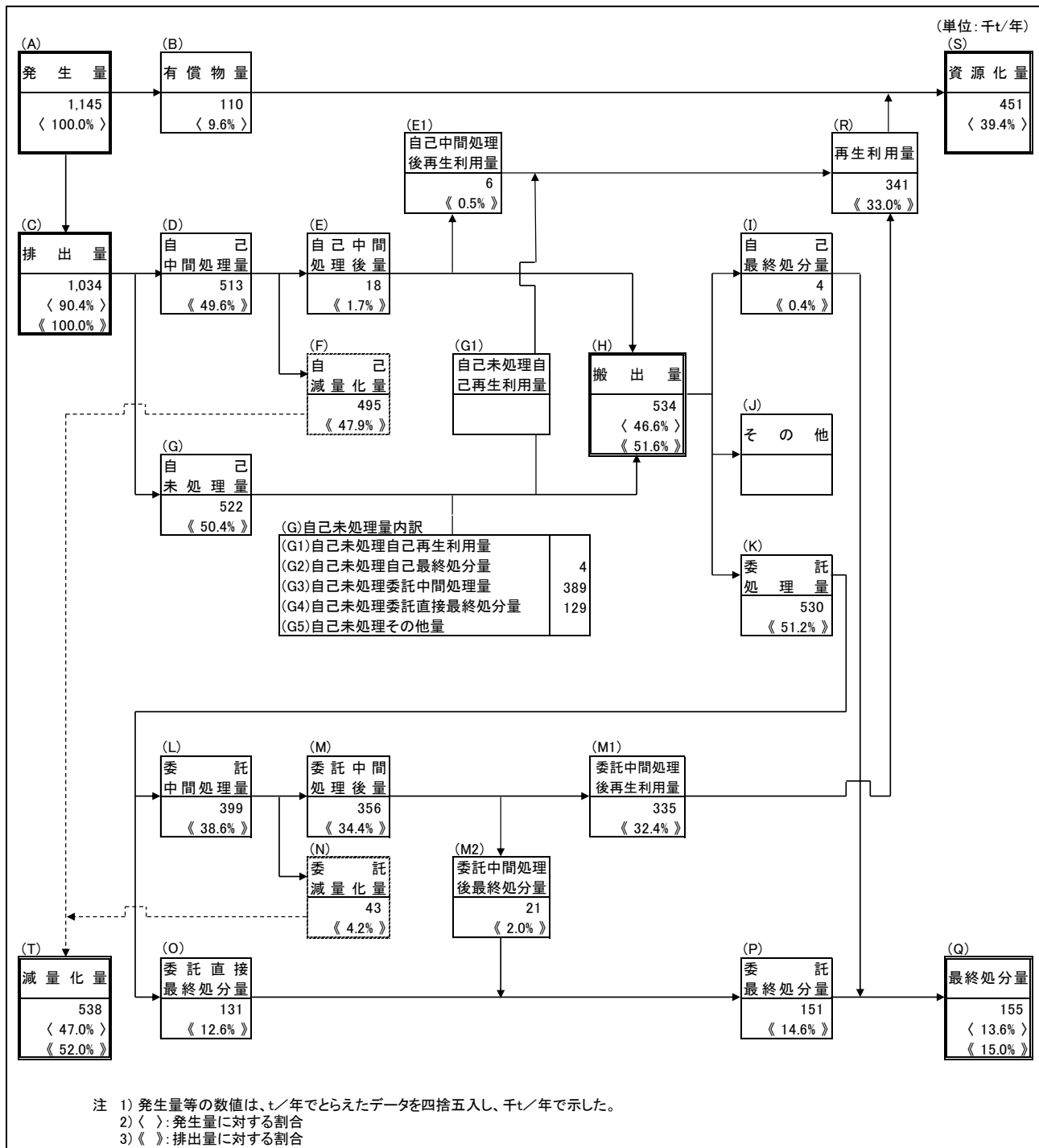


図 3-3-5 電気・水道業の発生及び処理状況の流れ図

第4節 その他の業種

その他の業種（情報通信業、運輸業、卸・小売業、物品賃貸業、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、教育・学習支援業、医療・福祉、サービス業）は、令和2年度の秋田県産業廃棄物実態調査報告書でとりまとめた結果をもとに整理した。

1 概要

その他の業種からの排出量は24千トンで、県全体の排出量の0.9%を占めている。

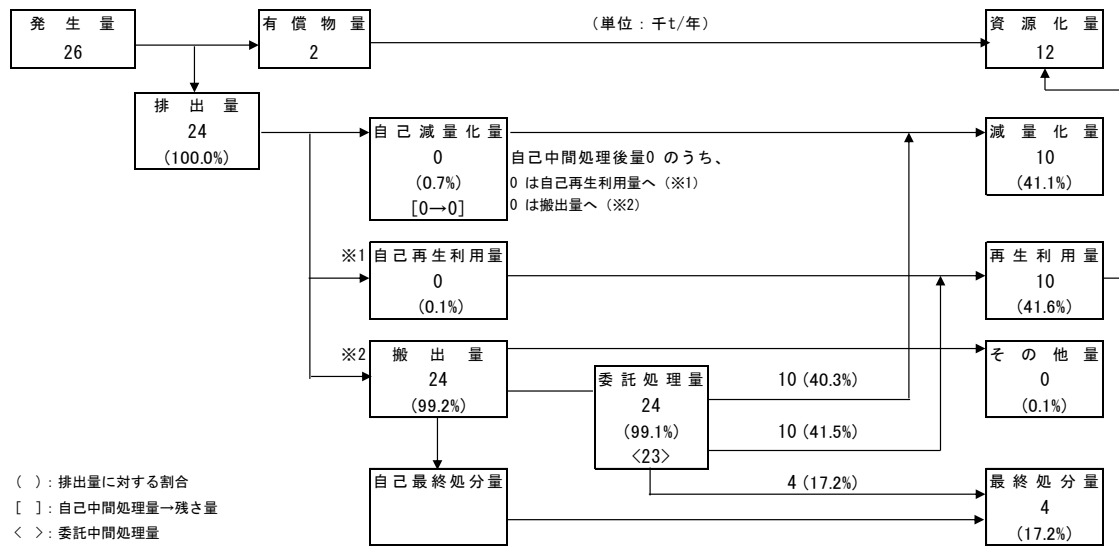


図 3-4-1 その他の業種の処理・処分状況

2 排出及び処理状況

排出量を種類別にみると、全体的に発生量は少なく、廃プラスチック類の 8 千ト、感染性産業廃棄物を含むその他の産業廃棄物の 6 千ト、汚泥及び廃油の 3 千トでその他の業種のほとんどを占めている。

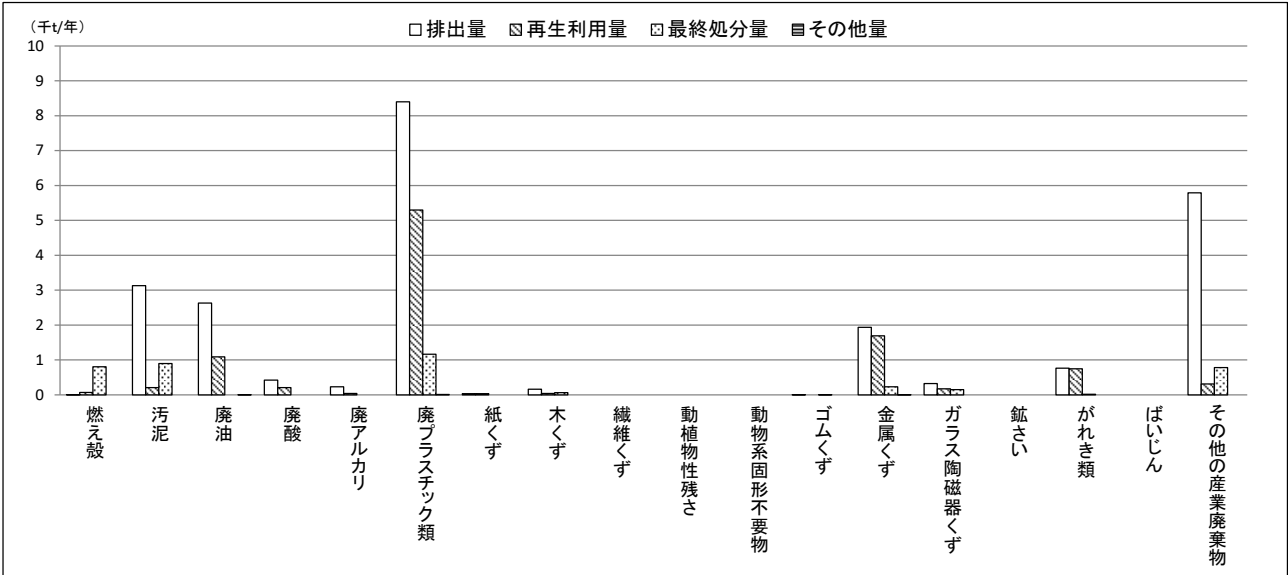
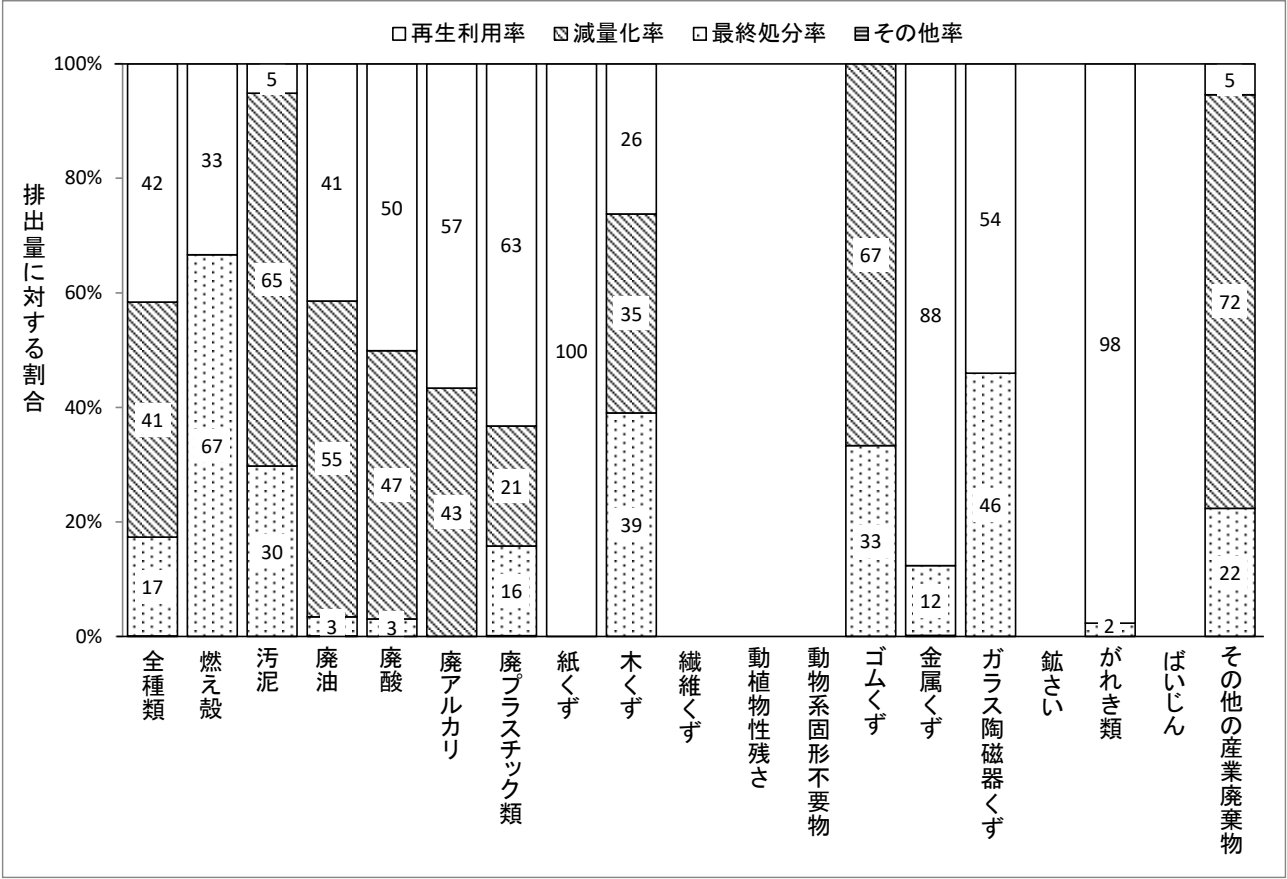


図 3-4-2 種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

排出された 24 千トンの処理・処分状況を見ると、10 千トン（41.1%）が減量化され、再生利用量は 10 千トン（41.6%）、最終処分量は 4 千トン（17.2%）となっている。



種類:無変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
排 出 量	24	0	3	3	0	0	8	0	0				0	2	0		1		6
再生利用量	10	0	0	1	0	0	5	0	0					2	0		1		0
減 量 化 量	10		2	1	0	0	2		0				0						4
最終処分量	4	0	1	0	0		1		0				0	0	0		0		1
そ の 他 量	0			0			0						0						

注1) 廃酸に最終処分量が表示されているが、実際には、中間処理により燃え殻や汚泥となったものが最終処分されている。
この表における再生利用量、最終処分量はこのような中間処理等による廃棄物の種類の変化を考慮していない。

図 3-4-3 種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

発生した産業廃棄物の処理・処分の流れは、図 3-4-4 のとおりである。

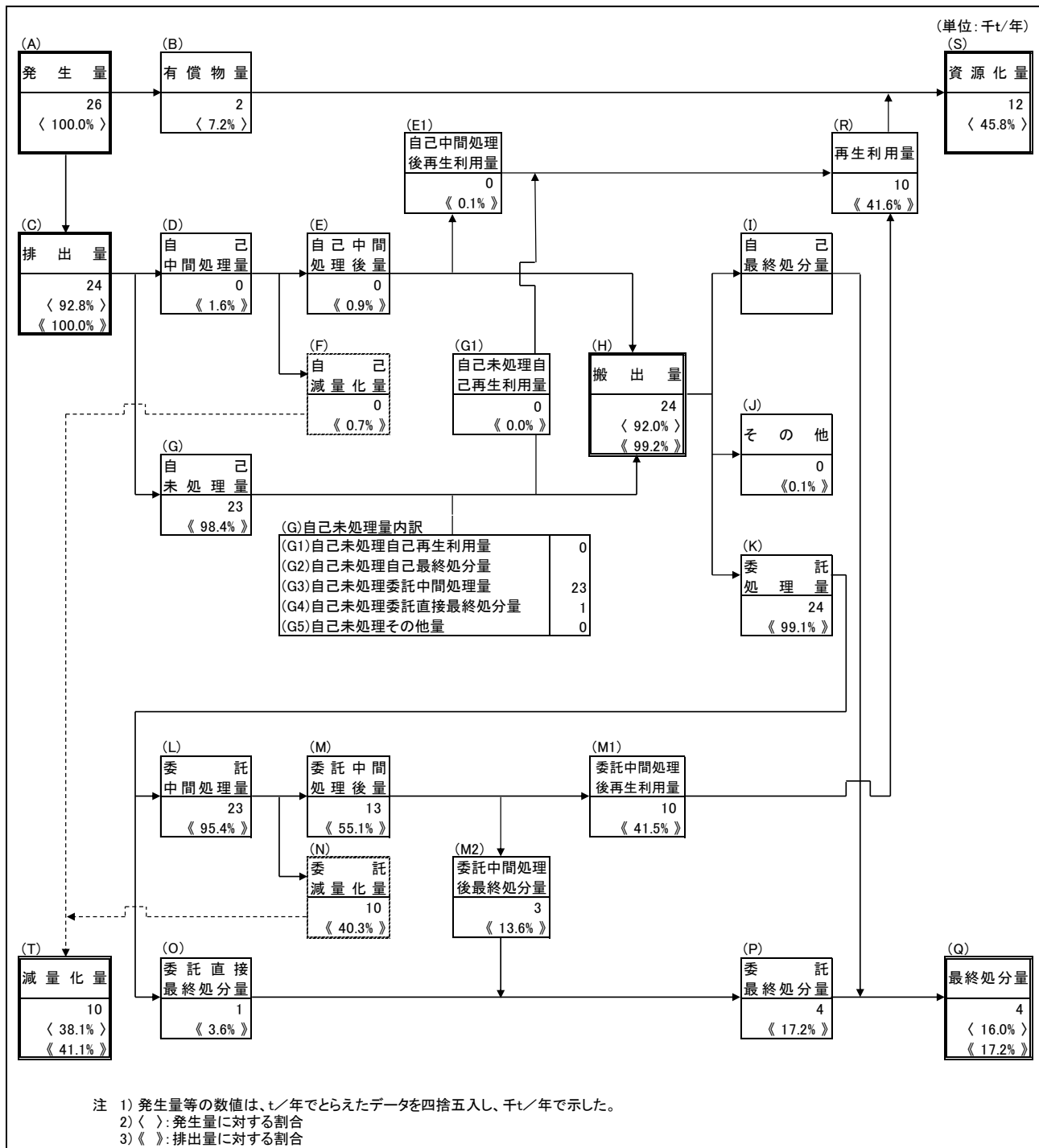


図 3-4-4 その他の業種の発生及び処理状況の流れ図

第4章 農業・鉱業を含めた産業廃棄物

第1節 農業からの産業廃棄物

農業からの産業廃棄物については、郵送によるアンケート調査は行わず、県の資料に基づいて取りまとめた。

対象廃棄物は、畜産農業からの家畜ふん尿と施設園芸農業からの農業用廃プラスチックであり、以下のとおり排出量の現状をとらえた。

家畜ふん尿の排出量は、令和3年の畜種別の飼養頭羽数（県関係部局資料）と令和元年度の畜種別の飼養頭羽数及び排出量（令和2年度秋田県産業廃棄物実態調査報告書）から推計した。（992千トン：表4-1-1）

また、「秋田県家畜排せつ物利用促進計画（H28.4）」を基に排出量の60%を再生利用量とした。

農業用廃プラスチックについては、県の資料から令和2年度における秋田県の年間排出量（803トン：表4-1-2）を用いた。

表4-1-1 畜種別ふん尿排出量

	飼養頭羽数	排出量 (千t/年)	減量化量 (千t/年)	再生利用量 (千t/年)
乳用牛	4,029 頭	69	--	--
肉用牛	19,623 頭	182	--	--
豚	267,718 頭	629	--	--
採卵鶏	2,209 千羽	100	--	--
肉鶏	260 千羽	12	--	--
計	--	992	397	595

表4-1-2 農業用廃プラスチック排出量

(単位：t/年)

	排出量	再生処理	埋立処理	焼却処理	その他
農業用廃プラスチック	803	528	128	94	53

第2節 鉱業からの産業廃棄物

(令和2年度 秋田県産業廃棄物実態調査報告書より抜粋)

1 概要

鉱業からの産業廃棄物は、農業を除く他の業種と同様にアンケート調査により取りまとめた。

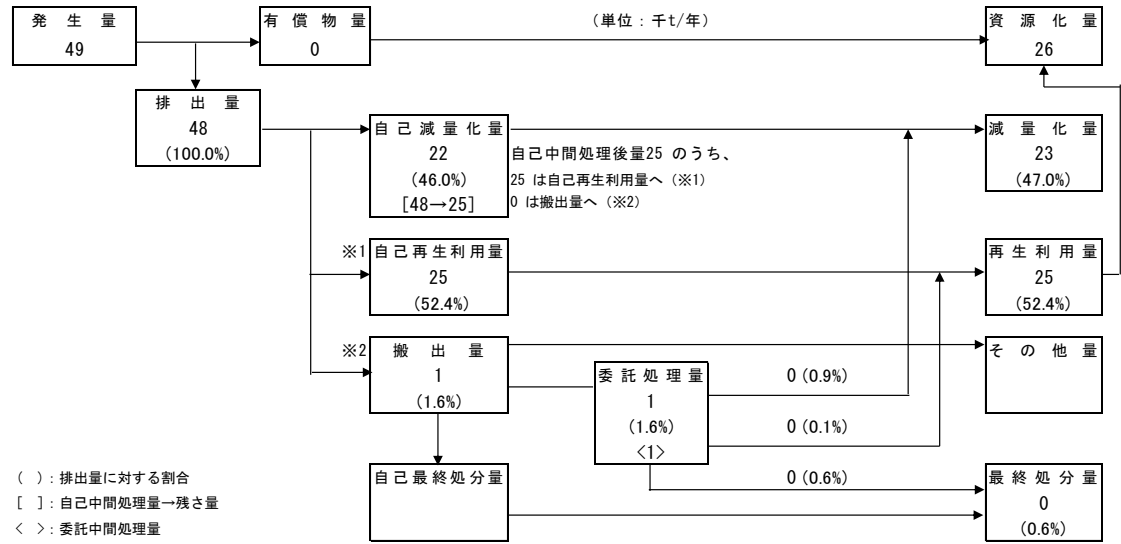


図 4-2-1 鉱業の処理・処分状況

2 排出及び処理状況

排出量を種類別にみると、汚泥の 48 千トン（鉱業の排出量の 99.3%）がほぼ全量を占めている。

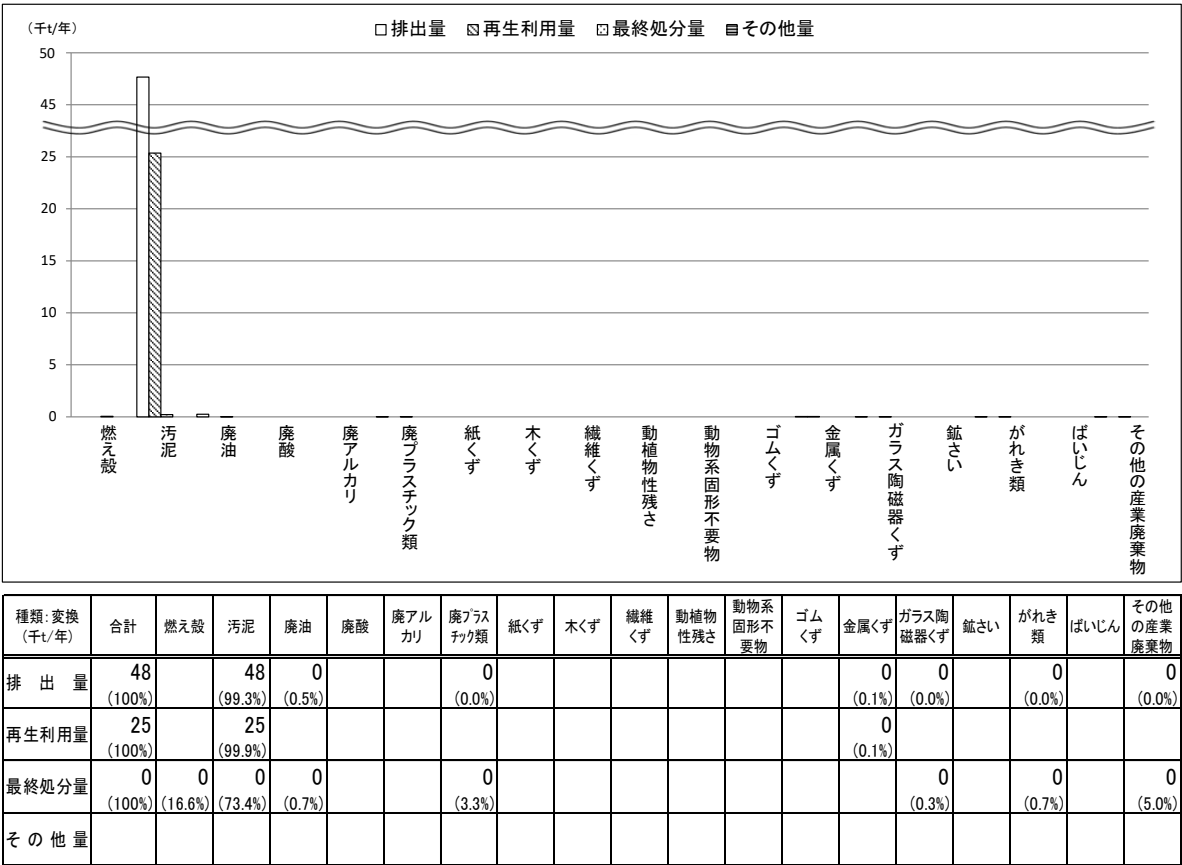
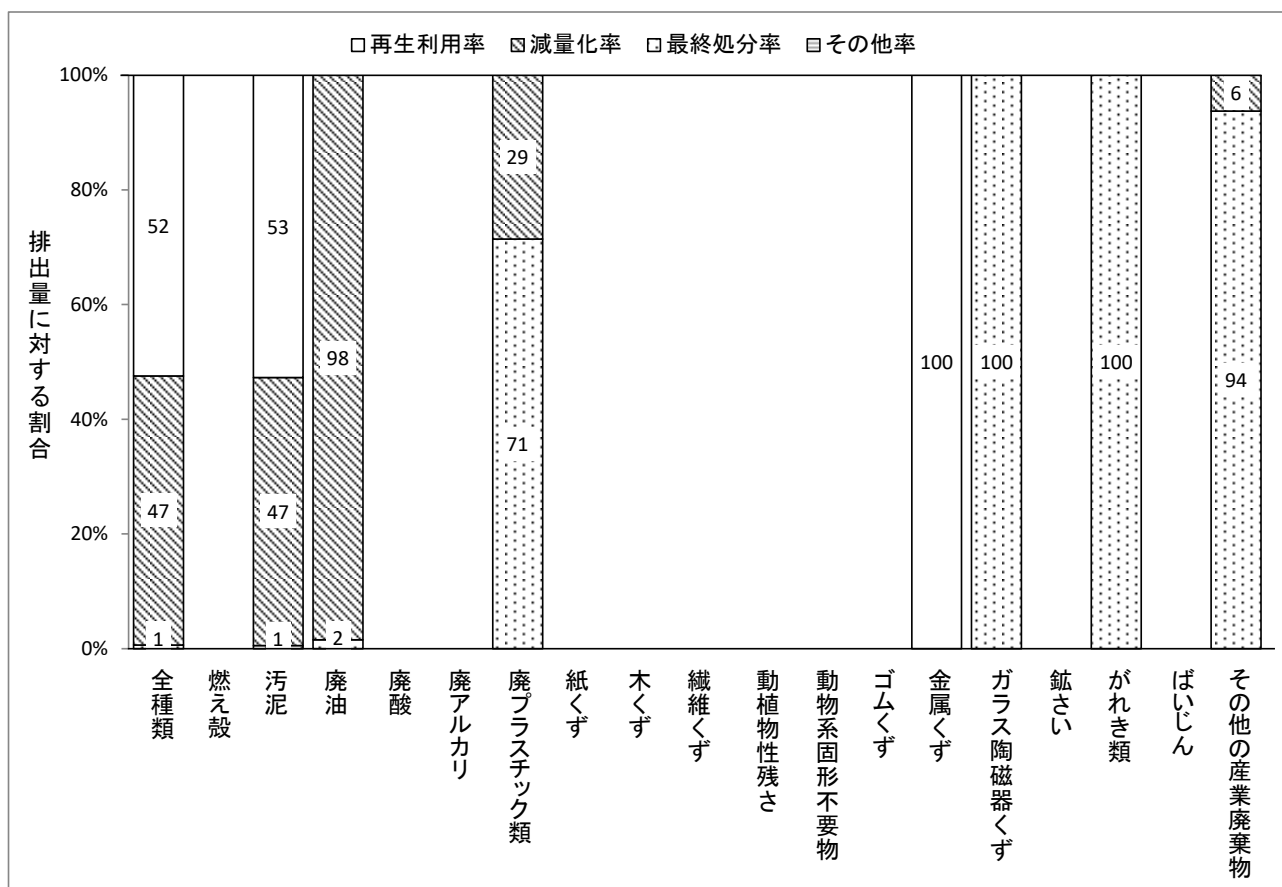


図 4-2-2 種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

排出された 48 千トンの処理・処分状況を見ると、23 千トン（47.0%）が減量化され、再生利用量は 25 千トン（52.4%）、最終処分量は 0.3 千トン（0.6%）となっている。



種類:無変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	その他の産業廃棄物
排出量	48		48	0			0							0	0		0		0
再生利用量	25		25											0					
減量化量	23		22	0			0												0
最終処分量	0		0	0			0								0		0		0
その他量																			

注1) 廃油に最終処分量が表示されているが、実際には、中間処理により燃え殻や汚泥となったものが最終処分されている。
この表における再生利用量、最終処分量はこのような中間処理等による廃棄物の種類の変化を考慮していない。

図 4-2-3 種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

第3節 農業・鉱業を含めた排出量

農業・鉱業を含めた令和3年度の排出量は、3,574千トである。

表 4-3-1 農業・鉱業を含めた排出量（業種別・種類別）

（単位：千 t / 年）

業 種 種 類	合 計	農 業	鉱 業	建設業	製造業	電気・ 水道業	その他の業 種
合 計	3,574 (100%)	993	48	652	822	1,034	24
燃え殻	51 (1.4%)			0	15	35	0
汚泥	1,193 (33.4%)		48	67	506	569	3
廃油	15 (0.4%)		0	0	12	0	3
廃酸	5 (0.1%)				5	0	0
廃アルカリ	8 (0.2%)			0	7		0
廃プラスチック類	40 (1.1%)	1	0	8	22	0	8
紙くず	7 (0.2%)			1	7		0
木くず	70 (2.0%)			47	23		0
繊維くず	0 (0.0%)			0	0		
動植物性残さ	11 (0.3%)				11		
動物系固形不要物							
ゴムくず	0 (0.0%)			0	0		0
金属くず	11 (0.3%)		0	6	4	0	2
ガラス陶磁器くず	48 (1.3%)		0	10	38		0
鉱さい	150 (4.2%)				150		
がれき類	505 (14.1%)		0	502	1	1	1
動物のふん尿	992 (27.8%)	992					0
ばいじん	29 (0.8%)			0	15	14	
その他の産業廃棄物	438 (12.3%)		0	11	7	414	6

（注1）表中の「0」は1t以上500t未満で、空欄は1t未満。

（注2）千t未満を四捨五入したため、内訳の計が合計に一致しないものがある。

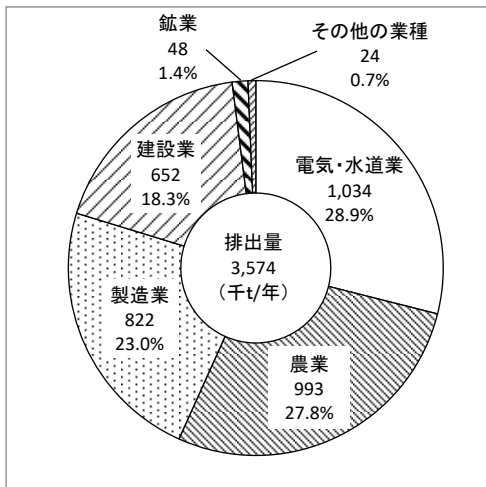
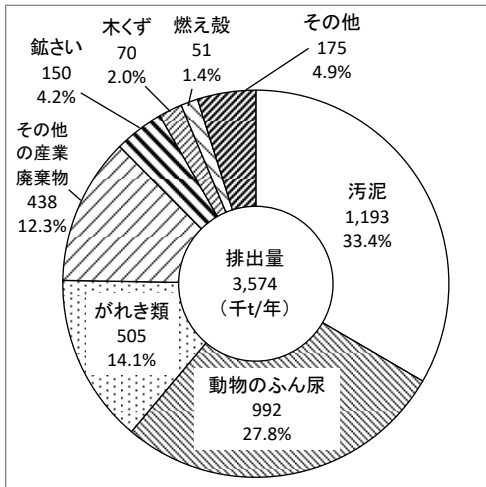
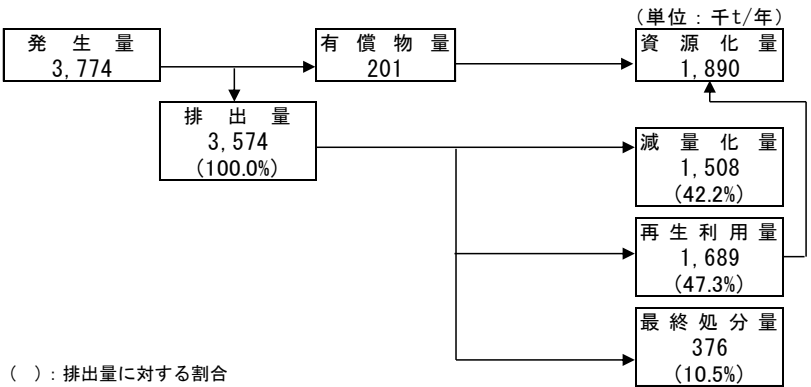


図 4-3-1 農業・鉱業を含めた種類別排出量

図 4-3-2 農業・鉱業を含めた業種別排出量



() : 排出量に対する割合

図 4-3-3 農業・鉱業を含めた処理・処分状況

第5章 産業廃棄物の移動状況

産業廃棄物の移動状況のうち、県内発生分については産業廃棄物実態調査から委託処理に関する結果について中間処理及び最終処分目的別と県内外別、種類別に集計し、県外から県内に搬入される分については、県内産業廃棄物処分業者が県及び秋田市に報告した産業廃棄物処分実績報告書を基に中間処理及び最終処分目的別と地域別、種類別に集計を行った。

第1節 産業廃棄物の移動状況の概要

県内で発生し委託処理された産業廃棄物は、724千トンが県内で中間処理されており、432千トンが県外で中間処理、203千トンが県内で最終処分となっている。県外で最終処分された量は1千トン未満である。

県外から搬入される産業廃棄物は178千トンであり、中間処理が163千トン、最終処分が15千トンとなっている。

県内から県外に搬出される産業廃棄物は、約7割が石炭火力発電所から排出される燃え殻やばいじんであって、その多くがセメント原材料として再利用されている。

表 5-1-1 産業廃棄物の移動状況（概要）

（単位：千t/年）

	中間処理	最終処分	合計
県内 → 県内	724 (78.1%)	203 (21.9%)	928 (100.0%)
県内 → 県外	432 (100.0%)	0 (0.0%)	432 (100.0%)
県外 → 県内	163 (91.4%)	15 (8.6%)	178 (100.0%)

表 5-1-2 産業廃棄物の移動状況

（単位：千t/年）

産業廃棄物の種類	県外への搬出			県内への搬入		
	中間処理	最終処分	計	中間処理	最終処分	計
燃え殻	27		27	2	0	2
汚泥	49	0	49	6	9	15
廃油	2		2	23		23
廃酸	2		2	9		9
廃アルカリ	4		4	11		11
廃プラスチック類	9	0	9	66	3	68
紙くず				0	0	1
木くず	0		0	2	1	3
繊維くず	0		0	0	0	0
動植物性残さ	4		4	1		1
動物系固形不要物						
ゴムくず				0		0
金属くず	1	0	1	0	0	1
ガラス陶磁器くず	1	0	1	6	1	6
鋳さい	5		5	0	0	1
がれき類	24		24	2	0	2
ばいじん	16	0	16	2	0	2
その他の産業廃棄物	286	0	286	33	0	33
合計	432	0	432	163	15	178

注：中間処理には再生利用を含む。また中間処理後の残さが最終処分される場合もあるが、その量は計上していない。最終処分は中間処理を経ずに直接最終処分された量を計上している。

第2節 県外への搬出状況

県外に搬出される産業廃棄物を地方ブロック別にみると、東北地方への搬出量が 195 千トンで最も多く、次いで、北海道が 124 千トン、韓国が 108 千トン等となっている。

また、種類別にみると、その他の産業廃棄物が 286 千トンで最も多く、次いで、汚泥が 49 千トン、燃え殻が 27 千トン等となっている。

更に、処理目的別にみると、ほぼ全量が中間処理目的であり、最終処分目的（中間処理を経ずに最終処分）は、1 千トン未満となっている。

表 5-2-1 県外への搬出状況

(単位:千t/年)

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄	韓国	合計
燃え殻	6	21	0						27 (6.4%)
汚泥	0	48	0	1					49 (11.4%)
廃油		2	0	0					2 (0.5%)
廃酸		2	0	0	0				2 (0.5%)
廃アルカリ		4	0	0					4 (1.0%)
廃プラスチック類	0	8	0	0					9 (2.1%)
紙くず									
木くず		0							0 (0.0%)
繊維くず		0							0 (0.0%)
動植物性残さ		4							4 (0.9%)
動物系固形不要物									
ゴムくず									
金属くず		0	0						1 (0.1%)
ガラス陶磁器くず	0	1	0	0	0				1 (0.3%)
鋳さい		4	1						5 (1.1%)
がれき類	0	24	0	0					24 (5.6%)
ばいじん		16	0						16 (3.7%)
その他の産業廃棄物	117	60	0	0	0			108	286 (66.3%)
合計	124 (28.6%)	195 (45.2%)	3 (0.8%)	1 (0.3%)	0 (0.0%)			108 (25.1%)	432 (100.0%)

表 5-2-2 県外への搬出状況（中間処理目的）

(単位:千t/年)

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄	韓国	合計
燃え殻	6	21	0						27 (6.4%)
汚泥	0	48	0	1					49 (11.4%)
廃油		2	0	0					2 (0.5%)
廃酸		2	0	0	0				2 (0.5%)
廃アルカリ		4	0	0					4 (1.0%)
廃プラスチック類	0	8	0	0					9 (2.1%)
紙くず									
木くず		0							0 (0.0%)
繊維くず		0							0 (0.0%)
動植物性残さ		4							4 (0.9%)
動物系固形不要物									
ゴムくず									
金属くず		0	0						1 (0.1%)
ガラス陶磁器くず	0	1	0	0	0				1 (0.3%)
鋳さい		4	1						5 (1.1%)
がれき類	0	24	0	0					24 (5.6%)
ばいじん		16	0						16 (3.7%)
その他の産業廃棄物	117	60	0	0	0			108	286 (66.3%)
合計	124 (28.6%)	195 (45.2%)	3 (0.8%)	1 (0.3%)	0 (0.0%)			108 (25.1%)	432 (100.0%)

表 5-2-3 県外への搬出状況（最終処分目的）

（単位：千t/年）

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄	韓国	合計
燃え殻									
汚泥		0	0						0 (49.5%)
廃油									
廃酸									
廃アルカリ									
廃プラスチック類		0							0 (3.0%)
紙くず									
木くず									
繊維くず									
動植物性残さ									
動物系固形不要物									
ゴムくず									
金属くず			0						0 (1.0%)
ガラス陶磁器くず		0							0 (41.6%)
鉱さい									
がれき類									
ばいじん			0						0 (4.0%)
その他の産業廃棄物			0						0 (1.0%)
合計		0 (92.1%)	0 (7.9%)						0 (100.0%)

第3節 県内への搬入状況

県内に搬入される産業廃棄物を地方ブロック別にみると、東北地方からの搬入量が 82 千トンで最も多く、次いで、関東地方が 81 千トン、中部地方が 12 千トン等となっている。

また、種類別にみると、廃プラスチック類が 68 千トンで最も多く、次いで、その他の産業廃棄物（混合物）が 33 千トン、廃油が 23 千トン、汚泥が 15 千トン等となっている。

更に、処理目的別にみると、中間処理目的が 163 千トンであり、最終処分目的（中間処理を経ずに最終処分）は 15 千トンとなっている。

表 5-3-1 県内への搬入状況

（単位：千t/年）

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州・沖縄	合計
燃え殻		0	2	0				2 (1.4%)
汚泥	0	13	1	0	0			15 (8.2%)
廃油		16	4	2	0			23 (12.8%)
廃酸	0	7	2	1				9 (5.1%)
廃アルカリ	0	10	1	1				11 (6.4%)
廃プラスチック類	0	13	53	2				68 (38.3%)
紙くず		0	1					1 (0.5%)
木くず		0	2	0				3 (1.6%)
繊維くず		0	0					0 (0.3%)
動植物性残さ		1						1 (0.6%)
動物系固形不要物								
ゴムくず		0						0 (0.0%)
金属くず	0	0	0	0				1 (0.3%)
ガラス陶磁器くず	0	6	1					6 (3.5%)
鉱さい		0		0				1 (0.3%)
がれき類		1	1	1				2 (1.2%)
ばいじん	1	1	0	0				2 (1.1%)
その他の産業廃棄物	2	14	13	4	0			33 (18.5%)
合計	3 (1.6%)	82 (46.2%)	81 (45.3%)	12 (6.8%)	0 (0.1%)			178 (100.0%)

表 5-3-2 県内への搬入状況（中間処理目的）

（単位：千t/年）

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国・ 四国	九州・ 沖縄	合計
燃え殻		0	2					2 (1.4%)
汚泥	0	4	1	0	0			6 (3.5%)
廃油		16	4	2	0			23 (14.0%)
廃酸	0	7	2	1				9 (5.6%)
廃アルカリ	0	10	1	1				11 (7.0%)
廃プラスチック類	0	12	51	2				66 (40.2%)
紙くず		0	0					0 (0.2%)
木くず		0	2	0				2 (1.3%)
繊維くず			0					0 (0.0%)
動植物性残さ		1						1 (0.7%)
動物系固形不要物								
ゴムくず		0						0 (0.0%)
金属くず	0	0	0	0				0 (0.1%)
ガラス陶磁器くず	0	5	0					6 (3.5%)
鉱さい		0		0				0 (0.3%)
がれき類		1	1	0				2 (1.1%)
ばいじん	1	1	0					2 (1.1%)
その他の産業廃棄物	2	14	13	4	0			33 (20.0%)
合計	3 (1.7%)	72 (44.1%)	77 (47.1%)	11 (6.9%)	0 (0.1%)			163 (100.0%) (100.0%)

表 5-3-3 県内への搬入状況（最終処分目的）

（単位：千t/年）

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国・ 四国	九州・ 沖縄	合計
燃え殻		0		0				0 (0.9%)
汚泥		9	0	0				9 (58.4%)
廃油								
廃酸								
廃アルカリ								
廃プラスチック類		0	2	0				3 (17.9%)
紙くず		0	0					0 (3.1%)
木くず		0	0	0				1 (5.0%)
繊維くず		0	0					0 (3.2%)
動植物性残さ								
動物系固形不要物								
ゴムくず								
金属くず			0	0				0 (2.2%)
ガラス陶磁器くず		0	0					1 (3.6%)
鉱さい				0				0 (0.1%)
がれき類		0		0				0 (2.0%)
ばいじん		0		0				0 (1.3%)
その他の産業廃棄物				0				0 (2.4%)
合計		11 (68.5%)	4 (25.4%)	1 (6.0%)				15 (100.0%) (100.0%)

表 5-3-4 地方ブロック

ブロック名	都道府県名
北海道	北海道
東北	青森県、岩手県、宮城県、山形県、福島県、新潟県
関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
中部	富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国・四国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

第 6 章 産業廃棄物の推移

第 1 節 令和 2 年度実績との比較

1 排出量

排出量は 193 千ト増加している。業種別にみると、電気水道業、製造業、建設業の主要 3 業種が全て増加しており、景気回復等による影響と推測される。

種類別にみると、主要な種類は増加し、特に「その他の産業廃棄物」の増加が大きくなっている。

なお、「その他の産業廃棄物」は混合物が増加しており、石炭火力発電所の新施設が稼働し、ばいじんと燃え殻を一緒に合わせた状態（混合物）で排出されることになったことが影響している。

表 6-1-1 排出量

(単位: 千t)

	令和2年度	令和3年度	増減(R3-R2)
排出量計	2,340	2,532	193
電気・水道業	995	1,034	39
製造業	775	822	47
建設業	545	652	107
その他	24	24	0

(単位: 千t)

	令和2年度	令和3年度	増減(R3-R2)
排出量計	2,340	2,532	193
汚泥	1,050	1,145	95
がれき類	459	505	46
その他の産業廃棄物	303	438	135
鉱さい	144	150	6
その他 (上記以外)	384	295	-90

2 再生利用量

再生利用量は 114 千ト増加しており、業種別にみると建設業と製造業が増加している。種類別にみると、主要な種類は増加し、特にがれき類とその他の産業廃棄物（混合物等）の増加が大きくなっている。

再生利用量の増加は、再生利用率の高い建設業の排出量が増加したこと等が影響している。

表 6-1-2 再生利用量

(単位:千t)

	令和2年度	令和3年度	増減(R3-R2)
再生利用量計	954	1,068	114
建設業	490	589	99
電気・水道業	346	341	-5
製造業	108	129	21
その他	10	10	0

(単位:千t)

	令和2年度	令和3年度	増減(R3-R2)
再生利用量計	954	1,068	114
がれき類	440	499	59
その他の産業廃棄物	264	319	55
木くず	47	62	15
汚泥	29	52	23
その他 (上記以外)	174	136	-38

3 最終処分量

最終処分量は 19 千ト増加しており、業種別にみると製造業と電気・水道業で増加している。

種類別にみると、特にその他の産業廃棄物（混合物等）の増加が大きくなっている。石炭火力発電所から排出されるその他の産業廃棄物（混合物）は前述のとおりであり、ばいじんの最終処分量が減少し、その他の産業廃棄物（混合物）の最終処分量が増加している。

表 6-1-3 最終処分量

(単位:千t)

	令和2年度	令和3年度	増減(R3-R2)
最終処分量計	357	376	19
製造業	167	182	15
電気・水道業	145	155	10
建設業	40	35	-5
その他	4	4	0

(単位:千t)

	令和2年度	令和3年度	増減(R3-R2)
最終処分量計	357	376	19
鉱さい	139	145	6
その他の産業廃棄物	35	112	77
汚泥	38	43	6
燃え殻	53	38	-15
その他 (上記以外)	92	37	-55

第2節 目標の達成状況

第4次秋田県循環型社会形成推進基本計画（令和3年3月策定）の数値目標は次のとおりである。なお、今回調査した令和3年度の実績値は、いずれもこの目標値を達成している。

＜数値目標（令和7年度）＞

- ・産業廃棄物の排出量：2,680 千ト
- ・産業廃棄物の最終処分量：393 千ト

表 6-2-1 産業廃棄物に関する現況と数値目標（農業・鉱業に係るものを除く）

項目 \ 年度	実績		目標
	令和2年度	令和3年度	令和7年度
排出量 (千t/年)	2,340	2,532	2,680
最終処分量 (千t/年)	357	376	393

第 7 章 意識調査結果

秋田県で産業廃棄物の排出事業者等に対して、電子マニフェストの利用状況及び県への要望等についてアンケート調査を実施し、408 事業所から回答があり、その結果を以下に整理した。

第 1 節 電子マニフェストの利用状況について

■ 貴事業所では、「電子マニフェストシステム」を利用していますか。
「システムは利用しない」を選択した場合、利用しない理由についてご回答ください。（複数回答）

電子マニフェストシステムの利用状況についてまとめると、以下のとおりである。

「システムを利用するか、利用しないかは、わからない」が 35.0%、「システムを利用している」が 23.0%、「システムは利用しない」が 21.3%、「電子マニフェストシステムを知らない」が 8.1%、「補助等の支援があれば、システムを利用したい」が 6.1%、「システムの利用を予定、又は検討している」が 4.7%となっている。（図 7-1-1）

なお、「システムは利用しない」と回答した事業所のうち、システムを利用しない理由としては「現状として問題がない」が 64.4%で最も多く、次いで「取引先で導入されていない」が 49.4%、「排出量が少ない。又は取引先が少ない」が 35.6%、「コストの問題がある」が 16.1%、「システムが難しくて分からない」が 2.3%となっている。（図 7-1-2）

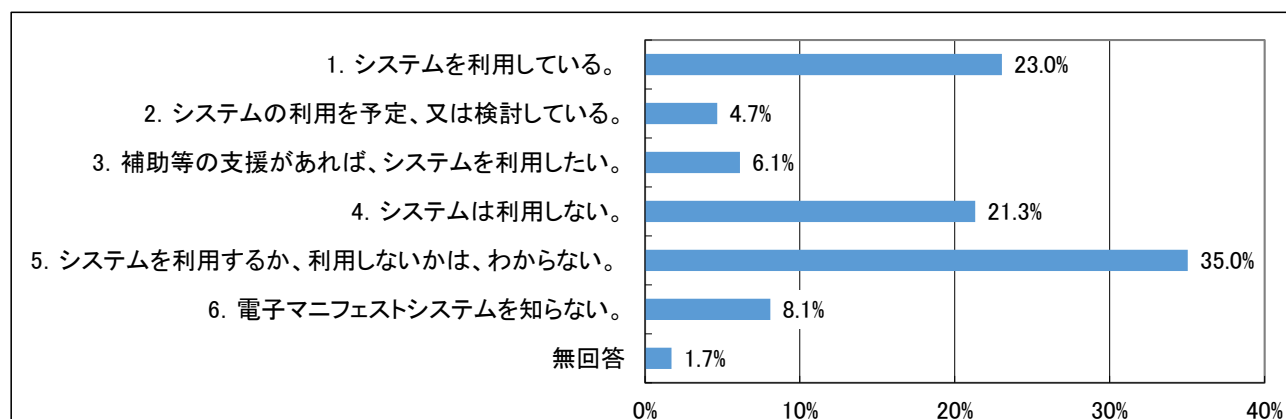


図 7-1-1 電子マニフェストシステムの利用状況

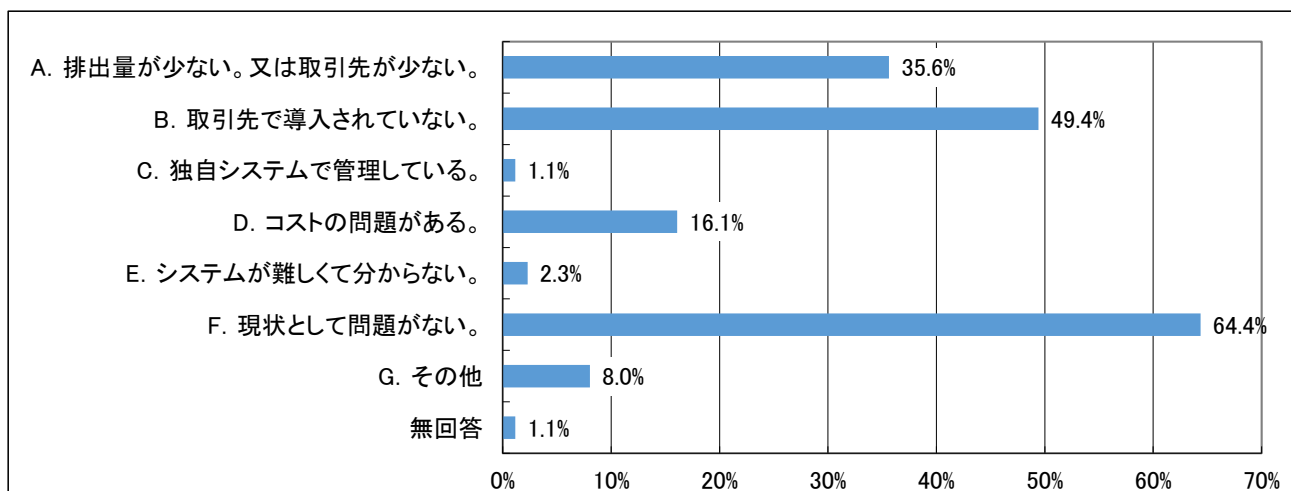


図 7-1-2 電子マニフェストシステムを利用しない理由

表 7-1-1 電子マニフェストシステムの利用状況

内容 \ 排出量ランク	1t未満	1t以上 10t未満	10t以上 100t未満	100t以上 1000t未満	1000t以上	計
1. システムを利用している。	6 (9.4%)	3 (18.8%)	12 (12.6%)	38 (29.5%)	35 (33.7%)	94 (23.0%)
2. システムの利用を予定、又は検討している。	0 (0.0%)	2 (12.5%)	1 (1.1%)	8 (6.2%)	8 (7.7%)	19 (4.7%)
3. 補助等の支援があれば、システムを利用したい。	1 (1.6%)	1 (6.3%)	5 (5.3%)	9 (7.0%)	9 (8.7%)	25 (6.1%)
4. システムは利用しない。	18 (28.1%)	4 (25.0%)	30 (31.6%)	19 (14.7%)	16 (15.4%)	87 (21.3%)
5. システムを利用するか、利用しないかは、わからない。	24 (37.5%)	4 (25.0%)	32 (33.7%)	51 (39.5%)	32 (30.8%)	143 (35.0%)
6. 電子マニフェストシステムを知らない。	9 (14.1%)	2 (12.5%)	14 (14.7%)	4 (3.1%)	4 (3.8%)	33 (8.1%)
無回答	6 (9.4%)	0 (0.0%)	1 (1.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (1.7%)
計	64 (100.0%)	16 (100.0%)	95 (100.0%)	129 (100.0%)	104 (100.0%)	408 (100.0%)

内容(複数回答) \ 排出量ランク	1t未満	1t以上 10t未満	10t以上 100t未満	100t以上 1000t未満	1000t以上	計
A. 排出量が少ない。又は取引先が少ない	11 (61.1%)	3 (75.0%)	11 (36.7%)	5 (26.3%)	1 (6.3%)	31 (35.6%)
B. 取引先で導入されていない	6 (33.3%)	2 (50.0%)	15 (50.0%)	8 (42.1%)	12 (75.0%)	43 (49.4%)
C. 独自システムで管理している	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (5.3%)	0 (0.0%)	1 (1.1%)
D. コストの問題がある	3 (16.7%)	0 (0.0%)	4 (13.3%)	4 (21.1%)	3 (18.8%)	14 (16.1%)
E. システムが難しくて分からない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.3%)	0 (0.0%)	1 (6.3%)	2 (2.3%)
F. 現状として問題がない	11 (61.1%)	2 (50.0%)	18 (60.0%)	14 (73.7%)	11 (68.8%)	56 (64.4%)
G. その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (10.0%)	1 (5.3%)	3 (18.8%)	7 (8.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (5.3%)	0 (0.0%)	1 (1.1%)
計	18 (100.0%)	4 (100.0%)	30 (100.0%)	19 (100.0%)	16 (100.0%)	87 (100.0%)

「G. その他」主な内容

- ・処分を委託する時に紙の引き継ぎ票が必要なため
- ・取引先で電子マニフェストが導入されているのかがわからない
- ・運搬業者がマニフェストをもってきてくれるため
- ・搬出回数が少なく費用対効果が見込めない
- ・元請としての工事量が少ないため

第2節 県への要望等について

■自由記載（県への要望等）

産業廃棄物等の減量化・リサイクル、適正処理等を推進するにあたり、県への要望等があればご記入ください。

県への要望等についてまとめると、以下のとおりである。

表 7-2-1 県への要望

	主な内容
電子マニフェストについて(5件)	完全電子マニフェスト化を推進してほしい。 電子マニフェストシステムの利用拡大を秋田県の施策として強力的に運搬、処理業者を指導して欲しい。 電子マニフェストシステムが会社の利益になるのであれば、説明資料がほしい。 電子マニフェストを使用している事業所は調査票はいらないのではないのか。調査票の電子化を希望する。 電子マニフェストの利用に消極的な会社への支援又は強制による合理化の推進。
調査・報告について(4件)	マニフェスト交付状況報告書、実施状況報告書、多量排出計画書に合わせて集計項目を検討して頂きたい。 調査票の記入が非常にわかりづらい。できれば、やめてもらいたい。 本調査票のフォームを毎年統一して欲しい。 広域設置やリサイクル率の高い処理会社への県外排出(受入)時の事前協議等の手続きや報告等の簡略化又は廃止等。
制度・体制の構築について(12件)	リサイクルを実施することで、会社の利益となるインフラを作ってほしい。 官民共用の残土保管及び利用又は事業の普及。 ごみの減量化および再利用について新制度等の連絡をお願いしたい。 自県で出た廃棄物は自県で処理できる様にリサイクル方法と処分場の受入をきちんと考えて、支援してほしい。 廃プラを処分へ回す量が多い(比較的きれいな廃プラが多い)ため、有価で買い取ってもらえるような廃プラリサイクル施設建設の検討をしてもらいたい。 秋田県全体で浄水発生土の有効利用を図るため、溶融スラグのようなリサイクルを進める制度や体制を整備して頂きたい。 公共の処理施設の整備を進めて頂きたい。 廃棄物の量を減らし、リサイクルを進める仕組みづくりや見える化。 各メーカーでタイヤ購入時引取ってほしい。 県や市が関与する、公共の処理施設の整備促進
処理業者等への指導について(8件)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に則った適正処理を指導して欲しい。 基本的に排出側は、物量問わず委託処理をする企業が多いと思うが、比較的処理が難しい(特管有害系など)ものを受入出来る処分業者が県内には少ないと感じる。社会の生産活動の終末を担う重要な業種であると思うので、その辺りの処理技術の向上を図って頂きたい。 優良な廃棄物処理業者の育成・支援、業者の情報公開など。
助成支援について(6件)	環境負荷の少ない製品や、リサイクル認定製品の普及等に対する支援をしてほしい。 プラスチックペレット(外部購入)→プラスチックシート成形(押出成形)→食品容器(真空・真空圧空成形・熱板成形)→破材粉碎・再生(リペレット化)→外部販売・シート成形(押出成形)再投入の資源リサイクルが出来ている。バイオ製品にも取り組みたいと思うが、支援が頂きたい。 廃プラリサイクル施設増設の推進及び助成支援等 廃棄物の減量及びリサイクルの技術開発・施設整備への補助・融資制度の拡充。 廃棄物処理費が年々上昇しているが、製品価格に添加しにくくなっているため、廃棄物発生量の削減し寄与する投資などに対し、補助金などの支援をして頂きたい。 環境負荷の軽減に向けた新技術の開発や設備拡充を支援してほしい。(補助金、融資等)

施策の整備について(3件)	SDGs、カーボンニュートラルと、言葉ばかりが先行している感があるが、プラスチックゴミが環境汚染の元凶となっているように、当社から排出される産業廃棄物も金属くずの有価物を除けば、約9割が廃プラスチックである。県内には当社と似通った事情を抱える事業者が少なからず存在すると思うが、民間事業者の自助努力に委ねるだけでなく、県には先進的取組みとして RPF の廃棄物固形燃料化プラントを立ち上げる等、地域で発生したものは地域で処理する仕組みづくりを具現化するような姿勢を示して欲しい。
	ここ最近、ユーザーとの取引において、産業廃棄物の『ゼロウエスト』『ゼロエミッション』が必須になる傾向があります。最終処分【埋め立て】から【再資源化】に移行する上で、産廃処分コストが大幅に増える事になる。県でも「SDGs(エスディーゼーズ)」最終目標年度に向け、推し進めているが、一層の取り組みとして、例えば、産業廃棄物の減量、再資源化に定量的に実績がある、中小企業への補助金支給制度の制定、「SDGs 優良認定企業」など、具体的な施策を打ち出していただければと思う。
	産業廃棄物の処理料金が安価となるような施策をお願いしたい。特に秋田県環境保全センターの料金が高額な印象がある。
研修会・説明、情報提供の要望(10件)	リサイクルと SDGs について、関連があれば説明資料がほしい。
	電子マニフェストを導入するために、システムの説明会等を開催して頂きたい。
	処理業者からの排出業者への要望が聞けるセミナーの開催
	リサイクルにあたり、県内の引取り可能な種類、業者の情報をおしえてほしい。リサイクル化の研修会等、情報提供の場を設けてもらいたい。
	廃油量がなかなか減らない中、処理費用の値上がりも重なり、年々廃棄物に関する費用が増えている。廃油のリサイクル等の方法があれば教えて頂きたい。
	産業廃棄物のリサイクルを行っている事業者の紹介。産業廃棄物の適正処理に関する情報提供。
啓発・広報(2件)	排出事業者に対する適正処理・リサイクルに関する、講習会や研修会の実施。
	廃棄物についての県民の知識や理解を深めるための啓発・広報活動。
その他	Jクレジットなどの産廃処理業又は、付加価値の高い処理品の利用推進。→利用することでCO2削減に寄与できる取り引きの創出。
	環境負荷の少ない製品の開発や利用、リサイクル認定製品の普及等に対する支援。
	工事廃棄物の減量化(CAE工法・応力緩和層工法)
	酒粕を食材や調味料として活用できるような商品の開発、広報の実施。 ※幸いなことに弊社は品質が劣化して黒くなった酒粕以外は全て食材として売却できているが、県内外の同業他社から「販路が開拓できず、品質に問題のない酒粕の一部を廃棄処理せざるを得ない」という話を聞くことがある。畜産試験場や畜産業者に飼料として出荷する以外にも活用方法があればいいのだが。

表 7-2-2 県への提案、意見等

	主な内容
電子マニフェストについて	元請けとして電子マニフェストを導入したいが、処分業者で利用しているところがほとんどなくどうしようもない。
調査・報告について	県によっては蛍光灯をリサイクル処理という内容でE票までもとめていない県もある。
制度・体制の構築について	鋳物廃砂や廃レンガの再利用受入先が県内になく、埋立か県外受入先を選択するしかない。単独企業での再利用の開発は難しく、仮に県内同業者が共同開発するにしてもハードルは非常に高い。弊社同業種は県内に数社あるので、行政主体で再利用開発・県内受入する動きがあれば良いと思う。
啓発・広報	自分達が分類しているごみの流れや、捨てられているごみがどの汚染につながるか、簡単なわかりやすい描写があれば、アピール力が増し、廃棄物に対する認識が深まるのではないかな。
その他	ランナーリサイクルにおいて、嵩張るため、遠くの回収業者はメイン以外の(少ない)ものを持って行きたがらない。工業団地内に、回収、リサイクル(リペレット)工場があれば、細かな対応を取ってもらえると思う。
	自社での産業廃棄物の量の削減に取り組んでいるが、舗装工事(アスファルト舗装工事)の受注しだいによって大きく変動がある。 また、家屋解体工事などの受注もあれば廃棄物量が大きく変わってくると思う。この調査自体、どこまでの範囲でやっているか不透明なところがある。自社以外にも該当する業者は多数いると思う。

参 考 資 料

< 統 計 表 >

統計表目次

表 1 業種別種類別の結果表【令和 3 年度】

表 1-1	発生量	55
表 1-2	有償物量	56
表 1-3	排出量	57
表 1-4	搬出量	58
表 1-5	自己最終処分量	59
表 1-6	委託処理量	60
表 1-7	委託中間処理量	61
表 1-8	委託直接最終処分量	62
表 1-9	委託最終処分量	63
表 1-10	最終処分量	64
表 1-11	再生利用量	65
表 1-12	資源化量	66
表 1-13	排出量＜秋田市＞	67
表 1-14	排出量＜県北地域＞	68
表 1-15	排出量＜県央地域＞	69
表 1-16	排出量＜県南地域＞	70

表 2 発生量及び処理・処分状況（種類別：変換）＜業種別＞【令和 3 年度】

表 2-1	全業種	72
表 2-2	建設業	74
表 2-3	製造業	76
表 2-4	電気・水道業	78
表 2-5	その他の業種	80

表 3 発生量及び処理・処分状況（種類別：無変換）＜業種別＞【令和 3 年度】

表 3-1	全業種	82
表 3-2	建設業	84
表 3-3	製造業	86
表 3-4	電気・水道業	88
表 3-5	その他の業種	90

表 4 発生量及び処理・処分状況（種類別：変換）＜地域別＞【令和 3 年度】

表 4-1 秋田市	92
表 4-2 県北地域	94
表 4-3 県央地域	96
表 4-4 県南地域	98

表 5 発生量及び処理・処分状況（業種別）＜地域別＞【令和 3 年度】

表 5-1 全地域	100
表 5-2 秋田市	102
表 5-3 県北地域	104
表 5-4 県央地域	106
表 5-5 県南地域	108

表 6 鉱業の発生量及び処理・処分状況（種類別）【令和 3 年度】

表 6-1 変換	110
表 6-2 無変換	112

(单位: 千 + / 年)

(单位: 千 + / 年)

表1-2 有償物量（業種別・種類別）＜令和3年度＞

業種	合	建	製	電																	情報通信業	運輸業	卸・小売業	物品賃貸業	学術サービス業	生活関連サービス業	教育・学習支援業	医療・福祉	サービス業						
				食料・飼料	飲料・飼料	繊維	木材	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄	非鉄金属	金	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報通信機器	輸送機器	その他	電気・水道業	ガス業	上水道業	下水道業					
種類	計	業	業	品	品	維	材	具	紙	刷	炭	ク	ム	革	石	鋼	属	属	器	器	器	品	器	器	器	器	他	業	業	業	業	業	業	業	
合計	201	0	88	0	0	63			1	0	4	0	0	0	1	1	4	1	3	3	2	1	1	1	1	4	110	110	1	1	0	0	0	0	
燃え殻	1																																		
汚泥	94		0																																
有機性汚泥																																			
無機性汚泥	94		0																																
廃油	2		2	0																															
一般廃油	2		1	0																															
廃溶剤	0		0																																
その他																																			
廃酸																																			
廃アルカリ	0																																		
廃プラスチック類	4		4	0						0	1								0	2	0														
廃プラスチック	4		4	0						0	1								0	2	0														
廃タイヤ	0																																		
紙くず	1		1						1																										
木くず	63		63																		0														
繊維くず																																			
動植物性残さ	0		0	0	0																														
動物系固形不要物																																			
ゴムくず	0																																		
金属くず	22	0	18	0		0				0	2	0			0	0	1	3	1	3	1	0	0	1	4		3	3						0	
ガラス陶磁器くず	0		0												0																				
鉱さい	1		1													1	0																		
がれき類	0	0																																	
コンクリート片																																			
廃アスファルト	0	0																																	
その他																																			
ばいじん																																			
その他の産業廃棄物	12		0															0									12	12							0
感染性廃棄物																																			
混合物等	12		0															0									12	12							0

表1-3 排出量（業種別・種類別）＜令和3年度＞

業種	合 計	建 設	製 造	電 気 ・ 水 道 業																				情 報 通 信 業	物 品 買 賣 業	学 術 研 究 ・ 業 務	生 活 関 連 サービス業	医 療 ・ 学 習 支 援 業	サ										
				食 料 ・ 飼 料	飲 料	織 物	木 材	家 具	ハ ル プ	印 刷	化 学	石 油 ・ 炭 石	プ ラ ス チ ッ ク	コ ー ム	皮 革	窯 業 ・ 土 石 業	鉄 鋼	非 鉄 金 属	金 属	はん 用 機 器	生 産 用 機 器	業 務 用 機 器	電 子 部 品	電 気 機 器	情 報 通 信 機 器	輸 送 機 器	そ の 他												
種 類	計	業 設	業 造	品 料	品 料	維 材	具 材	具 材	紙 紙	紙 紙	紙 紙	紙 紙	紙 紙	紙 紙	紙 紙	紙 紙	紙 紙	紙 紙	紙 紙	紙 紙	紙 紙	紙 紙	紙 紙	紙 紙	紙 紙	紙 紙	紙 紙	紙 紙	紙 紙	紙 紙									
合計	2,532	652	822	34	3	3	29	2	461	0	9	0	4	0	56	11	160	5	1	2	9	25	3	0	1,034	513	0	58	463	0	2	13	1	0	0	1	4	2	
燃え殻	51	0	15				7	0	7	0	0				0		1		0		0		0		35	35													
汚泥	1,145	67	506	22	3	2	0		433		5	0	0		14	0	9	2	0	0	4	8	1	0	569	49		57	463		0	2	0	0	0	0	0	0	
有機性汚泥	935	1	464	22	3	0	0		432		0				0	0	2	0	0	0	3	1		0	470	7		0	463		0	0	0	0	0	0	0	0	
無機性汚泥	210	65	42	0	0	2	0		1		5	0	0		14	0	7	2	0	0	1	7	1	1	100	43	57				0	2	0	0	0	0	0	0	
廃油	15	0	12	0							0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	0	0					0	2	0	0	0	0	0	0	
一般廃油	12	0	10								3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	1	0	0					0	2	0	0	0	0	0	0	
廃溶剤	2	0	1	0							0					0	0	0	0	0	1	1	0													0			
その他	1	0	1	0							0		0				0	0	0	0	0	0	0	1													0		
廃酸	5		5	0							0				0	0	1	1	0	0	2	0			0						0	0	0	0	0	0	0	0	
廃アルカリ	8	0	7								0	0			2	0	1	1	0	1	3	0	0															0	
廃プラスチック類	39	8	22	1	0	0	0	0	1	0	1	0	3	0	3	0	1	0	0	0	3	6	0	0	0	0					0	1	5	0	0	1	0	1	
廃プラスチック	34	8	22	1	0	0	0	0	1	0	1	0	3	0	3	0	1	0	0	0	3	6	0	0	0	0					0	0	2	0	0	1	0	0	
廃タイヤ	5		0												0	0															1	3	0				1		
紙くず	7	1	7								7	0																											
木くず	70	47	23	0	0		20	1	0		0	0	0		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0						0	0	0	0	0					
繊維くず	0	0	0			0																																	
動植物性残さ	11		11	0							0																												
動物系固形不要物																																							
ゴムくず	0	0	0														0																					0	
金属くず	11	6	4	0			1	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	1	0	0	0	0	0		
ガラス陶磁器くず	48	10	38	0	0			0	0		0				37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鉱さい	150		150								0					10	140	0																					
がれき類	505	502	1	0					0						0	0	0	0								1	0	1										0	
コンクリート片	298	296	0						0						0	0	0	0							0	0	0										0		
廃アスファルト	201	200	0															0							1	0	1												
その他	7	6	0	0											0	0	0	0																					
ばいじん	29	0	15						13						1	0										14	14												
その他の産業廃棄物	438	11	7	0	0		0	0		0	0	0	0		0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	414	414	0				0	0	1	0	0	0	4	0	
感染性廃棄物	4		0																																		0	0	4
混合物等	434	11	7	0	0		0	0		0	0	0	0		0	0	6	0	0	0	0	0	0		414	414	0				0	0	1	0	0	0	0	0	0

表1-6 委託処理量（業種別・種類別：変換）＜令和3年度＞

業種	合 計	建 設	製 造	電 気 ・ 水 道 業																										情 報 通 信 業	運 輸 業	卸 売 業	物 品 買 賣 業	学 術 研 究 ・ 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス 業	教 育 ・ 学 習 支 援 業	医 療 ・ 福 祉 業	サ								
				食 料 ・ 飼 料	飲 料	織 維	木 材	家 具	ハ ル プ	印 刷	化 学	石 炭	プ ラ ス チ ッ ク	ゴ ー ム	皮 革	窯 業 ・ 土 石	鉄 鋼	非 鉄 金 属	金 属	はん 用 機 器	生 産 用 機 器	業 務 用 機 器	電 子 部 品	電 気 機 器	情 報 通 信 機 器	輸 送 機 器	そ の 他	電 気 ・ 水 道 業	電 力										上 水 道 業	下 水 道 業						
業 種	合 計	建 設	製 造	食 料 ・ 飼 料	飲 料	織 維	木 材	家 具	ハ ル プ	印 刷	化 学	石 炭	プ ラ ス チ ッ ク	ゴ ー ム	皮 革	窯 業 ・ 土 石	鉄 鋼	非 鉄 金 属	金 属	はん 用 機 器	生 産 用 機 器	業 務 用 機 器	電 子 部 品	電 気 機 器	情 報 通 信 機 器	輸 送 機 器	そ の 他	電 気 ・ 水 道 業	電 力	上 水 道 業	下 水 道 業	情 報 通 信 業	運 輸 業	卸 売 業	物 品 買 賣 業	学 術 研 究 ・ 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス 業	教 育 ・ 学 習 支 援 業	医 療 ・ 福 祉 業	サ						
種 類	1,360	603	204	15	0	1	12	1	36	0	3	0	2	0	44	11	39	3	1	2	6	22	3	0	3	0	530	506	0	2	22	1	0	0	1	4	2									
燃え殻	63	0	26	0	0	0	7	0	17	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
汚泥	163	66	30	4	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	4	0	9	1	0	0	1	4	1	0	1	0	64	42	1	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
有機性汚泥	33	1	10	4	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
無機性汚泥	130	64	20	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	0	7	1	0	0	0	4	1	1	1	0	43	42	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃油	13	0	10	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
一般廃油	11	0	8	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃溶剤	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
廃酸	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃アルカリ	8	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃プラスチック類	37	8	20	1	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	3	0	1	0	0	0	0	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃プラスチック	32	8	20	1	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	3	0	1	0	0	0	0	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃タイヤ	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
紙くず	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
木くず	49	44	5	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
動植物性残さ	9	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
動物系固形不燃物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
金属くず	11	6	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ガラス陶磁器くず	46	10	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
鉱さい	29	0	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
がれき類	459	456	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
コンクリート片	256	255	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃アスファルト	197	195	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他	7	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ばいじん	29	0	15	0	0	0	1	13	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他の産業廃棄物	438	11	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	414	414	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性廃棄物	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
混合物等	434	11	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	414	414	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表1-10 最終処分量（業種別・種類別：変換）＜令和3年度＞

業種	合	建	製	電															(単位：千t/年)																																	
				食料・飼料	飲料・飼料	繊維	木材	パルプ・紙	印刷	化学	石油・炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄	非鉄金属	金	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報通信機器	輸送機器	その他	電気・水道業	電力・ガス業	上下水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	物品賃貸業	学術・研究・業	生活関連サービス業	教育・学習支援業	医療福祉	サービス業														
種類	計	業	設	業	品	品	材	具	紙	学	炭	ク	ム	革	石	鋼	属	属	属	器	器	器	器	器	器	器	器	器	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業	業										
合計	376	35		182	3	0	0	8	0	6	0	3	0	1	0	3	6	146	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	155	147	0	4	4	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0									
燃え殻	38	1		14	0	0	0	7	0	4	0	0	0			0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	19		4		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
汚泥	43	10		15	2	0	0	0		2						3	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	13		4	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
有機性汚泥	5	0		4	2	0	0			2						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0			1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
無機性汚泥	38	10		11	0	0	0	0		0						3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	13		4		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
廃油	0			0	0												0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																										
一般廃油	0			0													0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																										
廃溶剤																																																				
その他	0			0	0												0		0																																	
廃酸	0			0													0		0																																	
廃アルカリ	0			0													0																																			
廃プラスチック類	9	4		3	0	0	0	0	1	0	0	1	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
廃プラスチック	8	4		3	0	0	0	0	1	0	0	1	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
廃タイヤ	0																																		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
紙くず	0	0																																																		
木くず	1	1		0	0		0	0	0		0	0					0		0	0	0	0				0								0	0																	
繊維くず	0	0		0		0																																														
動植物性残さ	0			0	0																																															
動物系固形不要物																																																				
ゴムくず	0																																																			
金属くず	1	0		0			0		0	0	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
ガラス陶磁器くず	8	7		1	0			0	0	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
鉱さい	145			145													5	140	0				0																													
がれき類	6	5		1	0												0	0	0			0																														
コンクリート片	3	3		0													0					0																														
廃アスファルト	1	1																																																		
その他	2	1		0	0												0	0	0			0																														
ばいじん	13	0		2			1									1	0		0			0						11	11																							
その他の産業廃棄物	112	7		0	0		0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	104	104		0			0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
感染性廃棄物																																																				
混合物等	112	7		0	0		0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	104	104		0			0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

表1-11 再生利用量(業種別・種類別：変換)＜令和3年度＞

業種	合 計	製 造 業	製 造 業															電 気 ・ 水 道 業										電 気 ・ 水 道 業	上 水 道 業	下 水 道 業	情 報 通 信 業	運 輸 業	卸 小 売 業	物 品 買 賃 業	学 術 研 究 ・ 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス 業	教 育 ・ 学 習 支 援 業	医 療 ・ 福 祉 業	サ ー ビ ス 業																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			食 料 ・ 飼 料	飲 料	織 木	家 具	ハ ル プ	印 刷	化 学	石 炭	コ プ ラ ス チ ッ ク	皮 革	窯 業 ・ 土 石	鉄 鋼	非 鉄 金 属	金 属	はん 用 機 器	生 産 用 機 器	業 務 用 機 器	電 子 部 品	電 気 機 器	情 報 通 信 機 器	輸 送 機 器	そ の 他																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
																									1,068	589	129													10	0	0	19	0	29	0	1	0	2	0	40	5	6	1	1	1	1	10	1	0	1	341	330	0	6	5	0	1	7	1	0	0	0	0	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
燃え殻	32	0	15	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表1-12 資源化量（業種別・種類別：変換）＜令和3年度＞

[illegible]

表1-13 排出量(秋田市)業種別・種類別)＜令和3年度＞

[illegible]

单位: 千 t/年)

单位: 千 t/年)

单位: 千 t/年)

单位: 千 t/年)

表2-1 発生量及び処理・処分量（種類別：変換）＜令和3年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量										自己未処理量					搬出量 (H) (1+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	
				自己中間処理後量					(自己未処理の処理内訳)					(自己未処理の処理内訳)							
				(D)	(E)	再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	(G)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)					
合 計	2,733	201	2,532	1,082	112	59	3	46	5				1,450	16	125	1,110	199	0	1,487	127	127
燃え殻	52	1	51		12	0		11	1				51			22	29		63		
汚泥	1,239	94	1,145	997	28	6	3	15	4				148	0	4	127	17		169	6	6
有機性汚泥	935		935	917	15	1		13	1				19			16	3		33		
無機性汚泥	304	94	210	81	13	6	3	2	3				129	0	4	112	14		136	6	6
廃油	17	2	15	2	0			0					13			13		0	13		
一般廃油	14	2	12	2	0			0					11			11		0	11		
廃溶剤	2	0	2										2			2			2		
その他	1		1	1	0			0					0			0			1		
廃酸	5		5										5			5			5		
廃アルカリ	8	0	8	0	0			0					8			8			8		
廃プラスチック類	43	4	39	2	2	2		0	0				37			32	5	0	37		
廃プラスチック	38	4	34	2	2	2		0	0				31			27	5		32		
廃タイヤ	5	0	5	0	0			0					5			5		0	5		
紙くず	8	1	7	6									1			1		0	1		
木くず	133	63	70	6	5	3		2					64	16		47	0		49		
繊維くず	0		0										0			0		0	0		
動植物性残さ	11	0	11	2	2	2							9			9			9		
動物系固形不要物																					
ゴムくず	0	0	0										0			0			0		
金属くず	33	22	11	0	0	0		0					11			11	0	0	11		
ガラス陶磁器くず	48	0	48	20	18			18					28			23	5		46		
鉱さい	150	1	150										150		121	5	24		150	121	121
がれき類	505	0	505	46	46	46							459			458	1		459		
コンクリート片	298		298	42	42	42							256			256	0		256		
廃アスファルト	201	0	201	4	4	4							197			196	0		197		
その他	7		7										7			5	1		7		
ばいじん	29		29										29			21	8		29		
その他の産業廃棄物	450	12	438	0	0			0					438			329	109		438		
感染性廃棄物	4		4										4			4			4		
混杂物等	446	12	434	0	0			0					434			325	109		434		

表2-1 発生量及び処理・処分量（種類別：変換）＜令和3年度＞

(その2)

区分

種類	委託処理量 (O+L)	委託処理量										(単位：千t/年)															
		委託直接最終処分量					委託中間処分量					再生利用量					最終処分量					その他量					資源化量
		(処理主体の内訳)			(処理先地域の内訳)			(処理主体の内訳)			(処理先地域の内訳)			(委託処理後の処理内訳)			処理主体の内訳			委託処分量							
		業者	自治体	(O)	県内	県外	業者	自治体	(L)	県内	県外	(M)	(M1)	(M2)	(R)	(O)	(O1)	(O2)	(J)	(E5+G5)	(S)	(B+R)					
																							(K)	(O+L)	(E1+G1+M1)	(1+O+M2)	
合計	1,360	204	76	128	203	0	1,156	1,141	15	724	432	1,038	993	45	1,068	376	127	249	0	1,269							
燃え殻	63	30	14	16	30		33	33		5	28	40	32	8	32	38		38			33						
汚泥	163	21	21	0	21	0	142	127	14	93	49	62	46	16	52	43	6	37			147						
有機性汚泥	33	5	5		5		28	14	14	27	2	6	5	1	6	5		5			6						
無機性汚泥	130	16	16	0	16	0	114	114		66	48	57	41	16	47	38	6	32			141						
廃油	13						13	13	0	10	2	2	2	0	2	0		0			5						
一般廃油	11						11	11		9	2	2	2	0	2	0		0			4						
廃溶剤	2						2	2		1	0	0	0								0						
その他	1						1	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0			0						
廃酸	5						5	5		3	2	0	0	0	0	0		0			0						
廃アルカリ	8						8	8		3	4	3	2	0	2	0		0			2						
廃プラスチック類	37	5	5	0	5	0	32	32	0	23	9	20	17	4	19	9		9	0		23						
廃プラスチック	32	5	5	0	5	0	27	27	0	18	8	16	12	3	14	8		8			18						
廃タイヤ	5						5	5	0	4	1	5	5	0	5	0		0			5						
紙くず	1	0	0		0		1	1		1	1	1	1	0	1	0		0			2						
木くず	49	0	0		0		49	49		49	0	43	43	0	62	1		1			125						
繊維くず	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0			0						
動植物性廃さ	9						9	9	0	5	4	8	8	0	10	0		0			10						
動物系固形不要物																											
ゴムくず	0						0	0		0		0		0		0		0			0						
金属くず	11	0	0	0	0	0	11	11	0	10	1	11	10	1	10	1		1	0		32						
ガラス陶磁器くず	46	5	5	0	5	0	41	41		40	2	41	38	3	38	8		8			38						
鉱さい	29	24	24		24		5	5		0	5	5	5	0	5	145	121	24			5						
がれき類	459	1	1		1		458	458		433	25	458	453	4	499	6		6			499						
コンクリート片	256	0	0		0		256	256		255	1	256	253	3	294	3		3			294						
廃アスファルト	197	0	0		0		196	196		173	24	196	196	1	200	1		1			200						
その他	7	1	1		1		5	5		5	1	5	5	0	5	2		2			5						
ばいじん	29	8	1	8	8	0	21	21		5	16	21	16	4	16	13		13			16						
その他の産業廃棄物	438	109	5	104	109	0	329	329	0	44	285	322	319	3	319	112		111			331						
感染性廃棄物	4						4	4		3	1																
混合物等	434	109	5	104	109	0	325	325	0	40	285	322	319	3	319	112		111			331						

表2-2 発生量及び処理・処分量（建設業 種類別：変換）＜令和3年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量					自己未処理量					搬出量 (H) (1+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳) 県内 県外	
				自己中間処理後量					(自己未処理の処理内訳)								
				(自己中間処理後の処理内訳)					(自己未処理の処理内訳)								
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)				
合 計	653	0	652	50	49	49	0	0	0	602	22	580	603				
燃え殻	0		0							0		0	0				
汚泥	67		67	1	1	1		0		66		57	66				
有機性汚泥	1		1							1		1	1				
無機性汚泥	65		65	1	1	1		0		64		55	64				
廃油	0		0							0		0	0				
一般廃油	0		0							0		0	0				
廃溶剤	0		0							0		0	0				
その他	0		0							0		0	0				
廃酸																	
廃アルカリ	0		0							0		0	0				
廃プラスチック類	8		8	0	0	0			0	8		6	8				
廃プラスチック	8		8	0	0	0			0	8		6	8				
廃タイヤ																	
紙くず	1		1							1		1	1				
木くず	47		47	3	3	3				44		44	44				
繊維くず	0		0							0		0	0				
動植物性残さ																	
動物系固形不要物																	
ゴムくず	0		0							0		0	0				
金属くず	6	0	6							6		5	6				
ガラス陶磁器くず	10		10							10		5	10				
鉱さい																	
がれき類	502	0	502	46	46	46				456		455	456				
コンクリート片	296		296	42	42	42				255		255	255				
廃アスファルト	200	0	200	4	4	4				195		195	195				
その他	6		6							6		5	6				
ばいじん	0		0							0		0	0				
その他の産業廃棄物	11		11							11		7	11				
感染性廃棄物																	
混杂物等	11		11							11		7	11				

表2-2 発生量及び処理・処分量（建設業 種類別：変換）＜令和3年度＞

区 分	種 類	委託処理量										(単位：千t/年)									
		委託直接最終処分量					委託中間処理量					委託中間処理後量					再生利用量				
		(K)		(O)		(L)		(M)		(N)		(P)		(Q)		(R)		(S)		(T)	
		(O+L)		(O+L)		(O+L)		(O+L)		(O+L)		(O+L)		(O+L)		(O+L)		(O+L)		(O+L)	
		(K)	(O)	(L)	(M)	(N)	(P)	(Q)	(R)	(S)	(T)	(U)	(V)	(W)	(X)	(Y)	(Z)	(AA)	(AB)	(AC)	(AD)
合計		603	22	22	22	0	580	580	580	511	69	552	539	13	589	35	35	589	35	589	589
燃え殻		0					0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0
汚泥		66	9	9	9	0	57	57	57	14	43	36	35	1	36	10	36	10	36	10	36
有機性汚泥		1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無機性汚泥		64	9	9	9	0	55	55	55	13	43	35	35	1	35	10	35	10	35	10	35
廃油		0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般廃油		0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃溶剤		0					0	0	0	0	0										
その他		0					0	0	0	0	0										
廃酸																					
廃アルカリ		0					0	0	0	0	0										
廃プラスチック類		8	2	2	2	2	6	6	6	6	0	5	3	1	3	4	3	4	3	4	3
廃プラスチック		8	2	2	2	2	6	6	6	6	0	5	3	1	3	4	3	4	3	4	3
廃タイヤ																					
紙くず		1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木くず		44	0	0	0	0	44	44	44	44	0	40	40	0	42	1	42	1	42	1	42
繊維くず		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性廃さ																					
動物系固形不要物																					
ゴムくず		0					0	0	0	0	0										
金属くず		6	0	0	0	0	5	5	5	5	0	5	5	0	5	0	5	0	5	0	5
ガラス陶磁器くず		10	5	5	5	0	5	5	5	4	1	5	3	3	3	7	3	7	3	7	3
鉱さい																					
がれき類		456	1	1	1	1	455	455	455	430	25	455	451	4	497	5	497	5	497	5	497
コンクリート片		255	0	0	0	0	255	255	255	254	1	255	252	3	293	3	293	3	293	3	293
廃アスファルト		195	0	0	0	0	195	195	195	172	24	195	194	1	199	1	199	1	199	1	199
その他		6	1	1	1	1	5	5	5	5	0	5	5	0	5	1	5	1	5	1	5
ばいじん		0	0	0	0	0															
その他の産業廃棄物		11	5	5	5	5	7	7	7	7	0	5	3	2	3	7	3	7	3	7	3
感染性廃棄物																					
混杂物等		11	5	5	5	5	7	7	7	7	0	5	3	2	3	7	3	7	3	7	3

表2-3 発生量及び処理・処分量（製造業 種類別：変換）＜令和3年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量					自己未処理量					搬出量 (H) (1+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)		(処理先地域の内訳) 県内 県外		
				自己中間処理後量					自己未処理量										
				(D)	(自己中間処理後の処理内訳)				(G)	(自己未処理の処理内訳)									
					再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)		その他量 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)					委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)
合計	910	88	822	519	45	4	3	35	3		303	16	121	119	46		124	124	
燃え殻	15		15		11			11	0		15			3	12		26		
汚泥	506	0	506	483	10	0	3	4	3		22			15	7		32	3	
有機性汚泥	464		464	458	4			3	1		6			3	3		10		
無機性汚泥	42	0	42	26	6	0	3	2	2		16			12	4		23	3	
廃油	14	2	12	2	0			0			10			10			10		
一般廃油	11	1	10	2	0			0			8			8			8		
廃溶剤	2	0	1								1			1			1		
その他	1	1	1	1	0			0			0			0			0		
廃酸	5		5								5			5			5		
廃アルカリ	7		7								7			7			7		
廃プラスチック類	26	4	22	2	2	2		0	0		20			18	2		20		
廃プラスチック	26	4	22	2	2	2		0	0		20			18	2		20		
廃タイヤ	0		0								0			0			0		
紙くず	7	1	7	6							1			1			1		
木くず	86	63	23	4	2			2			19	16		3	0		5		
繊維くず	0		0								0			0			0		
動植物性残さ	11	0	11	2	2	2					9			9			9		
動物系固形不要物																			
ゴムくず	0		0								0			0			0		
金属くず	21	18	4	0	0	0					4			4	0		4		
ガラス陶磁器くず	38	0	38	20	18			18			18			18	0		36		
鉱さい	150	1	150								150		121	5	24		150	121	
がれき類	1		1								1			1	0		1		
コンクリート片	0		0								0			0			0		
廃アスファルト	0		0								0			0			0		
その他	0		0								0			0	0		0		
ばいじん	15		15								15			14	1		15		
その他の産業廃棄物	7	0	7	0	0			0			7			7	0		7		
感染性廃棄物	0		0								0			0			0		
混杂物等	7	0	7	0	0			0			7			7	0		7		

(その2)

(その2)

(单位:千t/年)

表2-4 発生量及び処理・処分量（電気・水道業 種類別：変換）＜令和3年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+E)	自己中間処理後量					自己未処理量					搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量				
				(D)	自己中間処理後量				(G)	自己未処理の処理内訳					(G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)
					(E)	(自己中間処理後の処理内訳)				(G)	(自己未処理の処理内訳)								
						再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)			委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)							
合計	1,145	110	1,034	513	18	6	10	1	522	4	389	129	534	4	4				
燃え殻	37	1	35		1			1	35		18	17	36						
汚泥	663	94	569	513	17	6	10	1	57	4	53	0	68	4	4				
有機性汚泥	470		470	459	11	1	10	0	11		11	0	21						
無機性汚泥	194	94	100	54	6	5	0	0	46	4	42	0	46	4	4				
廃油	0	0	0						0		0		0						
一般廃油	0	0	0						0		0		0						
廃溶剤																			
その他																			
廃酸	0		0						0		0		0						
廃アルカリ																			
廃プラスチック類	0		0						0		0		0						
廃プラスチック	0		0						0		0		0						
廃タイヤ																			
紙くず																			
木くず																			
繊維くず																			
動植物性残さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず																			
金属くず	3	3	0						0		0		0						
ガラス陶磁器くず																			
鉱さい																			
がれき類	1		1						1		1		1						
コンクリート片	0		0						0		0		0						
廃アスファルト	1		1						1		1		1						
その他																			
ばいじん	14		14						14		7	8	14						
その他の産業廃棄物	426	12	414						414		310	104	414						
感染性廃棄物																			
混杂物等	426	12	414						414		310	104	414						

表2-4 発生量及び処理・処分量（電気・水道業 種類別：変換）＜令和3年度＞

(その2)

区 分	種 類	委託処理量										(単位：千 t/年)														
		委託直接最終処分量					委託中間処理量					再生利用量					最終処分量					その他量				
		(処理主体の内訳)			(処理先地域の内訳)		(L)	(L)	業者	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		委託中間処理後量			(R) (E1+G1+H1) (1+O+M2)	処理主体の内訳		(J) (E5+G5) (B+R)						
		(K) (O+L)	(O)	業者	自治体	県内				県外	(M)	(委託処理後の処理内訳)		(O1)	(O2)											
												再生利用量	最終処分量 (M2)													
合計		530	131	3	127	131	399	385	14	103	296	356	335	21	341	155	4	151		451						
燃 棄 物	燃え殻	36	18	2	16	18	18	18		5	13	21	17	4	17	22		22		18						
	汚泥	64	1	1	0	1	63	49	14	62	1	17	5	13	10	17	4	14		104						
	有機性汚泥	21	0	0		0	21	6	14	20	1	5	5	0	5	1		1		5						
	無機性汚泥	43	0	0	0	0	42	42		42	0	13	0	13	5	17	4	13		99						
	廃油	0					0	0	0		0	0								0						
資源 物	一般廃油	0					0	0		0	0									0						
	廃溶剤																									
	その他																									
	廃酸	0					0	0		0																
	廃アルカリ																									
燃 棄 物	廃プラスチック類	0					0	0		0																
	廃プラスチック	0					0	0		0																
	廃タイヤ																									
	紙くず																									
	木くず																									
	繊維くず																									
	動植物性残さ																									
	動物系固形不要物																									
	ゴムくず																									
	金属くず	0					0	0		0		0	0	0	0	0		0		3						
燃 棄 物	ガラス陶磁器くず																									
	鉱さい																									
	がれき類	1					1	1		1		1	1	1	1					1						
	コンクリート片	0					0	0		0		0	0	0	0					0						
	廃アスファルト	1					1	1		1		1	1	1	1					1						
	その他																									
	ばいじん	14	8	0	8	8	7	7		4	3	7	3	3	3	11		11		3						
	その他の産業廃棄物	414	104	0	104	104	310	310		32	278	310	309	0	309	104		103		322						
	感染性廃棄物																									
	混合物等	414	104	0	104	104	310	310		32	278	310	309	0	309	104		103		322						

表2-5 発生量及び処理・処分量（その他の業種 種類別：変換）＜令和3年度＞
（その1）

(その1)

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量			自己未処理量							搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量					
				(D)	(E)	(E1) 再生利用量	(自己中間処理後の処理内訳)			(G) 再生利用量	(自己未処理の処理内訳)				(G1) 再生利用量	(G2) 自己最終 処分量	(G3) 委託中間 処理量	(G4) 委託直接 最終処分量	その他量 (G5)	
							(E2) 自己最終 処分量	(E3) 委託中間 処理量	(E4) 委託直接 最終処分量		(E5) その他量	(G6) 委託中間 処理量	(G7) 委託直接 最終処分量							(G8) その他量
合計	26	2	24	0	0	0	0	0	0	0	23	0	23	1	0	24				
燃え殻	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0				
汚泥	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0		3				
有機性汚泥	0		0								0		0			0				
無機性汚泥	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0		3				
廃油	3	1	3	0	0	0	0	0	0	0	3		3		0	3				
一般廃油	3	1	3	0	0	0	0	0	0	0	3		3		0	3				
廃溶剤	0		0								0		0			0				
その他	0		0								0		0			0				
廃酸	0		0								0		0			0				
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0			0				
廃プラスチック類	8	0	8	0	0	0	0	0	0	0	8	0	8	0	0	8				
廃プラスチック	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0		3				
廃タイヤ	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5	0	0	5				
紙くず	0		0								0		0			0				
木くず	0		0	0							0	0	0	0		0				
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず	0	0	0								0		0			0				
金属くず	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	2				
ガラス陶磁器くず	0		0								0	0	0	0		0				
鉢さい																				
がれき類	1		1								1	0	1	0		1				
コンクリート片	1		1								1	0	1	0		1				
廃アスファルト	0		0								0		0			0				
その他																				
ばいじん																				
その他の産業廃棄物	6	0	6	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6	0		6				
感染性廃棄物	4		4								4		4			4				
混杂物等	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0		2				

(単位：千 t / 年)

(単位：千t/年)

表2-5 発生量及び処理・処分量（その他の業種 種類別：変換）＜令和3年度＞

(その2)

区分	種類	委託処理量		委託中間処理量										委託中間処理後量				再生利用量		最終処分量		その他量 (E5+G5) (J)	資源化量 (S) (B+R)
		委託直接最終処分量		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(委託処理後の処理内訳)		(R) (E1+G1+M1) (1+O+M2)	(Q1)	(Q2)							
		(K) (O+L)	(O)	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	(M)	(M1)				(M2)						
合計	24	1	1	0	1	0	23	23	0	19	3	13	10	3	10	4	4	0	12				
燃え殻	0						0	0		0	0	1	0	1	0	1	1		0				
汚泥	3	0	0	0	0		3	3		2	0	1	0	1	0	1	1		0				
有機性汚泥	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		0				
無機性汚泥	3	0	0	0	0		2	2		2	0	1	0	1	0	1	1		0				
廃油	3						3	3	0	2	1	1	1		1			0	2				
一般廃油	3						3	3		2	1	1	1		1			0	2				
廃溶剤	0						0	0		0	0												
その他	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0				
廃酸	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0				
廃アルカリ	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0				
廃プラスチック類	8	0	0	0	0		8	8	0	7	1	6	5	1	5	1	1	0	5				
廃プラスチック	3	0	0	0	0		3	3	0	3	0	1	1	0	1	1	1		1				
廃タイヤ	5						5	5	0	4	1	5	5	0	5	0	0	0	5				
紙くず	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0				
木くず	0	0	0		0		0	0		0		0	0	0	0	0	0		0				
繊維くず																							
動植物性廃さ																							
動物系固形不要物																							
ゴムくず	0						0	0		0		0		0		0	0		0				
金属くず	2	0	0	0	0		2	2	0	2	0	2	2	0	2	0	0	0	2				
ガラス陶磁器くず	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		0				
鉱さい																							
がれき類	1	0	0		0		1	1		1		1	1	0	1	0	0		1				
コンクリート片	1	0	0		0		1	1		1		1	1	0	1	0	0		1				
廃アスファルト	0						0	0		0		0	0		0				0				
その他																							
ばいじん																							
その他の産業廃棄物	6	0	0	0	0		6	6	0	5	1	1	0	1	0	1	1		0				
感染性廃棄物	4						4	4		3	1												
混合物等	2	0	0	0	0		2	2	0	1	0	1	0	1	0	1	1		0				

表3-1 発生量及び処理・処分量（種類別：無変換）＜令和3年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+E)	自己中間処理後量				自己未処理量				搬出量				自己最終処分量	
				自己中間処理後の処理内訳				(自己未処理の処理内訳)									
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)		
(D+E)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	(J) (処理先地域の内訳)		
県内	県外																

燃え殻	52	1	51							51			22	29		51		
汚泥	1,239	94	1,145	997	39	6	3	25	5	148	0	4	127	17		180	6	6
有機性汚泥	935		935	917	26	1		23	2	19			16	3		44		
無機性汚泥	304	94	210	81	13	6	3	2	3	129	0	4	112	14		136	6	6
廃油	17	2	15	2	0	0		0		13			13		0	13		
一般廃油	14	2	12	2	0	0		0		11			11		0	11		
廃溶剤	2	0	2							2			2			2		
その他	1		1	1	0			0		0			0			1		
廃酸	5		5							5			5			5		
廃アルカリ	8	0	8	0	0			0		8			8			8		
廃プラスチック類	43	4	39	2	2	2		0	0	37			32	5	0	37		
廃プラスチック	38	4	34	2	2	2		0	0	31			27	5		32		
廃タイヤ	5	0	5	0	0			0		5			5		0	5		
紙くず	8	1	7	6	1			1		1			1		0	2		
木くず	133	63	70	6	5	3		2	0	64	16		47	0		49		
繊維くず	0		0							0			0		0	0		
動植物性残さ	11	0	11	2	2	2				9			9			9		
動物系固形不要物																		
ゴムくず	0	0	0							0			0			0		
金属くず	33	22	11	0	0	0		0		11			11	0	0	11		
ガラス陶磁器くず	48	0	48	20	18			18		28			23	5		46		
鉱さい	150	1	150							150		121	5	24		150	121	121
がれき類	505	0	505	46	46	46				459			458	1		459		
コンクリート片	298		298	42	42	42				256			256	0		256		
廃アスファルト	201	0	201	4	4	4				197			196	0		197		
その他	7		7							7			5	1		7		
ばいじん	29		29							29			21	8		29		
その他の産業廃棄物	450	12	438	0	0			0		438			329	109		438		
感染性廃棄物	4		4							4			4			4		
混杂物等	446	12	434	0	0			0		434			325	109		434		

表3-1 発生量及び処理・処分量（種類別：無変換）＜令和3年度＞

(その2)

(単位：千t/年)

区 分 種 類	委託処理量										再生利用量										最終処分量		その他量		資源化量
	委託直接最終処分量					委託中間処理量					委託中間処理後量					(R) (E1+G1+M1) (1+O+M2)	(Q) (1+O+M2)	(Q1)	(Q2)	(J) (E5+G5) (B+R)					
	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)														
	業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外		再生利用量	最終処分量													
(K) (O+L)	(O)	76	128	203	0	1,156	1,141	15	724	432	1,038	993	45	1,068	376	127	249	0	1,269						
合計	1,360	204	76	128	203	0	1,156	1,141	15	724	432	1,038	993	45	1,068	376	127	249	0	1,269					
燃え殻	51	29	13	16	29		22	22		5	17	22	20	2	20	31		31		21					
汚泥	174	22	21	0	22	0	152	138	14	93	60	76	55	21	61	49	6	42		156					
有機性汚泥	44	5	5		5		39	24	14	27	12	20	16	4	16	10		10		16					
無機性汚泥	130	16	16	0	16	0	114	114		66	48	55	39	16	45	39	6	32		139					
廃油	13						13	13	0	10	2	3	2	0	2	0		0		5					
一般廃油	11						11	11		9	2	3	2	0	2	0		0		4					
廃溶剤	2						2	2		1	0	0	0	0	0	0		0		0					
その他	1						1	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0					
廃酸	5						5	5		3	2	1	1	0	1	0		0		1					
廃アルカリ	8						8	8		3	4	4	4	0	4	0		0		4					
プラスチック類	37	5	5	0	5	0	32	32	0	23	9	21	17	4	19	9		9		23					
廃プラスチック	32	5	5	0	5	0	27	27	0	18	8	16	12	4	14	9		9		18					
廃タイヤ	5						5	5	0	4	1	5	5	0	5	0		0		5					
紙くず	2	0	0		0		2	2		1	1	2	2	0	2	0		0		2					
木くず	49	0	0		0		49	49		49	0	43	43	1	62	1		1		125					
繊維くず	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0					
動植物性残さ	9						9	9	0	5	4	8	8	0	10	0		0		10					
動物系固形不要物																									
ゴムくず	0						0	0		0		0		0		0		0		0					
金属くず	11	0	0	0	0	0	11	11	0	10	1	11	10	1	10	1		1		32					
ガラス陶磁器くず	46	5	5	0	5	0	41	41		40	2	41	38	3	38	8		8		38					
鉱さい	29	24	24		24		5	5		0	5	5	5	0	5	145	121	24		5					
がれき類	459	1	1		1		458	458		433	25	458	453	4	499	6		6		499					
コンクリート片	256	0	0		0		256	256		255	1	256	253	3	294	3		3		294					
廃アスファルト	197	0	0		0		196	196		173	24	196	196	1	200	1		1		200					
その他	7	1	1		1		5	5		5	1	5	5	0	5	2		2		5					
ばいじん	29	8	1	8	8	0	21	21		5	16	21	16	4	16	13		13		16					
その他の産業廃棄物	438	109	5	104	109	0	329	329	0	44	285	322	319	4	319	112		112		331					
感染性廃棄物	4						4	4		3	1	0		0		0		0							
混合物等	434	109	5	104	109	0	325	325	0	40	285	322	319	3	319	112		111		331					

表3-2 発生量及び処理・処分量（建設業 種類別：無変換）＜令和3年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量					自己未処理量					搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳) 県内 県外	
				自己中間処理後量					(自己未処理の処理内訳)								
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	(自己中間処理後の処理内訳)		再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	(自己未処理の処理内訳)					
							委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)				委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)				
合計	653	0	652	50	49	49	0	0		602	580	22	603				
燃え殻	0		0							0	0			0			
汚泥	67		67	1	1	1		0		66	57	9		66			
有機性汚泥	1		1							1	1	0		1			
無機性汚泥	65		65	1	1	1		0		64	55	9		64			
廃油	0		0							0	0			0			
一般廃油	0		0							0	0			0			
廃溶剤	0		0							0	0			0			
その他	0		0							0	0			0			
廃酸																	
廃アルカリ	0		0							0	0			0			
廃プラスチック類	8		8	0	0	0			0	8	6	2		8			
廃プラスチック	8		8	0	0	0			0	8	6	2		8			
廃タイヤ																	
紙くず	1		1							1	1	0		1			
木くず	47		47	3	3	3				44	44	0		44			
繊維くず	0		0							0	0	0		0			
動植物性残さ																	
動物系固形不要物																	
ゴムくず	0		0							0	0			0			
金属くず	6	0	6							6	5	0		6			
ガラス陶磁器くず	10		10							10	5	5		10			
鉱さい																	
がれき類	502	0	502	46	46	46				456	455	1		456			
コンクリート片	296		296	42	42	42				255	255	0		255			
廃アスファルト	200	0	200	4	4	4				195	195	0		195			
その他	6		6							6	5	1		6			
ばいじん	0		0							0	0	0		0			
その他の産業廃棄物	11		11							11	7	5		11			
感染性廃棄物																	
混杂物等	11		11							11	7	5		11			

表3-2 発生量及び処理・処分量（建設業 種類別：無変換）＜令和3年度＞

区 分	種 類	委託処理量										(単位：千t/年)																	
		委託直接最終処分量					委託中間処理量					委託中間処理後量					再生利用量												
		(K)		(O)		(O+L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)		(R)	最終処分量		その他量	資源化量						
		(K)	(O+L)	(O)	(L)		業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外		(委託処理後の処理内訳)	再生利用量		(O)	(1+O+M2)								
		(K)	(O+L)	(O)	(L)		(M)	(M1)	(M2)	(R)	(E1+G1+M1)	(O)	(Q1)	(Q2)	(S)	(B+R)													
合計		603	22	22	0	580	580	511	69	552	539	13	589	35	35	589	35	0	0	0	0	0	589						
燃え殻		0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
汚泥		66	9	9	0	57	57	14	43	36	35	1	36	10	10	36	10	0	0	0	10	0	36						
有機性汚泥		1	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
無機性汚泥		64	9	9	0	55	55	13	43	35	35	1	35	10	10	35	10	0	0	0	10	0	35						
廃油		0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
一般廃油		0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
廃溶剤		0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
その他		0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
廃酸																													
廃アルカリ		0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
廃プラスチック類		8	2	2	2	6	6	6	0	5	3	2	3	4	4	3	2	3	4	4	4	4	3						
廃プラスチック		8	2	2	2	6	6	6	0	5	3	2	3	4	4	3	2	3	4	4	4	4	3						
廃タイヤ																													
紙くず		1	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
木くず		44	0	0	0	44	44	44	0	40	40	0	42	1	1	40	0	42	1	1	1	1	42						
繊維くず		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
動植物性廃さ																													
動物系固形不要物																													
ゴムくず		0				0	0	0	0																				
金属くず		6	0	0	0	5	5	5	0	5	5	0	5	0	0	5	0	5	0	0	0	0	6						
ガラス陶磁器くず		10	5	5	0	5	5	5	4	1	3	3	3	7	7	3	3	7	7	7	7	7	3						
鉱さい																													
がれき類		456	1	1	1	455	455	430	25	455	451	4	497	5	5	497	5	4	497	5	5	5	497						
コンクリート片		255	0	0	0	255	255	254	1	255	252	3	293	3	3	293	3	3	293	3	3	3	293						
廃アスファルト		195	0	0	0	195	195	172	24	195	194	1	199	1	1	199	1	1	199	1	1	1	199						
その他		6	1	1	1	5	5	5	0	5	5	0	5	1	1	5	0	5	1	1	1	1	5						
ばいじん		0	0	0	0																								
その他の産業廃棄物		11	5	5	5	7	7	7	0	5	3	2	3	7	7	3	2	3	7	7	7	7	3						
感染性廃棄物																													
混合物等		11	5	5	5	7	7	7	0	5	3	2	3	7	7	3	2	3	7	7	7	7	3						

表3-3 発生量及び処理・処分量（製造業 種類別：無変換）＜令和3年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+E)	自己中間処理後量				自己中間処理量				自己未処理量				搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量	
				自己中間処理後量				自己中間処理後の処理内訳				自己未処理の処理内訳						
				(E)	(E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	(G)	(G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)			
(D+E)	(D)	(E)	(E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	(G)	(G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	(I) (E2+G2)	(J) (処理先地域の内訳)			
															県内	県外		

合計	910	88	822	519	45	4	3	35	3	303	16	121	119	46	124	124
燃え殻	15		15							15			3	12	15	
汚泥	506	0	506	483	21	0	3	15	3	22			15	7	43	3
有機性汚泥	464		464	458	14		13	1		6			3	3	20	
無機性汚泥	42	0	42	26	6	0	3	2	2	16			12	4	23	3
廃油	14	2	12	2	0			0		10			10		10	
一般廃油	11	1	10	2	0			0		8			8		8	
廃溶剤	2	0	1							1			1		1	
その他	1		1	1	0			0		0			0		0	
廃酸	5		5							5			5		5	
廃アルカリ	7		7							7			7		7	
廃プラスチック類	26	4	22	2	2	2		0	0	20			18	2	20	
廃プラスチック	26	4	22	2	2	2		0	0	20			18	2	20	
廃タイヤ	0		0							0			0		0	
紙くず	7	1	7	6	1			1		1			1		1	
木くず	86	63	23	4	2			2	0	19	16		3	0	5	
繊維くず	0		0							0			0	0	0	
動植物性残さ	11	0	11	2	2	2				9			9		9	
動物系固形不要物																
ゴムくず	0		0							0			0		0	
金属くず	21	18	4	0	0	0				4			4	0	4	
ガラス陶磁器くず	38	0	38	20	18			18		18			18	0	36	
鉱さい	150	1	150							150		121	5	24	150	121
がれき類	1		1							1			1	0	1	
コンクリート片	0		0							0			0		0	
廃アスファルト	0		0							0			0		0	
その他	0		0							0			0	0	0	
ばいじん	15		15							15			14	1	15	
その他の産業廃棄物	7	0	7	0	0			0		7			7	0	7	
感染性廃棄物	0		0							0			0		0	
混杂物等	7	0	7	0	0			0		7			7	0	7	

表3-3 発生量及び処理・処分量（製造業 種類別：無変換）＜令和3年度＞

(その2)

(単位：千t/年)

区 分	種 類	委託処理量																				資源化量	
		委託直接最終処分量										委託中間処理量											
		(処理主体の内訳)					(処理先地域の内訳)					(処理主体の内訳)					(処理先地域の内訳)						
		業者		自治体		県外	業者		自治体		県内	県外		業者		自治体		県内	県外				
		(K)	(O+L)	(O)			(L)						(M)	(M1)	(M2)	(R)	(O)	(O1)	(O2)	(J)	(E5+G5)		
最終処分量	再生利用量	自己処分		委託処分		委託主体の内訳		委託主体の内訳		委託主体の内訳		委託主体の内訳		委託主体の内訳		委託主体の内訳		委託主体の内訳		委託主体の内訳			
(E1+G1+M1)	(1+O+M2)	(O1)	(O2)	(J)	(E5+G5)	(S)	(B+R)	(E1+G1+M1)	(1+O+M2)	(O1)	(O2)	(J)	(E5+G5)	(S)	(B+R)	(E1+G1+M1)	(1+O+M2)	(O1)	(O2)	(J)	(E5+G5)	(S)	(B+R)
合計	204	50	50	12	12	50	0	154	154	0	90	64	117	108	8	129	182	124	58				216
燃え殻	15	12	12			12		3	3		0	3	3	3	0	3	12		12				3
汚泥	40	11	11			11	0	30	30		14	15	18	15	3	15	17	3	14				15
有機性汚泥	20	4	4			4		16	16		5	11	12	11	1	11	5		5				11
無機性汚泥	20	7	7			7	0	14	14		9	4	6	4	2	4	11	3	9				4
廃油	10							10	10		8	2	2	1	0	1	0		0				3
一般廃油	8							8	8		7	1	1	1	0	1	0		0				2
廃溶剤	1							1	1		1	0	0	0	0	0	0		0				0
その他	0							0	0		0	0	0	0	0	0	0		0				0
廃酸	5							5	5		3	2	1	1	0	1	0		0				1
廃アルカリ	7							7	7		3	4	4	3	0	3	0		0				3
廃プラスチック類	20	2	2			2		18	18	0	10	8	11	8	2	11	4		4				14
廃プラスチック	20	2	2			2		18	18	0	10	8	11	8	2	11	4		4				14
廃タイヤ	0							0	0		0	0	0	0	0	0	0		0				0
紙くず	1							1	1		1	1	1	1	0	1	0		0				2
木くず	5	0	0			0		5	5		5		3	3	0	20	0		0				82
繊維くず	0	0	0			0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0				0
動植物性残さ	9							9	9	0	5	4	8	8	0	10	0		0				10
動物系固形不要物																							
ゴムくず	0							0	0		0		0		0		0		0				
金属くず	4	0	0			0		4	4		3	0	4	3	0	3	0		0				21
ガラス陶磁器くず	36	0	0			0		36	36		35	1	36	35	0	35	1		1				36
鉱さい	29	24	24			24		5	5		0	5	5	5	0	5	145	121	24				5
がれき類	1	0	0			0		1	1		1	0	1	0	0	0	1		1				0
コンクリート片	0							0	0		0	0	0	0	0	0	0		0				0
廃アスファルト	0							0	0		0		0	0	0	0							0
その他	0	0	0			0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0				0
ばいじん	15	1	1			1		14	14		1	13	14	13	1	13	2		2				13
その他の産業廃棄物	7	0	0			0		7	7		1	6	6	6	0	6	0		0				6
感染性廃棄物	0							0	0		0	0	0		0		0		0				0
混杂物等	7	0	0			0		7	7		1	6	6	6	0	6	0		0				6

表3-4 発生量及び処理・処分量（電気・水道業 種類別：無変換）＜令和3年度＞

（その1）

（単位：千t/年）

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+E)	自己中間処理後量				自己中間処理量				自己未処理量				搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量						
				(A)	(B)	(C)	(D)	自己中間処理後の処理内訳				(G)	(自己未処理の処理内訳)				(H)	(I) (E2+G2)	県外				
								(E)	(E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)		委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	再生利用量 (G1)					自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)
合計	1,145	110	1,034	513	18	6	10	1		522	4	389	129		534	4	4						
燃え殻	37	1	35							35		18	17		35								
汚泥	663	94	569	513	18	6	10	1		57	4	53	0		69	4	4						
有機性汚泥	470		470	459	12	1	10	1		11		11	0		22								
無機性汚泥	194	94	100	54	6	5	0	0		46	4	42	0		46	4	4						
廃油	0	0	0							0		0			0								
一般廃油	0	0	0							0		0			0								
廃溶剤																							
その他																							
廃酸	0		0							0		0			0								
廃アルカリ																							
廃プラスチック類	0		0							0		0			0								
廃プラスチック	0		0							0		0			0								
廃タイヤ																							
紙くず																							
木くず																							
繊維くず																							
動植物性残さ																							
動物系固形不要物																							
ゴムくず																							
金属くず	3	3	0							0		0			0								
ガラス陶磁器くず																							
鉱さい																							
がれき類	1		1							1		1			1								
コンクリート片	0		0							0		0			0								
廃アスファルト	1		1							1		1			1								
その他																							
ばいじん	14		14							14		7	8		14								
その他の産業廃棄物	426	12	414							414		310	104		414								
感染性廃棄物																							
混杂物等	426	12	414							414		310	104		414								

表3-4 発生量及び処理・処分量（電気・水道業 種類別：無変換）＜令和3年度＞

(単位：千 t/年)

区 分	種 類	委託処理量										委託中間処理量										再生利用量				最終処分量				その他量		資源化量
		委託直接最終処分量					委託中間処理後量					委託中間処理後量					委託中間処理後量					委託中間処理後量					委託中間処理後量					
		(処理主体の内訳)					(処理主体の内訳)					(処理主体の内訳)					(処理主体の内訳)					(処理主体の内訳)					(処理主体の内訳)					
		(処理主体の内訳)					(処理主体の内訳)					(処理主体の内訳)					(処理主体の内訳)					(処理主体の内訳)					(処理主体の内訳)					
		(処理主体の内訳)					(処理主体の内訳)					(処理主体の内訳)					(処理主体の内訳)					(処理主体の内訳)					(処理主体の内訳)					
		(K)	(O+L)	(O)	業者	自治体	県内	県外	(L)	業者	自治体	県内	県外	(M)	(M1)	(M2)	(R)	(O)	(O1)	(O2)	(J)	(S)										
	合計	530	131	3	127	131		399	385	14	103	296	356	335	21	341	155	4	151		451											
	燃え殻	35	17	1	16	17		18	18		5	13	18	17	1	17	19		19		18											
	汚泥	65	2	2	0	2		63	49	14	62	1	21	5	16	11	21	4	17		105											
	有機性汚泥	22	1	1		1		21	6	14	20	1	8	5	3	5	4	4	4		5											
	無機性汚泥	43	0	0	0	0		42	42		42	0	13	0	13	5	17	4	13		99											
	廃油	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0											
	一般廃油	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0		0											
	廃溶剤																															
	その他																															
	廃酸	0						0	0		0																					
	廃アルカリ																															
	廃プラスチック類	0						0	0		0																					
	廃プラスチック	0						0	0		0																					
	廃タイヤ																															
	紙くず																															
	木くず																															
	繊維くず																															
	動植物性残さ																															
	動物系固形不要物																															
	ゴムくず																															
	金属くず	0						0	0		0		0	0	0	0	0	0	0		3											
	ガラス陶磁器くず																															
	鉢さい																															
	がれき類	1						1	1		1		1	1	1	1					1											
	コンクリート片	0						0	0		0		0	0	0	0					0											
	廃アスファルト	1						1	1		1		1	1	1	1					1											
	その他																															
	ばいじん	14	8	0	8	8		7	7		4	3	7	3	3	3	11		11		3											
	その他の産業廃棄物	414	104	0	104	104		310	310		32	278	310	309	0	309	104		103		322											
	感染性廃棄物																															
	混合物等	414	104	0	104	104		310	310		32	278	310	309	0	309	104		103		322											

(単位：千t/年)

(その2)

表3-5 発生量及び処理・処分量（その他の業種 種類別：無変換）＜令和3年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理後量		自己中間処理量					自己未処理量					搬出量					自己最終処分量	
				(A)	(B)	(C) (D+G)	(D)	(E)	(自己中間処理後の処理内訳)				(G)	(自己未処理の処理内訳)				(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)			
									再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)		その他量 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)			委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	
合計	26	2	24	0	0	0	0	0	0	0	23	0	23	1	0	24						
燃え殻	0	0	0									0		0		0						
汚泥	3	0	3	0	0	0			0		3	0		3	0	3						
有機性汚泥	0		0								0			0		0						
無機性汚泥	3	0	3	0	0	0			0	0	2	0		2	0	3						
廃油	3	1	3	0	0	0			0		3			3	0	3						
一般廃油	3	1	3	0	0	0			0		3			3	0	3						
廃溶剤	0		0								0			0		0						
その他	0		0								0			0		0						
廃酸	0		0								0			0		0						
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0			0		0			0		0						
廃プラスチック類	8	0	8	0	0	0			0		8			8	0	8						
廃プラスチック	3	0	3	0	0	0			0		3			3	0	3						
廃タイヤ	5	0	5	0	0	0			0		5			5	0	5						
紙くず	0		0								0			0		0						
木くず	0		0	0	0	0			0		0			0	0	0						
繊維くず																						
動植物性残さ																						
動物系固形不要物																						
ゴムくず	0	0	0								0			0		0						
金属くず	3	1	2	0	0	0			0		2			2	0	2						
ガラス陶磁器くず	0		0								0			0	0	0						
鉱さい																						
がれき類	1		1								1			1	0	1						
コンクリート片	1		1								1			1	0	1						
廃アスファルト	0		0								0			0		0						
その他																						
ばいじん																						
その他の産業廃棄物	6	0	6	0	0	0			0		6			6	0	6						
感染性廃棄物	4		4								4			4		4						
混杂物等	2	0	2	0	0	0			0		2			2	0	2						

表3-5 発生量及び処理・処分量（その他の業種 種類別：無変換）＜令和3年度＞

(その2)

区分	種 類	委託処理量										(単位：千 t / 年)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		委託直接最終処分量					委託中間処理量					委託中間処理後量					再生利用量					最終処分量					その他量					資源化量																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		(処理主体の内訳)			(処理先地域の内訳)			(処理主体の内訳)			(処理先地域の内訳)			(委託処理後の処理内訳)			(R)			(Q)			(Q1)			(Q2)			(J) (E5+G5)	(S) (B+R)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		(K)	(O+L)	(O)	1	0	1	0	23	23	0	19	3	13	(M)	(委託処理後の処理内訳)		(E1+G+M1) (1+O+M2)	(O)	(Q1)	(Q2)	4	0	0	0	0	0	0			0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表4-1 発生量及び処理・処分量（秋田市 種類別：変換）＜令和3年度＞

（その1）

（単位：千t/年）

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量					自己未処理量					搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (J) 県外			
				自己中間処理後量					(自己未処理の処理内訳)									
				(D)	(自己中間処理後の処理内訳)				(G)	(自己未処理の処理内訳)								
					再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)		その他量 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)				委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)
合 計	1,073	6	1,067	788	42	20	3	18	2	279	7	4	248	21	295	6	6	
燃え殻	11	0	10		12			11	1	10			5	6	22			
汚泥	798	0	798	762	14	4	3	5	1	36		4	25	7	45	6		
有機性汚泥	708		708	705	5	0		5	0	3			3	0	8			
無機性汚泥	89	0	89	56	9	4	3	1	1	33		4	22	7	37	6	6	
廃油	5	0	5	2	0			0		3			3		3			
一般廃油	5	0	4	2	0			0		3			3		3			
廃溶剤	0	0	0							0			0		0			
その他	0	0	0							0			0		0			
廃酸	1		1							1			1		1			
廃アルカリ	2		2	0	0			0		2			2		2			
廃プラスチック類	10	0	10	0	0	0			0	10			9	1	10			
廃プラスチック	8	0	8	0	0	0			0	8			7	1	8			
廃タイヤ	2	0	2							2			2		2			
紙くず	8	1	7	6						1			1	0	1			
木くず	22		22	1	1	1				22	7		15	0	15			
繊維くず	0		0							0			0	0	0			
動植物性残さ	3	0	3							3			3		3			
動物系固形不要物																		
ゴムくず	0		0							0			0		0			
金属くず	8	4	4							4			4	0	4			
ガラス陶磁器くず	13		13	3	2			2		10			8	2	11			
鉱さい	9	1	9							9			5	4	9			
がれき類	160	0	160	15	15	15				145			145	0	145			
コンクリート片	95		95	13	13	13				82			81	0	82			
廃アスファルト	63	0	63	1	1	1				62			62	0	62			
その他	2		2							2			2	0	2			
ばいじん	18		18							18			18	0	18			
その他の産業廃棄物	7	0	7	0	0			0		7			5	1	7			
感染性廃棄物	1		1							1			1		1			
混杂物等	6	0	5	0	0			0		5			4	1	5			

表4-1 発生量及び処理・処分量（秋田市 種類別：変換）＜令和3年度＞

区 分	種 類	委託処理量 (単位：千t/年)										再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (O) (1+O+M2)	処理主体の内訳		その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)								
		委託直接最終処分量 (処理主体の内訳)					委託中間処分量 (処理先地域の内訳)							自己処分 (Q1)	委託処分 (Q2)										
		(K) (O+L)		(O)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳) 再生利用量 最終処分量													
		業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外		(M1)	(M2)												
合計		289	23	23	0	23	0	265	265	0	203	63	239	225	14	251	44	6	38	257					
燃え殻		22	7	7		7		16	16		1	14	18	14	3	14	10		10	14					
汚泥		39	8	8	0	8	0	30	30		15	15	16	15	1	19	16	6	10	19					
有機性汚泥		8	0	0		0		7	7		7	0	3	3	0	3	0		0	3					
無機性汚泥		31	8	8	0	8	0	23	23		8	15	13	12	1	16	16	6	9	16					
廃油		3						3	3		3	0	1	1	0	1	0		0	1					
一般廃油		3						3	3		3	0	1	1	0	1	0		0	1					
廃溶剤		0						0	0		0														
その他		0						0	0		0	0	0				0		0						
廃酸		1						1	1		1	0	0	0		0				0					
廃アルカリ		2						2	2		1	0	0	0		0				0					
廃プラスチック類		10	1	1	0	1	0	9	9	0	8	1	5	4	1	4	2		2	4					
廃プラスチック		8	1	1	0	1	0	7	7	0	6	0	3	2	1	2	2		2	2					
廃タイヤ		2						2	2	0	1	0	2	2	0	2	0		0	2					
紙くず		1	0	0		0		1	1		1	1	1	1	0	1	0		0	2					
木くず		15	0	0		0		15	15		15	0	13	13	0	20	0		0	20					
繊維くず		0	0	0		0		0	0		0		0	0	0	0	0		0	0					
動植物性廃さ		3						3	3		0	2	2	2	0	2	0		0	2					
動物系固形不要物																									
ゴムくず		0						0	0		0														
金属くず		4	0	0	0	0		4	4	0	4	0	4	4	0	4	0		0	8					
ガラス陶磁器くず		11	2	1	0	1	0	10	10		9	1	10	9	1	9	3		3	9					
鉱さい		9	4	4		4		5	5		0	5	5	5	0	5	4		4	5					
がれき類		145	0	0		0		145	145		137	8	145	144	1	158	2		2	158					
コンクリート片		82	0	0		0		81	81		81	0	81	80	1	94	1		1	94					
廃アスファルト		62	0	0		0		62	62		54	7	62	62	0	63	0		0	63					
その他		2	0	0		0		2	2		1	0	2	2	0	2	0		0	2					
ばいじん		18	0	0				18	18		2	16	18	13	4	13	4		4	13					
その他の産業廃棄物		7	1	1		1	0	5	5		5	0	2	1	1	1	3		3	1					
感染性廃棄物		1						1	1		1	0													
混杂物等		5	1	1		1	0	4	4		4	0	2	1	1	1	3		3	1					

表4-2 発生量及び処理・処分量（県北地域 種類別：変換）＜令和3年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量					自己未処理量					搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量					
				(D)	自己中間処理後量				(G)	(自己未処理の処理内訳)					(I) (E2+G2)	(J) (処理先地域の内訳)				
					(E)	(自己中間処理後の処理内訳)				(G1)	(自己未処理の処理内訳)									
						再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)			委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	再生利用量 (G1)				自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)
合 計	1,080	125	955	129	24	14	10	1		826	10	121	532	163	0	826	121	121		
燃え殻	40	1	39		0	0		0		39			17	22			39			
汚泥	265	94	171	109	5	1		3	0	62			58	4			65			
有機性汚泥	100		100	96	3	0		3		3			1	2			6			
無機性汚泥	165	94	71	12	1	1		0	0	59			57	2			59			
廃油	2	0	2	0	0			0		2			2		0		2			
一般廃油	1	0	1	0	0			0		1			1		0		1			
廃溶剤	1		1							1			1				1			
その他	0		0							0			0				0			
廃酸	2		2							2			2				2			
廃アルカリ	1		1							1			1				1			
廃プラスチック類	16	3	12	0	0	0		0	0	12			11	2	0		12			
廃プラスチック	14	3	11	0	0	0		0	0	11			9	2			11			
廃タイヤ	1	0	1	0	0			0		1			1		0		1			
紙くず	0		0							0			0				0			
木くず	29	6	22	1	1	1				21	10		11	0			11			
繊維くず	0		0							0			0		0		0			
動植物性残さ	5		5	2	2	2				3			3				3			
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	9	7	2	0	0			0		2			2	0			2			
ガラス陶磁器くず	14	0	14	7	7			7		6			5	1			13			
鉱さい	141		141							141		121	20			141	121	121		
がれき類	111	0	111	10	10	10				101			100	1			101			
コンクリート片	65		65	9	9	9				56			56	0			56			
廃アスファルト	44	0	44	1	1	1				43			43	0			43			
その他	2		2							2			1	1			2			
ばいじん	11		11							11			3	8			11			
その他の産業廃棄物	435	12	423	0						423			318	105			423			
感染性廃棄物	1		1							1			1				1			
混杂物等	435	12	422	0						422			317	105			422			

表4-2 発生量及び処理・処分量（県北地域 種類別：変換）＜令和3年度＞

区 分	種 類	委託処理量										(単位：千 t/年)																									
		委託直接最終処分量					委託中間処分量					委託中間処分量					委託中間処分量																				
		(K)		(O)		(O+L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)		(R)	(E1+G1+M1)	(O)	(Q1)	(Q2)	(J)	(S)	(B+R)											
		(K)	(O+L)	(O)	(O+L)		業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外		(M1)	(M2)																			
		705	164	36	127	164	0	541	540	1	220	321	492	474	18	497	303	121	182	0	622																
燃え殻		39	22	6	16	22		17	17		3	13	18	17	1	17	23		23							18											
汚泥		65	5	5		5		61	59	1	51	10	22	8	14	9	19		19							103											
有機性汚泥		6	2	2		2		4	3	1	4	0	1	0	0	1	3		3							1											
無機性汚泥		59	2	2		2		57	57		47	10	21	8	14	9	16		16							103											
廃油		2						2	2	0	2	0	0	0	0	0			0							1											
一般廃油		1						1	1		1	0	0	0		0			0							1											
廃溶剤		1						1	1		1																										
その他		0						0	0	0	0																										
廃酸		2						2	2		2	0																									
廃アルカリ		1						1	1		1	0	0	0		0										0											
プラスチック類		12	2	2	0	2		11	11	0	4	6	6	5	1	5	3		3							8											
廃プラスチック		11	2	2	0	2		9	9	0	3	6	4	3	1	3	3		3							7											
廃タイヤ		1						1	1		1	0	1	1	0	1	0		0							1											
紙くず		0	0	0		0		0	0		0		0	0	0	0			0							0											
木くず		11	0	0		0		11	11		11	0	9	9	0	20	0		0							26											
繊維くず		0	0	0		0		0	0	0	0		0	0	0	0			0							0											
動植物性廃さ		3						3	3	0	1	1	3	3		5										5											
動物系固形不要物																																					
ゴムくず																																					
金属くず		2	0	0		0		2	2		2	0	2	2	0	2	0		0							9											
ガラス陶磁器くず		13	1	1		1		12	12		12	0	12	11	1	11	2		2							11											
鉱さい		20	20	20		20											141	121	20																		
がれき類		101	1	1		1		100	100		95	5	100	99	1	110	2		2							110											
コンクリート片		56	0	0		0		56	56		56	0	56	56	1	65	1		1							65											
廃アスファルト		43	0	0		0		43	43		38	5	43	43	0	44	0		0							44											
その他		2	1	1		1		1	1		1	0	1	1	0	1	1		1							1											
ばいじん		11	8	1	8	8	0	3	3		3	0	3	3	0	3	9		9							3											
その他の産業廃棄物		423	105	1	104	105		318	318	0	33	284	317	316	1	316	106		105							328											
感染性廃棄物		1						1	1		0	0																									
混合物等		422	105	1	104	105		317	317	0	33	284	317	316	1	316	106		105							328											

表4-3 発生量及び処理・処分量（県央地域 種類別：変換）＜令和3年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区 分 種 類	発 生 量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+E)	自己中間処理後量				自己未処理量				搬出量 (H) (1+K+J)	自己最終処分量 (E2+G2) (1)	(処理先地域の内訳) 県内 県外	
				自己中間処理後量				自己未処理量							
				(D)	(E)	(自己中間処理後の処理内訳)		(G)	(自己未処理の処理内訳)						
						再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)		委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)				
合 計	267	62	205	52	18	9	9	0	154	147	6	163			
燃え殻	2		2		0		0		2	0	2	2			
汚泥	66	0	66	37	4	0	3	0	29	28	2	33			
有機性汚泥	40		40	29	3		3		11	11	0	14			
無機性汚泥	26	0	26	8	1	0	1	0	18	16	2	19			
廃油	8	2	6	0	0		0		6	6		6			
一般廃油	6	1	5	0	0		0		5	5		5			
廃溶剤	1	0	1						1	1		1			
その他	0	0	0						0	0		0			
廃酸	2		2						2	2		2			
廃アルカリ	1	0	1						1	1		1			
廃プラスチック類	8	1	8	0	0	0	0	0	8	7	1	8			
廃プラスチック	8	1	7	0	0	0		0	7	7	1	7			
廃タイヤ	1		1	0	0		0		1	1		1			
紙くず	0		0						0	0	0	0			
木くず	68	56	12	3	2	1	2		9	9	0	10			
繊維くず	0		0						0	0	0	0			
動植物性残さ	0	0	0						0	0		0			
動物系固形不要物															
ゴムくず	0		0						0	0		0			
金属くず	5	3	2	0	0	0	0		2	2	0	2			
ガラス陶磁器くず	11	0	11	4	4		4		8	7	1	11			
鉱さい															
がれき類	93	0	93	8	8	8			84	84	0	84			
コンクリート片	55		55	8	8	8			47	47	0	47			
廃アスファルト	37	0	37	1	1	1			36	36	0	36			
その他	1		1						1	1	0	1			
ばいじん	0	0	0						0	0	0	0			
その他の産業廃棄物	3	0	3						3	2	1	3			
感染性廃棄物	0		0						0	0		0			
混杂物等	3	0	2						2	2	1	2			

表4-3 発生量及び処理・処分量（県央地域 種類別：変換）＜令和3年度＞

区 分	種 類	委託処理量										(単位：千t/年)																					
		委託直接最終処分量					委託中間処分量					委託中間処分量					委託中間処分量																
		(K)		(O)		(O+L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)		(R)	(E1+G1+M1)	(O)	(1+O+M2)	(S)	(B+R)									
		(K)	(O+L)	(O)	(L)		業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外		(M1)	(M2)															
		163	6	6	0	157	143	13	135	22	129	123	7	132	13	13	5	0	13	13	13	13	194	194									
燃え殻		2	2	2	2	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0	3	0	0	0	0	5	0	0	0									
汚泥		33	2	2	2	31	18	13	20	11	12	11	1	11	3	3	0	0	0	0	0	0	11	11									
有機性汚泥		14	0	0	0	14	1	13	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
無機性汚泥		19	2	2	2	17	17	0	6	11	11	10	1	11	3	3	0	0	0	0	0	0	11	11									
廃油		6				6	6		5	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2									
一般廃油		5				5	5		4	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2									
廃溶剤		1				1	1		0	0													0	0									
その他		0				0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
廃酸		2				2	2		0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
廃アルカリ		1				1	1		0	1	0	0		0	0								0	0									
廃プラスチック類		8	1	1	1	7	7		6	2	6	5	1	5	1	1	5	1	5	1	1	1	6	6									
廃プラスチック		7	1	1	1	7	7		5	2	5	5	1	5	1	1	5	1	5	1	1	1	5	5									
廃タイヤ		1				1	1		1	0	1	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1									
紙くず		0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
木くず		10	0	0	0	10	10		10	0	9	9	0	10	0	0	9	0	10	0	0	0	66	66									
繊維くず		0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
動植物性廃さ		0				0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
動物系固形不要物																																	
ゴムくず		0				0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
金属くず		2	0	0	0	2	2		2	0	2	2	0	2	0	2	2	0	2	0	0	0	5	5									
ガラス陶磁器くず		11	1	1	1	10	10		10	0	10	10	1	10	1	10	10	1	10	1	1	1	10	10									
鉱さい																																	
がれき類		84	0	0	0	84	84		80	5	84	83	1	92	1		83	1	92	1	1	1	92	92									
コンクリート片		47	0	0	0	47	47		47	0	47	47	1	54	1		47	1	54	1	1	1	54	54									
廃アスファルト		36	0	0	0	36	36		32	4	36	36	0	37	0		36	0	37	0	0	0	37	37									
その他		1	0	0	0	1	1		1	0	1	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1									
ばいじん		0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
その他の産業廃棄物		3	1	1	1	2	2		2	0	1	1	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1									
感染性廃棄物		0				0	0		0	0																							
混合物等		2	1	1	1	2	2		2	0	1	1	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1									

表4-4 発生量及び処理・処分量（県南地域 種類別：変換）＜令和3年度＞

（その1）

（単位：千t/年）

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+E)	自己中間処理後量				自己未処理量				搬出量				自己最終処分量 (1) (E2+G2)	(処理先地域の内訳) 県内 県外			
				(D)	自己中間処理後量			(E)	(G)	(自己未処理の処理内訳)			(H) (1+K+J)							
					再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)			委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	再生利用量 (G1)		自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)				委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)
合 計	312	8	304	113	28	16	9	2	191	0	183	8	0	203						
燃え殻	0	0	0		0		0		0		0			0						
汚泥	111		111	90	6	1	3	2	20	0	17	3		25						
有機性汚泥	87		87	86	4	0	2	1	1		1	1		4						
無機性汚泥	24		24	4	2	0	1	1	19	0	17	3		21						
廃油	3	0	3	1	0		0		2		2		0	2						
一般廃油	2	0	2	0					2		2		0	2						
廃溶剤	0		0						0		0			0						
その他	1		1	1	0		0		0		0			0						
廃酸	1		1						1		1			1						
廃アルカリ	4		4						4		4			4						
廃プラスチック類	9	0	9	2	2	2	0	0	7		5	2	0	7						
廃プラスチック	8	0	8	2	2	2	0	0	6		4	2		6						
廃タイヤ	1	0	1						1		1		0	1						
紙くず	0		0						0		0		0	0						
木くず	14	0	14	1	1	1			13		13	0		13						
繊維くず	0		0						0		0		0	0						
動植物性残さ	3		3						3		3			3						
動物系固形不要物																				
ゴムくず	0	0																		
金属くず	10	7	3	0	0		0		3		3	0	0	3						
ガラス陶磁器くず	11		11	6	6		6		4		3	1		11						
鉱さい	0		0						0		0			0						
がれき類	141	0	141	13	13	13			128		128	0		128						
コンクリート片	83		83	12	12	12			71		71	0		71						
廃アスファルト	57	0	57	1	1	1			55		55	0		55						
その他	2		2						2		1	0		2						
ばいじん	0		0						0					0						
その他の産業廃棄物	6	0	5	0	0		0		5		4	1		5						
感染性廃棄物	2		2						2		2			2						
混杂物等	4	0	4	0	0		0		3		2	1		4						

表4-4 発生量及び処理・処分量（県南地域）種類別：変換）＜令和3年度＞

(その2)

(单位: 千 t/年)

区分	委託処理量 (t/年)	委託中間処理量										委託直接最終処分量	委託先地域の内訳				(K) (O+L)	資源化量 (t/年)	
		(処理主体の内訳)				(処理先地域の内訳)		(委託先地域の内訳)		(委託中間処理後量)			処理主体の内訳						
		業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	(M)	(委託処理後の処理内訳)		自己処分 (O1)	委託処分 (O2)					
											(L)				(N)	(再生利用量 (M1))			最終処分量 (M2)
(O)	10	10	0	10	0	10	0	167	26	177	172	6	188	16	16	0	196		
種 類																	その他 (J) (E5+G5) (B+R)		
合計	203	10	10	0	10	0	193	193	0	167	26	177	172	6	188	16	0		
燃え殻	0						0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0		
汚泥	25	5	5	0	5	0	20	20	0	6	14	13	12	1	13	6	13		
有機性汚泥	4	2	2		2		3	3	0	1	1	1	1	0	2	2	2		
無機性汚泥	21	3	3	0	3	0	17	17		5	13	11	11	0	11	4	11		
廃油	2						2	2		1	1	0	0	0	0	0	1		
一般廃油	2						2	2		1	1	0	0	0	0	0	1		
廃溶剤	0						0	0		0	0	0	0		0		0		
その他	0						0	0		0	0	0	0		0		0		
廃酸	1						1	1		0	0	0	0		0		0		
廃アルカリ	4						4	4		1	3	2	2	0	2	0	2		
廃プラスチック類	7	2	2		2		5	5	0	5	1	4	3	1	5	3	0		
廃プラスチック	6	2	2		2		4	4	0	4	0	3	2	1	4	3	4		
廃タイヤ	1						1	1		1	0	1	1	0	1	0	1		
紙くず	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		
木くず	13	0	0	0	0		13	13		13	0	12	11	0	12	0	12		
繊維くず	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
動植物性残さ	3						3	3		3	0	3	3		3		3		
動物系固形不要物																			
ゴムくず																	0		
金属くず	3	0	0	0	0		3	3	0	3	0	3	3	0	3	0	10		
ガラス陶磁器くず	11	1	1	0	1	0	9	9	0	9	0	9	9	1	9	2	9		
鉱さい	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		
がれき類	128	0	0		0		128	128		121	7	128	127	1	139	1	139		
コンクリート片	71	0	0		0		71	71		71	0	71	70	1	82	1	82		
廃アスファルト	55	0	0		0		55	55		49	7	55	55	0	56	0	56		
その他	2	0	0	0	0		1	1		1	0	1	1	0	1	0	1		
ばいじん	0	0	0		0										0	0			
その他の産業廃棄物	5	1	1		1		4	4		4	0	2	1	1	1	2	1		
感染性廃棄物	2						2	2		2	0								
混合物等	4	1	1		1		2	2		2	0	2	1	1	1	2	1		

表5-1 発生量及び処理・処分量（業種別）＜令和3年度＞

（その1）

（単位：千t/年）

業 種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量				自己未処理量				搬出量 (H) (1+K+J)	自己最終処分量		(処理先地域の内訳) 県内 県外			
				自己中間処理後量														
				(自己中間処理後の処理内訳)				(自己未処理の処理内訳)										
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処 理 量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処 理 量 (G3)						委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)
合 計	2,733	201	2,532	1,082	112	59	3	46	5	1,450	16	125	1,110	199	0	1,487	127	127
建設業	653	0	652	50	49	49		0	0	602			580	22		603		
製造業	910	88	822	519	45	4	3	35	3	303	16	121	119	46		327	124	124
食料品	35	0	34	23	5	2		2	1	12			11			15		
飲料・飼料	4	0	3	3	0	0		0	0	0			0	0		0		
繊維	3	3	3	2	0	0		0	0	1			1	0		1		
木材	92	63	29	2	2			2		26	16		3	7		12		
家具	2	2	2	1	0			0	0	0			1	0		1		
パルプ・紙	461		461	437	11			11		25			19	6		36		
印刷	1	1	0							0			0	0		0		
化学	10	0	9	7	3		3	0	0	3			3	0		5	3	3
石油・石炭	0		0							0			0			0		
プラスチック	7	4	4	2	2	2		0	0	2			1	1		2		
ゴム	0	0	0							0			0	0		0		
皮革																		
窯業・土石	56	0	56	33	21	0		19	2	24			23	0		44		
鉄鋼	12	1	11	0	0			0		11			5	6		11		
非鉄金属	161	1	160	0	0	0				160		121	15	23		160	121	121
金属	8	4	5	2	0			0	0	3			3	0		3		
はん用機器	2	1	1						1	1			1	0		1		
生産用機器	5	3	2	0	0			0		2			2	0		2		
業務用機器	11	3	9	3	0			0	0	5			5	0		6		
電子部品	28	2	25	4	1			1	0	21			21	0		22		
電気機器	3	1	3							3			2	0		3		
情報通信機器	1	1	0							0			0	0		0		
輸送機器	7	4	3	1	0			0		3			2	0		3		
その他	0	0	0							0			0	0		0		
電気・水道業	1,145	110	1,034	513	18	6		10	1	522		4	389	129		534	4	4
電気業	623	110	513	7	0	0		0		506			377	129		506		
ガス業	0	0	0							0			0			0		
上水道業	58		58	53	6	5		0	0	5		4	1	0		6	4	4
下水道業	463		463	452	12	0		10	1	11			11	0		22		
情報通信業	0	0	0							0			0			0		
運輸業	3	1	2	0	0	0		0	0	2	0		2	0	0	2		
卸・小売業	13	1	13	0	0			0		12	0		12	1	0	13		
物品賃貸業	1	0	1	0	0			0	1	1			1	0		1		
学術研究・専門サービス業	0	0	0							0			0	0		0		
生活関連サービス業	0	0	0	0	0			0		0			0			0		
教育・学習支援業	1	0	1							1			1	0		1		
医療・福祉	4		4							4			4			4		
サービス業	2	0	2	0	0	0		0		2			2	0		2		

表5-1 発生量及び処理・処分量（業種別）＜令和3年度＞

業 種	委託処理量 (その2)										(単位：千 t/年)																	
	委託直接最終処分量					委託中間処理量					委託中間処理後量					再生利用量												
	(K)		(O+L)		(O)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)		(R)	(最終処分量)		その他量	資源化量						
	(O+L)		(O+L)			(業者)		(県内)			(自治体)		(県外)			(再生利用量)			(自己処分)									
	(K)	(O+L)	(O)	(L)		(業者)	(自治体)	(県内)	(県外)		(業者)	(自治体)	(県内)	(県外)		(M1)	(M2)		(O1)	(O2)								
	(K)	(O+L)	(O)	(L)		(業者)	(自治体)	(県内)	(県外)		(業者)	(自治体)	(県内)	(県外)		(M1)	(M2)		(O1)	(O2)								
合 計	1,360	204	76	128	203	0	1,156	1,141	15	724	432	1,038	993	45	1,068	376	127	249	0	1,269								
建設業	603	22	22	0	22	0	580	580	0	511	69	552	539	13	589	35	35	35	0	589								
製造業	204	50	50	0	50	0	154	154	0	90	64	117	108	8	129	182	124	58		216								
食料品	15	2	2	0	2	0	13	13	0	9	5	10	9	1	10	3	3	3	0	11								
飲料・飼料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
繊維	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
木材	12	7	7	0	7	0	5	5	0	4	0	4	3	1	19	8	8	8	0	82								
家具	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
パルプ・紙	36	6	6	0	6	0	30	30	0	2	28	29	29	0	29	6	6	6	0	29								
印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1								
化学	3	0	0	0	0	0	3	3	0	2	0	1	1	0	1	3	3	0	0	1								
石油・石炭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
プラスチック	2	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	2	1	1	1	0	6								
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
窯業・土石	44	2	2	0	2	0	42	42	0	36	6	41	40	0	40	3	3	3	0	40								
鉄鋼	11	6	6	0	6	0	5	5	0	5	0	5	5	0	5	6	6	6	0	6								
非鉄金属	39	23	23	0	23	0	15	15	0	9	6	8	6	2	6	146	121	26	0	7								
金属	3	1	1	0	1	0	3	3	0	2	1	1	1	0	1	1	1	1	0	4								
はん用機器	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	2								
生産用機器	2	0	0	0	0	0	2	2	0	2	1	1	1	0	1	0	0	0	0	4								
業務用機器	6	0	0	0	0	0	5	5	0	2	4	1	1	1	1	1	1	1	1	3								
電子部品	22	0	0	0	0	0	22	22	0	14	7	12	10	1	10	2	2	2	0	13								
電気機器	3	0	0	0	0	0	2	2	0	2	0	1	1	0	1	0	0	0	0	2								
情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1								
輸送機器	3	0	0	0	0	0	3	3	0	2	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1								
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5								
電気・水道業	530	131	3	127	131	0	399	385	14	103	296	356	335	21	341	155	4	151	0	451								
電気業	506	129	2	127	129	0	377	377	0	82	295	347	329	18	330	147	147	147	0	440								
ガス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
上水道業	2	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	6	4	4	4	1	6								
下水道業	22	1	1	0	1	0	21	6	14	20	1	8	5	3	5	4	4	4	0	5								
情報通信業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
運輸業	2	0	0	0	0	0	2	2	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	2								
卸・小売業	12	1	0	0	1	0	12	12	0	11	1	8	7	2	7	2	2	2	0	7								
物品賃貸業	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1								
学術研究・専門サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
生活関連サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
教育・学習支援業	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
医療・福祉	4	0	0	0	0	0	4	4	0	3	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0								
サービス業	2	0	0	0	0	0	2	2	0	2	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1								

表5-2 発生量及び処理・処分量（秋田市 業種別）＜令和3年度＞

業 種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+E)	自己中間処理量				自己中間処理後量				自己未処理量				搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量		(処理先地域の内訳) 県内 県外					
				(D)	自己中間処理後量			(E)	(自己中間処理後の処理内訳)			(G)	(自己未処理の処理内訳)				(E2+G2) (I)							
					(E1)	(E2)	(E3)		(E4)	(E5)			(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)							
					再生利用量	自己最終 処分量	委託中間 処理量		委託直接 最終処分量	その他量														
合 計	1,073	6	1,067	788	42	20	3	18	2	0	191	279	4	248	21	295	6	6						
建設業	207	0	207	16	16	0	0	0	0	0	191	184	7	184	7	191								
製造業	540	5	535	466	18	3	15	1	1	1	69	48	14	48	14	81	3	3						
食料品	11	0	11	8	2	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	4								
飲料・飼料	3	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
繊維	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
木材	15	0	15	0	0	0	0	0	0	0	15	2	6	2	6	8								
家具																								
パルプ・紙	454	1	454	436	11	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0	30								
印刷	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
化学	8	0	8	6	3	0	0	0	0	0	2	2	0	2	0	4	3	3						
石油・石炭																								
プラスチック																								
ゴム																								
皮革																								
窯業・土石	13	0	13	6	3	0	0	0	0	0	7	7	0	7	0	10								
鉄鋼	10	1	9								9	5	4	5	4	9								
非鉄金属	9	0	9								9	5	4	5	4	9								
金属	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	2								
はん用機器																								
生産用機器	0	0	0								0	0	0	0	0	0								
業務用機器	3	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
電子部品	8	0	8	3	0	0	0	0	0	0	4	4	4	4	5									
電気機器																								
情報通信機器																								
輸送機器	1	1	0								0	0	0	0	0	0								
その他	0	0	0								0	0	0	0	0	0								
電気・水道業	315		315	305	8	4	3	1	1	1	10	4	6	6	6	14	4	4						
電気業	13		13	7	0	0	0	0	0	0	6	6	6	6	6									
ガス業																								
上水道業	47		47	43	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4						
下水道業	255		255	255	4	4	3	1	1	1	0	0	0	0	0	4								
情報通信業											0	0	0	0	0	0								
運輸業	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1								
卸・小売業	6	0	5	0							5	5	0	5	0	5								
物品賃貸業	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1								
学術研究・専門サービス業	0	0	0								0	0	0	0	0	0								
生活関連サービス業	0	0	0								0	0	0	0	0	0								
教育・学習支援業	1	0	1								1	1	0	1	0	1								
医療・福祉	1		1								1	1	1	1	1	1								
サービス業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								

(単位：千 t / 年)

表5-3 発生量及び処理・処分量（県北地域 業種別）＜令和3年度＞

（その1）

（単位：千t/年）

業 種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+E)	自己中間処理量				自己中間処理後量				自己未処理量				搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量		(処理先地域の内訳) 県内 県外						
				(D)	(E)	(E1)	(自己中間処理後の処理内訳)			(G)	(自己未処理の処理内訳)			(G1)	(G2)		(G3)	(G4)			(G5)				
							再生利用量	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処 理 量 (E3)		委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	再生利用量									自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処 理 量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)
業 種 合 計	1,080	125	955	129	24	14	10	1	826	10	121	532	163	0	826	121	121								
建設業	144	0	144	11	11	11	0	0	133		128	5			133										
製造業	223	14	209	21	9	2	7	0	188	10	121	28	29		185	121	121								
食料品	12	0	12	8	2	2	0	0	3			3	0		4										
飲料・飼料																									
繊維	0	0	0						0			0			0										
木材	17	7	10						10	10		0			0										
家具	1	1	1	1	0			0	0			0	0		0										
パルプ・紙	7		7	1	0		0		6				6		6										
印刷																									
化学	2	0	1	0	0		0		1		1	0			1										
石油・石炭																									
プラスチック	1	1	0						0			0	0		0										
ゴム	0		0						0			0	0		0										
皮革																									
窯業・土石	18	0	18	11	7	0	7	0	7			7	0		14										
鉄鋼	2		2						2			0	2		2										
非鉄金属	152	0	151	0	0	0			151		121	11	20		151	121	121								
金属	1	1	0						0			0			0										
はん用機器	1	1	0						0			0			0										
生産用機器	1	0	1						1			1	0		1										
業務用機器	7	3	4						4			4			4										
電子部品	1	0	1						1			0	0		1										
電気機器	0	0	0						0			0	0		0										
情報通信機器	0	0	0						0			0			0										
輸送機器	0		0						0			0			0										
その他	0	0	0						0				0		0										
電気・水道業	707	110	597	97	4	1	3	0	500			371	129		503										
電気業	610	110	500						500			371	129		500										
ガス業	0		0						0			0			0										
上水道業	7		7	7	1	1		0	0			0			0										
下水道業	90		90	90	3	0	3		0			0	0		3										
情報通信業	0	0	0						0			0			0										
運輸業	1	0	1						1			0	0		1										
卸・小売業	3	0	3	0	0		0		3			3	0		3										
物品賃貸業	0		0						0			0			0										
学術研究・専門サービス業	0		0						0			0			0										
生活関連サービス業	0	0	0						0			0	0		0										
教育・学習支援業									0			0			0										
医療・福祉	1		1						1			1			1										
サービス業	1	0	1	0	0	0	0		1			1	0		1										

表5-4 発生量及び処理・処分量（県央地域 業種別）＜令和3年度＞

(その1)

(単位：千 t / 年)

業 種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量				自己未処理量					搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (1) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)		
				自己中間処理後量				自己未処理の処理内訳									
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処 理 量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処 理 量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)					その他量 (G5)
合計	267	62	205	52	18	9	9	9	9	0	0	154	147	6	163		
建設業	121	0	121	9	9							111	107	4	111		
製造業	105	62	44	15	7	0						29	27	2	35		
食料品	4	0	4	3	1	0						1	1	0	2		
飲料・飼料																	
繊維	0	0	0									0	0	0	0		
木材	61	56	4	2	2							2	0	2	4		
家具	0	0	0									0	0	0	0		
パルプ・紙																	
印刷																	
化学																	
石油・石炭	0		0									0	0		0		
プラスチック																	
ゴム																	
皮革																	
窯業・土石	14		14	8	4							6	6		10		
鉄鋼																	
非鉄金属																	
金属	3	1	2	1	0							1	1	0	1		
はん用機器	0	0	0									0	0	0	0		
生産用機器	3	2	1	0								1	1	0	1		
業務用機器	0	0	0									0	0	0	0		
電子部品	15	2	14									14	14	0	14		
電気機器	2	1	2									2	2	2	2		
情報通信機器	0	0	0									0	0	0	0		
輸送機器	1	0	1									1	1	1	1		
その他																	
電気・水道業	39		39	28	3							11	11	0	14		
電気業	0	0	0									0	0	0	0		
ガス業																	
上水道業	2		2	2	0							0	0	0	0		
下水道業	37		37	26	2							11	11		13		
情報通信業																	
運輸業	0	0	0									0	0		0		
卸・小売業	1	0	1	0	0							1	1	0	1		
物品賃貸業	0	0	0	0	0							0	0	0	0		
学術研究・専門サービス業	0	0	0									0	0	0	0		
生活関連サービス業	0	0	0	0	0							0	0	0	0		
教育・学習支援業	0	0	0									0	0	0	0		
医療・福祉	0		0									0	0	0	0		
サービス業	0	0	0									0	0		0		

表5-4 発生量及び処理・処分量（県央地域 業種別）＜令和3年度＞

業 種	委託処理量 (その2)		委託中間処理量										再生利用量		最終処分量		その他量		資源化量	
	(K) (O+L)	(O)	委託直接最終処分量				委託中間処理量				委託先地域の内訳		委託先地域の内訳		委託先地域の内訳		委託先地域の内訳		(S) (B+R)	
			(処理主体の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理主体の内訳)		(S) (B+R)	
			業者	自治体	県内	県外	(L)	業者	自治体	県内	県外	(M)	(委託処理後の処理内訳)		(R) (E1+G1+M1)	(D) (J+O+M2)	(Q1) (Q2)	(J) (E5+G5)		
													再生利用量	最終処分量						
	(K) (O+L)	(O)	業者	自治体	県内	県外	(L)	業者	自治体	県内	県外	(M)	(M1)	(M2)	(R) (E1+G1+M1)	(D) (J+O+M2)	(Q1) (Q2)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)	
合 計	163	6	6	6	6	0	157	143	13	135	22	129	123	7	132	13	13		194	
建設業	111	4	4	4	4	0	107	107		94	13	102	100	2	109	6	6		109	
製造業	35	2	2	2	2		33	33		25	8	23	22	1	22	3	3		83	
食料品	2	0	0	0	0		2	2		1	1	1	1	0	1	0	0		1	
飲料・飼料																				
繊維	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		0	
木材	4	2	2	2	2		2	2		2	2	2	2	0	2	2	2		58	
家具	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		0	
ハルブ・紙																				
印刷																				
化学																				
石油・石炭	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		0	
プラスチック																				
ゴム																				
皮革																				
窯業・土石	10	0	0	0	0		10	10		9	1	10	9	0	9	0	0		9	
鉄鋼																				
非鉄金属																				
金属	1	0	0	0	0		1	1		0	1	0	0	0	0	0	0		1	
はん用機器	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		0	
生産用機器	1	0	0	0	0		1	1		1	0	1	1	0	1	0	0		3	
業務用機器	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		0	
電子部品	14	0	0	0	0		14	14		8	6	8	8	1	8	1	1		10	
電気機器	2						2	2		1	0	1	1	0	1	0	0		1	
情報通信機器	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		0	
輸送機器	1	0	0	0	0		1	1		1	0	0	0	0	0	0	0		0	
その他																				
電気・水道業	14	0	0	0	0		13	0	13	13	0	3	0	3	0	3	3		0	
電気業	0						0	0		0	0									
ガス業																				
上水道業	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		0	
下水道業	13						13		13	13		3		3		3	3		0	
情報通信業																				
運輸業	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		0	
卸・小売業	1	0	0	0	0		1	1		1	0	1	1	0	1	0	0		1	
物品賃貸業	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		0	
学術研究・専門サービス業	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		0	
生活関連サービス業	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		0	
教育・学習支援業	0	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		0	
医療・福祉	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		0	
サービス業	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		0	

表5-5 発生量及び処理・処分量（県南地域 業種別）＜令和3年度＞

（その1）

（単位：千t/年）

業 種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量				自己未処理量				自己未処理の処理内訳				搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳) 県内 県外	
					自己中間処理後量				自己未処理量				自己未処理の処理内訳							
					再生利用量 (E1)	委託中間 処 理 量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処 理 量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)							
合 計	312	8	304	113	28	16	9	2	0	191	0	183	8	0	203					
建設業	181	0	181	14	14	14	0	0	0	167	0	161	6	0	167					
製造業	41	7	34	17	11	2	7	2	0	17	0	15	2	0	26					
食料品	8	4	8	4	1	1	0	1	0	4	0	3	1	0	5					
飲料・飼料	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
繊維	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
木材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
家具	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
パルプ・紙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
化学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
石油・石炭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
プラスチック	6	2	3	2	2	2	0	0	0	1	1	1	1	0	1					
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
窯業・土石	11	0	11	8	8	1	7	1	0	3	0	3	0	0	11					
鉄鋼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
非鉄金属	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
金属	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1					
はん用機器	1	0	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1					
生産用機器	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
業務用機器	2	0	2	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1					
電子部品	4	0	3	1	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0	3					
電気機器	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1					
情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
輸送機器	4	3	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1					
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
電気・水道業	84	0	83	82	3	1	2	0	0	1	0	1	0	0	3					
電気業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
ガス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
上水道業	2	0	2	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1					
下水道業	82	0	82	82	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2					
情報通信業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
運輸業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
卸・小売業	3	0	3	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0	3					
物品賃貸業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
学術研究・専門サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
生活関連サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
教育・学習支援業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
医療・福祉	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	2					
サービス業	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					

表6-1 発生量及び処理・処分量（鉱業 種類別：変換）＜令和3年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量				自己未処理量				搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳) 県内 県外			
				自己中間処理後量				(自己未処理の処理内訳)									
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)					委託直接 最終処分量 (G4)	その他 (G5)
合計	49	0	48	25	48	25				1		1	0				
燃え殻																	
汚泥	48		48	25	48	25				0		0	0				
有機性汚泥	0		0							0		0	0				
無機性汚泥	48		48	25	48	25											
廃油	0		0							0		0					
一般廃油	0		0							0		0					
廃溶剤																	
その他																	
廃酸																	
廃アルカリ																	
廃プラスチック類	0		0							0		0	0				
廃プラスチック	0		0							0		0	0				
廃タイヤ																	
紙くず																	
木くず																	
繊維くず																	
動植物性残さ																	
動物系固形不要物																	
ゴムくず																	
金属くず	0	0	0							0		0					
ガラス陶磁器くず	0		0							0		0					
鉱さい																	
がれき類	0		0							0			0				
コンクリート片	0		0							0			0				
廃アスファルト																	
その他																	
ばいじん																	
その他の産業廃棄物	0		0							0		0	0				
感染性廃棄物																	
混杂物等	0		0							0		0	0				

表6-1 発生量及び処理・処分量（鉱業 種類別：変換）＜令和3年度＞

(単位：千 t / 年)

区 分	種 類	委託処理量										再生利用量 (E1+G1+M1)	最終処分量	処理主体の内訳		その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)		
		委託直接最終処分量					委託中間処理量							自己処分 (Q1)	委託処分 (Q2)				
		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)							(委託処理後の処理内訳) 再生利用量 最終処分量	
		業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外								(M1)	(M2)
	(K) (O+L)	(O)																	
合計	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	25	0	26		
燃え殻												0		0		0			
汚泥		0	0	0	0	0				0	0				25	0	25		
有機性汚泥		0	0	0	0	0				0	0				0	0			
無機性汚泥															25		25		
廃油		0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
一般廃油		0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
廃溶剤																			
その他																			
廃酸																			
廃アルカリ																			
廃プラスチック類		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
廃プラスチック		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
廃タイヤ																			
紙くず																			
木くず																			
繊維くず																			
動植物性廃さ																			
動物系固形不要物																			
ゴムくず																			
金属くず		0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		
ガラス陶磁器くず		0	0	0	0										0	0			
鉱さい																			
がれき類		0	0	0	0										0	0			
コンクリート片		0	0	0	0										0	0			
廃アスファルト																			
その他																			
ばいじん																			
その他の産業廃棄物		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
感染性廃棄物																			
混合物等		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

表6-2 発生量及び処理・処分量（鉱業 種類別：無変換）＜令和3年度＞

(その1)

(単位：千t/年)

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量		自己中間処理後量						自己未処理量				自己未処理の処理内訳				搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳) 県内 県外	
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	(G)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)										
合 計	49	0	48	48	25	25					1	1	0					1					
燃え殻																							
汚泥	48		48	48	25	25					0			0	0				0				
有機性汚泥	0		0								0			0	0				0				
無機性汚泥	48		48	48	25	25																	
廃油	0		0								0			0					0				
一般廃油	0		0								0			0					0				
廃溶剤																							
その他																							
廃酸																							
廃アルカリ																							
廃プラスチック類	0		0								0			0	0				0				
廃プラスチック	0		0								0			0	0				0				
廃タイヤ																							
紙くず																							
木くず																							
繊維くず																							
動植物性残さ																							
動物系固形不要物																							
ゴムくず																							
金属くず	0	0	0								0			0					0				
ガラス陶磁器くず	0		0								0				0				0				
鉱さい																							
がれき類	0		0								0				0				0				
コンクリート片	0		0								0				0				0				
廃アスファルト																							
その他																							
ばいじん																							
その他の産業廃棄物	0		0								0			0	0				0				
感染性廃棄物																							
混杂物等	0		0								0			0	0				0				

表6-2 発生量及び処理・処分量（鉱業 種類別：無変換）＜令和3年度＞

(その2)

区 分	委託処理量	委託中間処理量										再生利用量	最終処分量	その他量		資源化量		
		委託直接最終処分量					委託中間処理後量							処理主体の内訳				
		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)			(委託処理後の処理内訳)			(Q)	(J)
		業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外				再生利用量	最終処分量			
種 類		1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	25	0	0			26	
燃え殻																		
汚泥		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	25	
有機性汚泥		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0		
無機性汚泥												25					25	
廃油		0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
一般廃油		0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃溶剤																		
その他																		
廃酸																		
廃アルカリ																		
廃プラスチック類		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃プラスチック		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃タイヤ																		
紙くず																		
木くず																		
繊維くず																		
動植物性残さ																		
動物系固形不要物																		
ゴムくず																		
金属くず		0				0	0	0	0	0	0	0	0				0	
ガラス陶磁器くず		0	0	0	0								0	0	0	0		
鉱さい																		
がれき類		0	0	0	0								0	0	0	0		
コンクリート片		0	0	0	0								0	0	0	0		
廃アスファルト																		
その他																		
ばいじん																		
その他の産業廃棄物		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
感染性廃棄物																		
混杂物等		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

参 考 資 料

< 調 査 票 等 一 式 >

調査票等目次

1. 調査依頼状（全業種共通）	115
2. 産業廃棄物等に関する調査票	
・形式1（製造業、電気・水道業）	116
・形式2（建設業）	118
3. 調査票の記入要領・記入例、産業廃棄物分類表	
・形式1-1（製造業等）	120
・形式1-2（水道業）	122
・形式2（建設業）	124
4. 産業廃棄物等の処理等に関する意識調査票（全業種共通）	126

環備 ー 445
令和4年9月9日

調査対象事業者様

秋田県生活環境部長
(公 印 省 略)

令和4年度秋田県産業廃棄物実態調査フォローアップ等調査へのご協力について（お願い）

産業廃棄物行政の推進については、日頃から格別のご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、県では第4次秋田県循環型社会形成推進基本計画を策定し、その達成状況等を把握するため、産業廃棄物の発生及び処理の状況等に係る調査を毎年度実施しています。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、本年度の調査について、下記によりご協力頂けますようお願い申し上げます。（ご回答いただいた情報は統計的に処理され、事業者名等が公表されることはありません）

なお、調査票の発送・回収、集計・解析等の調査実施を一般財団法人日本環境衛生センターに委託していますので、お問い合わせ及びご提出は、同センターへ直接お願いします。

1 提出物

産業廃棄物等に関する調査票（令和3年度実績）【その1】【その2】【その3】

（ご記入にあたっては、同封の記入要領をご参考にしてください）

※調査票等は、以下のホームページからダウンロードすることができます。

<https://www.jesc.or.jp/work/tabid/222/Default.aspx>

2 提出期限 令和4年10月7日（金）

3 提出方法（電子メールなど、電子データでの提出にご協力ください）

①郵送の場合

同封の返信用封筒にて、以下の宛先までご返送ください。

〒210-0828 神奈川県川崎市川崎区四谷上町 11-15
一般財団法人日本環境衛生センター 循環社会推進課

②電子メールの場合

以下のメールアドレスへご送信ください。

hik-r@jesc.or.jp

【お問い合わせ先：調査業務受託者】

一般財団法人日本環境衛生センター 循環社会推進課

電話：044-287-3280

【調査主体：調査業務委託者】

秋田県生活環境部環境整備課（廃棄物対策班）

電話：018-860-1624

調査票番号

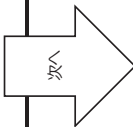
右記の<記入注意事項>をご確認の上、調査票に記入して下さい

事業所名		(業種)	
所在地	事業内容		
代表者(事業所長)氏名	記入者(副課、氏名)	(主要製品又は商品)	
記入年月日	令和 年 月 日	電話番号	- -
従業員数		製造品出荷額等(製造業のみ記入)	
貴事業所の令和4年3月31日現在の従業員数(パート等の臨時職員及び役員等を含む)を記入して下さい。		貴事業所の形態に対する番号に○を付けて下さい。	
千	百	千	百
十	十	十	十
万	万	万	万
円	円	円	円
人	万円/年	事業所の形態	
1. 発生した。		1. 工場・作業所・鉱業所	
2. 発生しなかった。		2. 開発研究	
		3. 事務所	
		4. その他()	



令和3年度の1年間に産業廃棄物等は発生しましたが、該当する番号に○を付けて下さい。
※再生利用された物、有価等で引き渡している副産物も対象として下さい。

1. 発生した。 2. 発生しなかった。



上記の「事業所の概要」を記入し、ご返送下さい。

令和3年度に貴事業所から発生した産業廃棄物等は令和2年度と比較して、どの様に変化しましたか。該当する番号に○を付けて下さい。	1. 大きく増加した。 2. やや増加した。 3. 変化していない。 4. やや減少した。 5. 大きく減少した。 6. その他・不明。
上記で1又は5と回答された方は、その理由をご記入下さい	
貴事業所から発生した産業廃棄物等を事業所内で焼却していますか。該当する番号に○を付けて下さい。	1. 焼却している(熱利用していない) 2. 焼却している(熱利用していない) 3. 焼却していない
貴事業所から発生した産業廃棄物等(汚泥)を事業所内で脱水していますか。該当する番号に○を付けて下さい。	1. 脱水している 2. 脱水していない

裏面の調査票(その2)に貴事業所から発生する産業廃棄物等の状況について記入して下さい。

<記入注意事項>

1. 全般的事項

- 本調査は、事業活動によって発生する産業廃棄物・特別管理産業廃棄物、有価あるいは無償で引渡している副産物が対象となります。
- 本調査の対象期間は令和3年度(令和3年4月1日～令和4年3月31日)です。
- 本調査は事業所単位で行いますので、調査票が送付された事業所に関して以下の質問にお答え下さい。そのため、貴事業所以外に貴社の本社、工場等があってもそれは調査の対象となりません。
- 調査票(その2)に貴事業所から発生する産業廃棄物等の状況について、記入して下さい。
- 産業廃棄物等が調査の対象期間中に何も発生しなかった場合は、本調査票(その1)の「事業所の概要」欄をご回答の上、ご返送下さい。
- 調査票の電子データは、日本環境衛生センターのホームページからダウンロードできます。
https://www.jesc.or.jp/work/tabid/222/Default.aspx
- 2. 調査票(その1)
 - 従業員数は令和4年3月31日現在としていますが、この時期での集計が難しい場合は、なるべく近い時期の従業員数を記入して下さい。
 - 製造品出荷額等とは、「製造品出荷額」、「加工賃収入額」、「修理料収入額」、「製造工程から出たくず及び廃物」の合計で、「その他の収入額」の合計で、消費税等の内国消費税を含んだ額です。ただし、調査票が送付された事業所の形態が本社事務のみ、事務所、営業所、配送センター及び販売所等であって、実際に製造、加工及び修理等を行っていない場合は、「0(ゼロ)」を記入して下さい。
 - 製造品出荷額等は、令和3年度(令和3年4月1日～令和4年3月31日)としていますが、この時期での集計が難しい場合は、なるべく近い時期の一年間の金額を記入して下さい。
 - 3. 調査票(その2・裏面)
 - 自ら再生利用したもの、他者に売却したもの、無償で引き渡しているものも対象となります。
 - 一般廃棄物は記入不要です(例:使用済みのOA用紙、新聞紙、雑誌、飲料の空き・空き・ペットボトル、厨芥など)。
 - 別紙「調査票の記入要領・記入例」を参考に、産業廃棄物等の発生及び処理状況について記入して下さい。
 - 同じ産業廃棄物等でも、中間処理方法や処分先が違えば、行を分けて記入して下さい。
 - 発生量には、脱水や焼却など中間処理を行う前の量を記入して下さい。
 - 4. 電子データ(回答調査票)の返送先
 - 電子データで回答された調査票は、下記のメールアドレスで提出することができます。

E-mail : hik-r@jesc.or.jp

産業廃棄物等に関する調査票（令和3年度実績）【その2】 ●別紙「調査票の記入要領・記入例」、「廃棄物等分類表」を参考に記入して下さい。 ●自社で発生した副産物（産業廃棄物、有価・無償引渡物）全てが対象となります。再生利用、売却をしている場合も記入して下さい。

①事業所で発生した廃棄物の名称
事業所で日常使用している名称で記入して下さい。（別紙「廃棄物等分類表」に示した具体例を参照）

②廃棄物の分類番号
別紙「廃棄物等分類表」をみて該当する4ケタの番号を記入して下さい。

③年間の発生量（中間処理する前の量）
各行ごとに1年間の発生量を、焼却や脱水などの中間処理をする前の量で記入して下さい。なお、単位は該当するものを選び、○で囲んで下さい。

④自社での中間処理方法
自社で中間処理された場合は、該当する処理方法の記号を下欄の「中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入して下さい。

⑤中間処理後の量
中間処理後の残量を記入して下さい。なお、単位は該当するものを選び、○で囲んで下さい。

⑥処理・処分方法
発生（自社で中間処理した場合は、中間処理後の廃棄物）した廃棄物の処理・処分方法を下欄の「処理・処分方法コード表」から選んで、その記号を記入して下さい。

⑦処理・処分先又は再生利用先の名称
処理・処分（⑥に該当する）等を行った先の名称を記入して下さい。

⑧処理・処分先又は再生利用先の所在地
処理・処分（⑦に該当する）等を行った処理・処分施設のある所在地を記入して下さい。

⑨委託中間処理の方法
⑥の「処理・処分方法」で「U」と回答された場合（中間処理を委託）は、委託先で中間処理された内容に該当する処理方法の番号を下欄の「委託中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入して下さい。

⑩委託中間処理後の再生利用・処分方法
委託先で中間処理された後の廃棄物の処理方法に該当する番号を下記から選んで、その記号を○で囲んで下さい。

1. 再生利用・リサイクルしている。
2. 埋立処分している。

⑪資源化の用途
⑥の「処理・処分方法」で「V1」「V2」「W1」「X1」「R8」又は前問⑩で「1」と回答された場合、下欄の「資源化用途コード表」から該当する番号を記入して下さい。

自社で発生した廃棄物等の発生量									
区分	行番	①廃棄物の名称	②分類番号	③年間発生量					単位
				百	十	万	千	百	
記入欄	1								kg t m ³ 1/2
	2								kg t m ³ 1/2
	3								kg t m ³ 1/2
	4								kg t m ³ 1/2
	5								kg t m ³ 1/2
欄	6								kg t m ³ 1/2
	7								kg t m ³ 1/2
	8								kg t m ³ 1/2
	9								kg t m ³ 1/2
	10								kg t m ³ 1/2
	11								kg t m ³ 1/2
	12								kg t m ³ 1/2
	13								kg t m ³ 1/2
	14								kg t m ³ 1/2
	15								kg t m ³ 1/2

自社での中間処理									
④方法番号	⑤中間処理後量					単位			
	1次処理	2次処理	3次処理	百	十				
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			
						kg t			
						m ³ 1/2			

自社処分・自社再利用、委託処理				委託中間処理			自社・委託での資源化	
区分	行番	①処理・処分方法	②処理・処分先又は再生利用先の名称	③処理・処分先又は再生利用先の所在地	④方法番号	⑤処理後の処分方法	⑥資源化用途	
記入欄	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
欄	6							
	7							
	8							
	9							
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							

④中間処理方法コード表

A：焼却 J：溶融 R：オートクレーブ
B：脱水 K：切断 S：薬物消毒
C：天日乾燥 L：焼成 T：金属(鉄)回収
D：樽乾焼 M：堆肥化(発酵) U：非鉄金属回収
E：油水分離 N：炭回収 W：油化
F：中和 O：リサイクル型 X：粒度調整・混合
G：破砕 P：乾燥・炭化 Y：分別・選別
H：分級 Q：煮沸 Z：その他

具体的な
10～93に該当するものがない場合、
①の枠中に具体的な用途を直接記入して下さい。

⑥処理・処分方法コード表

<自己処理>
V1：自社で再利用した。
V2：売却できないものを自社で再利用した。
W1：売却(利益があった)した。
Z1：自社で保管している。
Q1：自社の処分場で埋立処分した。

<産業廃棄物処理業者等・委託処理>
U1：処理業者に中間処理(資源化・リサイクルを含む)を委託した。
X1：民間の処理業者の処分場で直接埋立処理した。
S1：秋田県環境保全センターで直接埋立処理した。
T1：処理業者で直接埋立投入した。

⑨委託中間処理方法コード表

A：焼却 J：溶融 R：オートクレーブ
B：脱水 K：切断 S：薬物消毒
C：天日乾燥 L：焼成 T：金属(鉄)回収
D：樽乾焼 M：堆肥化(発酵) U：非鉄金属回収
E：油水分離 N：炭回収 W：油化
F：中和 O：リサイクル型 X：粒度調整・混合
G：破砕 P：乾燥・炭化 Y：分別・選別
H：分級 Q：煮沸 Z：その他

具体的な
10～93に該当するものがない場合、
①の枠中に具体的な用途を直接記入して下さい。

⑪資源化用途コード表

10：鉄鋼原料
20：非鉄金属等原料
30：燃料
41：飼料
42：肥料・堆肥
43：工業改良材
50：土木・建設資材
51：再生木材・合板
60：パルプ・紙原料
70：ガラス原料
80：プラスチック原料
81：再生タイヤ
90：セメント原料
91：再生油・再生溶剤
92：中和剤
93：高炉還元剤・コークス炉化学原料
98：その他

10～93に該当するものがない場合、
①の枠中に具体的な用途を直接記入して下さい。

産業廃棄物等に関する調査票(令和3年度実績)【その1】

形式2

秋田県

建設業

調査票番号

右記の<記入注意事項>をご確認の上、調査票に記入して下さい

事業所の概要	事業所名	所在地	代表者(事業所長)氏名	記入者 ふりがな(郵便、氏名)	記入年月日	令和	年	月	日	電話番号	-	-	-
--------	------	-----	-------------	-----------------------------------	-------	----	---	---	---	------	---	---	---

県内元請工事の有無
貴社が元請施工者として請負い令和3年度に完成した県内の工事はありませんか(出来高工事を含む)。該当する番号に○を付けて下さい。

1. 元請工事あり

2. 元請工事なし

次へ

元請完成工事高 (令和3年度、消費税を含む)									
貴社が元請施工者として請負い令和3年度に完成した県内工事の年間元請完成工事高(出来高工事を含む)を記入して下さい。									
千	百	十	千	百	十	万	千	百	十
億	億	億	億	億	億	億	億	億	億
万円/年									

※共同企業体(JV)による工事については、分担施工方式では各社持ち分の元請工事高と発生廃棄物等を記入し、共同施工方式では貴社が代表会社の場合のみ、元請完成工事高と発生廃棄物等を一括記入して下さい。

次へ

令和3年度の1年間に産業廃棄物等は発生しましたか。該当する番号に○を付けて下さい。 ※再生利用された物、有償等で引き渡している副産物も対象として下さい。	1. 発生した。	2. 発生しなかった。
---	----------	-------------

次へ

上記の「事業所の概要」「工事実績」を記入し、ご返送下さい。

裏面の調査票(その2)に貴社から発生する産業廃棄物等の状況について記入して下さい。

裏面へ

<記入注意事項>

1. 全般的事項

○本調査は、事業活動によって発生する産業廃棄物・特別管理産業廃棄物、有償あるいは無償で引渡している副産物が対象となります。

○本調査の対象期間は令和3年度(令和3年4月1日～令和4年3月31日)です。

○調査票(その2)には、貴社が秋田県で施工した全ての元請工事(出来高工事含む)から発生する産業廃棄物、副産物について記入して下さい。共同企業体(JV)による工事については、分担施工方式では各社持ち分の元請工事高と発生廃棄物を記入し、共同施工方式では貴社が代表会社の場合のみ、元請完成工事高と発生廃棄物を一括記入して下さい。

○調査票の電子データは、日本環境衛生センターのホームページからダウンロードできます。

<https://www.jesc.or.jp/work/tabid/222/Default.aspx>

2. 調査票(その1)

○元請完成工事高は、令和3年度(令和3年4月1日～令和4年3月31日)としていますが、この時期での集計が難しい場合は、なるべく近い時期の一年間の金額を記入して下さい。

3. 調査票(その2・裏面)

○自ら再生利用したもの、他者に売却したもの、無償で引き渡しているものも対象となります。

○一般廃棄物は記入不要です(例:使用済みのOA用紙、新聞紙、雑誌、飲料の空缶・空きびん・ペットボトル、厨芥など)。

○別紙「調査票の記入要領・記入例」を参考に、産業廃棄物等の発生及び処理状況について記入して下さい。

○同じ産業廃棄物等でも、中間処理方法や処分先が違えば、行を分けて記入して下さい。

○発生量には、脱水や焼却など中間処理を行う前の量を記入して下さい。

4. 電子データ(回答調査票)の返送先

○電子データで回答された調査票は、下記のメールアドレスで提出することができます。

E-mail: hik-r@jesc.or.jp

産業廃棄物等に関する調査票(令和3年度実績)【その2】

- 別紙「調査票の記入要領・記入例」、「廃棄物等分類表」を参考に記入して下さい。
- 自社で発生した副産物（産業廃棄物、有償・無償引渡物）全てが対象となります。

① 専業所で発生した廃棄物の名称 貴社で日常使用している名称で記入して下さい。(別紙「廃棄物等分類表」に示した具体例を参照)	② 廃棄物の分類番号 別紙「廃棄物等分類表」をみて該当する4ケタの番号を記入して下さい。	③ 年間の発生量 (中間処理する前の量) 各行ごとに1年間の発生量、焼却や脱水などの中間処理をする前の量で記入して下さい。なお、単位は該当するものを選び、○で囲んで下さい。
④ 自社での中間処理方法 自社で中間処理された場合は、該当する処理方法の記号を下欄の「中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入して下さい。	⑤ 中間処理後の量 中間処理後の残量を記入して下さい。なお、単位は該当するものを選び、○で囲んで下さい。	
⑥ 処理・処分の方法 発生 (自社で中間処理した場合は、中間処理後の廃棄物) した廃棄物の処理・処分方法を下欄の「処理・処分方法コード表」から選んで、その記号を記入して下さい。	⑦ 処理・処分先又は再生利用先の名称 処理・処分 (⑥に該当する) 等を行った先の名称を記入して下さい。	⑧ 処理・処分先又は再生利用先の所在地 処理・処分 (⑦に該当する) 等を行った処理・処分施設のある所在地を記入して下さい。
⑨ 委託中間処理の方法 ⑥の「処理・処分の方法」で「U」と回答された場合 (中問処理を委託) は、委託先で中間処理された内容に該当する処理方法の番号を下欄の「委託中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入して下さい。	⑩ 委託中間処理後の再生利用・処分の方法 委託先で中間処理された後の廃棄物の処理方法に該当する番号を下記から選んで、その記号を○で囲んで下さい。	1. 再生利用・リサイクルしている。 2. 埋立処分している。
⑪ 資源化の用途 ⑥の「処理・処分の方法」で「V1,V2,W1,X1,R6」又は前問⑩で「1」と回答された場合、下欄の「資源化用途コード表」から該当する番号を記入して下さい。		

[illegible]

<調査票の記入要領・記入例>

調査対象期間

- この調査の調査期間は、令和3年度（令和3年4月1日～令和4年3月31日）です。この期間中の廃棄物の発生と処理・処分の状況を質問①～④までの流れに従って記入して下さい。

調査対象とする事業所と廃棄物

- 廃棄物が法改正された事業所内で発生した廃棄物等だけが記入の対象となります。
- 廃棄物がどのように分類されているかを示すために、裏面に「廃棄物等分類表」を掲げてありますので参考にして下さい。

発生量について

- 発生した廃棄物の「名称」と「数量」の回答欄には、「焼却」、「脱水」等の処理を行う前の「名称」と「数量」をお答え下さい。

○自社で焼却している場合、発生した廃棄物とは焼却前のもの（です）。（記入例Dを参考にしてください）

木くず、紙くず、廃プラスチック等を焼却している場合は「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、燃やす前の名称とその分類番号となります。なお、焼却後の灰の量が「⑤中間処理後量」となります。

○自社で脱水している場合は発生した廃棄物とは脱水前のものです。（記入例E・Fを参考にしてください）

汚泥の発生量は、脱水、乾燥等の中間処理を行う前の量であり、脱水機等に投入された1年間の量が「③年間発生量」となります。なお、脱水前の重量を把握していない場合は、下記の式での計算して下さい。

$$\text{＜式＞：（脱水前の汚泥発生量）} = \text{（脱水後の含水率）} \times \text{（100\% - 脱水後の含水率）} \div \text{（100\% - 脱水前の含水率）}$$

- ただし、以下のものについては、中間処理後のものを発生量としてお答え下さい。

- 焼却、廃アルカリを公共下水道（河川、公共下水道等）へ放流するために中和処理した場合。 → 中和処理後の「汚泥」を発生量とします。
- 含油排水を油水分離した場合は。 → 油水分離後の「油泥」と「油でい」等を個別に（それぞれ1行ずつ）発生量とします。

調査票(その2)の記入例

太字の部分が、記入事例箇所を示しています。記入例を参考に調査票(その2)を記入して下さい。

本紙の裏面の「廃棄物等分類表」を参照して下さい。

該当する単位に、必ず〇をつけて下さい。

微量又は液体廃棄物を焼却し、焼却灰が1kg未満の場合は、「0（ゼロ）」を記入し、単位はkgに〇を付けて下さい。

区分 F行 2番	①廃棄物の名称	②分類番号				③年間発生量				④方法番号				⑤中間処理後量				単位
		百	十	万	千	百	十	万	千	百	十	万	千	百	十	万	千	
記入例：A	① 鉄板くず	1	2	1	0					6	0							kg
記入例：B	② 機械油	0	3	1	1					1	0	8	0					kg
記入例：C	③ プラスチック製品くず	0	6	1	0					7	5	0						kg
記入例：D	④ 木くず	0	8	0	1					1	0							kg
記入例：E	⑤ 排水処理汚泥	0	2	2	1					5	0							kg
記入例：F	⑥ 特定有害汚泥	0	2	2	9					1	0							kg
欄	⑦ 排水処理汚泥	0	2	2	1					1	0	0						m ³

記入例：A

- ・鉄板の加工の際に鉄板くずが年間6t発生した。
- ・これは、秋田市にある㈱〇〇に売却した。
- ・相手先では鉄鋼材料として利用している。

記入例：B

- ・月平均で一斗缶5本ぐらいの機械油が発生した。
- ・重量換算すると年間に1,080kgである。
- ・これは、青森県弘前市の再生業者××商店に処理を有料で依頼した。
- ・相手先では、油水分離後、燃料として再利用している。（18kg×5本×12ヶ月）

記入例：C

- ・プラスチック製品くずが年間750kg発生した。
- ・これは、小坂町にある▼〇㈱に処理を委託した。
- ・委託先では、焼却処理し、埋立処分している。

記入例：D

- ・木くずが年間10t発生した。
- ・自社の焼却炉で全て焼却した。
- ・焼却灰は、500kg程度で自社の処分場（横手市）で埋立処分した。

記入例：E

- ・排水処理汚泥が発生した。
- ・自社の施設で脱水→乾燥を行い、脱水後の残さが10t（含水率85%）であった。
- ・脱水前の量は、計算していないので正確ではないが、脱水前の含水率が97%であるため計算すると、50t程度となる。
- ・処理後の汚泥は、△△㈱に運輸を委託し、岩手県八幡平市に処分場を保有する〇〇㈱で直接埋立処分した。
- ・計算式 10t × (100-85) ÷ (100-97) = 50t

記入例：F

- ・特定有害汚泥と排水処理汚泥が110t発生した。
- ・特定有害汚泥は年間10t発生し、自社での中間処理は行わず、能代市に処理施設を保有する△△産業に収集・運搬及び中間処理を委託した。
- ・業者では、中和及び無害化処理した後、埋立処分している。
- ・また、排水処理汚泥は、濃縮後の100tを自社の施設で脱水し、処理後の残さ25tは羽後町の南〇〇で埋立処分した。

記入について

- 記入対象は、事業活動によって発生する産業廃棄物、有価あるいは無償で引渡している副産物です。
- 同じ種類の廃棄物でも中間処理方法や処分方法、委託処理先等が異なる場合は、質問①の欄から行を分けて記入して下さい。
- 処理業者へ処理・処分を委託している場合は、マニフェスト伝票等を参考に記入して下さい。不明な点は、具体的な内容を処理業者に確認したうえで記入して下さい。

④ 中間処理方法コード表

A：焼却
B：脱水
C：乾燥
D：油分離
E：油水分離
F：中和
G：溶出
H：圧搾
I：圧搾・乾燥
J：溶融
K：切削
L：焼成（セメント原料用）
M：焼成（焼酎）
N：焼成（焼酎）
O：圧搾・乾燥
P：乾燥減湿
Q：煮沸
R：オートクレーブ
S：溶融
T：金属回収
U：非鉄金属回収
V：濃縮
W：溶化
X：分別・選別
Y：分別・選別
Z：その他

⑥ 処理・処分方法コード表

<自己処理>
V1：自社で再利用した。
V2：売却（利益があった）した。
Z1：自社で保管している。
Q1：自社の処分場で埋立処分した。
<産業廃棄物処理業者等へ委託処理>
U1：産業廃棄物処理業者に中間処理（無害化・リサイクルを含む）を委託した。
X1：廃品回収（業者）業者、あるいは輸入業者、関連企業等で再生処理をした。
S1：民間の処理業者の処分場で直接埋立処分した。
S2：民間の処理業者の処分場で直接埋立処分した。
T1：処理業者で直接埋立処分した。
<市町村・一部事務組合へ委託処理>（ごみ収集を含む）
R1：市町村等が設置する埋立処分場へ搬入した。
R5：市町村等が設置する埋立処分場へ搬入した。
R6：市町村等が設置するリサイクル施設へ搬入した。
<その他>
Z9：その他

⑨ 委託中間処理方法コード表

A：焼却
B：脱水
C：乾燥
D：油分離
E：油水分離
F：中和
G：溶出
H：圧搾
I：圧搾・乾燥
J：溶融
K：切削
L：焼成（セメント原料用）
M：焼成（焼酎）
N：焼成（焼酎）
O：圧搾・乾燥
P：乾燥減湿
Q：煮沸
R：オートクレーブ
S：溶融
T：金属回収
U：非鉄金属回収
V：濃縮
W：溶化
X：分別・選別
Y：分別・選別
Z：その他

⑪ 資源化用途コード表

10：鉄鋼原料
20：非鉄金属等原料
30：燃料
41：燃料
42：燃料
43：工業用燃料
50：土木・建設資材
51：土木・建設資材
60：VILP・紙質原料
70：ガラス原料
80：プラスチック原料
90：セメント原料
91：再生紙
92：再生紙
93：再生紙
98：その他

⑩ 処理後の処分方法

- 1 再生利用・リサイクルしている
- 2 埋立処分している

⑧ 処理・処分の方法	⑨ 処理・処分先又は再生利用の名称	⑩ 処理・処分先又は再生利用の所在地			⑪ 資源化用途
		1次処理	2次処理	3次処理	
W 1	㈱〇	秋田	秋田	1・2	10
U 1	××商店	青森県	弘前	① 2	30
U 1	▼〇㈱	小坂	横手	1・2	
Q 1	自社	岩手県	八幡平	1・2	
S 1	〇〇㈱	能代	能代	① 2	
U 1	△△産業	羽後	羽後	1・2	
S 1	㈱〇〇			1・2	

ここまでは、中間処理、再生利用や最終処分した先の名称を記入して下さい。委託した廃棄物が中間処理後に最終処分されている場合は、中間処理業者の名称を記入して下さい。

魔藥等分類表(その1)

※爆発性、毒性、感染性、腐食性などの有害な性状を有している廃棄物は、本用紙右下の特別管理産業廃棄物の分類表をご参照ください。

1. 産業廃棄物(特別管理産業廃棄物を除く)

[illegible]

魔薬等分類表(その2)

品名	分類番号	類 別	具 体 例
ガラススズくず 陶磁器くず 石膏ボードくず コンクリート製品くず	1310 1320 1330 1340	ガラスくず 陶磁器くず 石膏ボードくず コンクリート製品くず	白熱球、窓ガラス、ひん顔、グラスウール、ガラス繊維、光学レンズ、ガラスタイルガラス、理化実験用ガラス器具、薬品ビン
炭素粉	1401	炭素粉	陽極炭、サンプラスタス陽極炭
炉さい類	1402	炉さい類	高炉のさい、転炉のさい、平炉のさい、転炉のさい、電気のさい、キューボラのさい、ドロマ、ガラマシ
レンガ破片など	1403	レンガ破片など	不良焼石、ボタ、粉砕物、崩し、破石くず
アスファルト	1510	コンクリート破片	コンクリート破片、コンクリートブロック破片
レンガ破片など	1520	レンガ破片など	アスファルトコンクリートの破片
動物物の死体	1600	動物物の死体	鉄道踏切路の砂利、骨材、石灰、レンガ、スレート、タイル、新築材
ばいじん	1700	ばいじん	家畜の死体、牛の死体の尿、豚の死体の尿、馬の死体の尿、鶏の死体の尿
燃え殻	1800	燃え殻	電気爐じり燃焼残渣ダスト、集じん燃焼残渣ダスト、煙道・塵袋に付着堆積したすく燃料などの可燃物（石炭灰、重油、木屑、炉排出物、クリンカなど）
燃え殻	0101	燃え殻	【注意】「燃え殻」とを自己調整処理した場合は、「燃え殻」ではなく、焼却する際の「灰」でなく、「本くず」等を発生物質の種類として記入してください。
混合廃棄物	0102	混合廃棄物	腐食性炭・酸カーボン
安定型混合廃棄物	2100	安定型混合廃棄物	腐食性プラスチック、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、ガラス破片等の破片と混合物を分別できない廃棄物
管理型混合廃棄物	2200	管理型混合廃棄物	腐食性プラスチック、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、ガラス破片以外の廃棄物を混入混合物が分別できない廃棄物
自動車	3000	自動車	乗用車、トラック、二輪車
電気機械器具	3100	電気機械器具	プリンタ配線板、テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、パソコン、電話機、自動販売機など
電池類	3500	電池類	鉛蓄電池（バッテリー）、乾電池（水銀を含むものを除く）
複合材料	3600	複合材料	2つ以上の異なる素材が一体的に組み合わされている製品の廃棄物
シュレッダーダスト	2300	シュレッダーダスト	廃自動車破砕物、廃電気機械器具破砕物
石油含有産業廃棄物（非飛散性）	2400	石油含有産業廃棄物（非飛散性）	工作車の新製・改造・修繕に伴って生じた産業廃棄物であって、石炭その重量の0.01%を超えて含有するもの、ヒート交換オイル（廃プラスチック類）、スレート板、サンディング、石炭セメント板（ざねぎ）など
水銀使用製品産業廃棄物	2500	水銀使用製品産業廃棄物	水銀電池、空気清浄機、照明機器（蛍光灯ランプ、HIDランプ）、HIDランプ、放射線ランプ）、医療品、水銀体温計、水銀血圧計など、水銀等の使用に関する表示がある製品
水銀含有ばいじん等	2600	水銀含有ばいじん等	水銀を1kgにつき15mgを超えて含有するもの（ばいじん、粉末状、汚泥、泥さい） 水銀を1kgにつき15mgを超えて含有するもの（液状、塊状、塊入り）

※爆発性、毒性、感染性、腐食性などの有害な性状を有している廃棄物は特別管理産業廃棄物として分類されます。

2. 特別管理産業廃棄物

揮発成分（酸やすい酸油、カプリン、灯油、軽油、シナプア、トルエン、キシレン、エーテルなど）	0318	油	特定有害物質を含む燐状灰
飼食性炭酸	0408	炭酸	水素イオン濃度指数（pH）2.0以下の炭酸
飼食性炭酸アルカリ	0508	炭酸アルカリ	水素イオン濃度指数（pH）12.5以上の炭酸アルカリ
感染性炭酸	2018	炭酸	血液、血清、血漿、体液（精液を含む）、血液製剤、血液等が付着した原料・包装材、メーシ、試験管、シャーシ、ガラス（くすり）、血液等が付着した製剤・手術用手袋等、飼衛生用プラスチック類等・保護等に用いたもの（注射器、シャーシ）、当該製品が付着した開封ラップ、ラップシール類等
特定有害物質を含む燐状灰	0109	燐状灰	特定有害物質を含む燐状灰
特定有害有機物を含む汚泥	0219	汚泥	特定有害物質を含む汚泥
特定有害無機性汚泥	0229	汚泥	特定有害物質を含む汚泥
特定有害炭酸油	0319	炭酸油	特定有害物質を含む炭酸油、トリクロロエチレン・テトラクロロエチレンを含む炭油
特定有害炭酸	0409	炭酸	特定有害物質を含む炭酸性炭酸
特定有害炭酸アルカリ	0509	炭酸アルカリ	特定有害物質を含む炭酸アルカリ性炭酸
特定有害炭酸石綿等	1538	炭酸石綿等	炭酸付石綿（アスベスト）、石綿含有保温材、大気汚染防止法の特定制別シロイ禁止施設を有する事業場の集じん装置に使用された炭酸付石綿など
特定有害炭酸	1409	炭酸	特定有害物質を含む炭酸
特定有害ばいじん	1909	ばいじん	特定有害物質を含むばいじん
炭酸 P C B	7419	P C B	炭酸 PCB等、PCB汚染物、PCB処理物
炭酸 銀 等	7440	銀 等	特定の施設において生じた炭酸銀又は炭酸化銀化合物（炭酸銀使用製品が産業廃棄物になったものに加工された炭酸銀等を含む）、水銀長しくはその化合物が含まれている炭酸銀使用製品、又は水銀使用製品が産業廃棄物となったものから回収した炭酸銀

＜調査票の記入要領・記入例＞

調査対象期間

- この調査の調査期間は、令和3年度（令和3年4月1日～令和3年3月31日）です。この期間中の廃棄物等の発生と処理・処分状況を、質問①～④までの流れに従って記入して下さい。

調査対象とする事業所と廃棄物

- この調査では、**真円で施工した元請工事から発生した廃棄物等だけが記入の対象**となります。
- 廃棄物がどのように分類されているかを示すために、裏面に「**廃棄物等分類表**」があり、**その中で参考**にして下さい。

発生量について

- 発生した廃棄物の「名称」と「数量」の回答欄には、「**焼却**」「**脱水**」等の処理を行う前の「**名称**」と「**数量**」をお答え下さい。

○**自社で焼却**している場合、発生した廃棄物とは**焼却前のもの**です。（記入例Cを参考にして下さい）

木くず、紙くず、廃プラスチック等を焼却している場合は「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、②分類番号」は、**焼却す前の名称とその分類番号**となります。なお、焼却後の灰の量が「⑤中間処理量」となります。

○**自社で脱水**している場合は発生した廃棄物とは**脱水前のもの**です。（記入例Eを参考にして下さい）

汚泥の発生量は、脱水、乾燥等の中間処理を行う前の量であり、脱水機等に投入された1年間の量が「③年間発生量」となります。なお、脱水前の重量を把握している場合は、下記の式より計算して下さい。

$$\text{＜式＞：（脱水前の汚泥発生量）} = \text{（脱水後の汚泥量）} \times \text{（100\%-脱水後の含水率\%）} \div \text{（100\%-脱水前の含水率\%）}$$

- ただし、以下の場合については、中間処理後のものを発生量としてお答え下さい。

○**廃液、廃アルカリを公共水域（河川、公共下水道等）へ放流**するために中和処理した場合、→ 中和処理後の「汚泥」を発生量とします。
○含油廃水を油水分離した場合は、→ 油水分離後の「廃油」と「油でい」等を個別に（それぞれ1行ずつを）発生量とします。

調査票（その2）の記入例

太字の部分が、記入事例箇所を示しています。記入例を参考にして調査票（その2）を記入して下さい。

本紙の裏面の「産業廃棄物等分類表」を参照して下さい。

該当する単位に、必ず○をつけて下さい。

区分	F 行 番	①廃棄物の名称	②分類番号	③年間発生量				④方法番号				⑤中間処理量				
				百 万	十 万	千	百	十	万	千	百	十	万	千	百	十
記入例：A	1	鉄筋くず	1 2 1 0													kg m ³
記入例：B	2	木くず	0 8 0 1													kg m ³
記入例：C	3	廃プラスチック	0 6 1 0													kg m ³
記入例：D	4	廃プラスチック	0 6 1 0													kg m ³
記入例：E	5	ベントナイト汚泥	0 2 2 2													kg m ³
記入例：F	6	コンクリートのがれき	1 5 1 0													kg m ³
記入例：F	7	コンクリートのがれき	1 5 1 0													kg m ³
欄	8															

⑥処理・処分の方法	⑦処理・処分先又は再生利用先の名称	⑧処理・処分先又は再生利用先の所在地	⑨方法番号 1次処理 2次処理 3次処理	⑩中間処理量				⑪廃棄物の処分方法			
				1次処理	2次処理	3次処理	単位	1次処理	2次処理	3次処理	単位
W 1	解△産業	秋田 市					kg t				10
U 1	〇〇商店	男鹿 市	G				m ³ t				30
S 1	解△	大湯 町					kg t				30
U 1	解△	能代 市	I				kg t				30
S 1	〇〇解	福島県 郡山 市					kg t				30
S 1	解△	仙北 市					kg t				30
U 1	△△解	小坂 町	G				m ³ t				50

ここでは、中間処理、再生利用や最終処分した先の名称を記入して下さい。委託した廃棄物が中間処理後に最終処分されている場合は、中間処理業者の名称を記入して下さい。

記入について

- 記入対象は、事業活動によって発生する産業廃棄物、有価あるいは無償で引渡している副産物です。
- 同じ種類の廃棄物でも中間処理方法や処分方法、委託処理先等が異なる場合は、質問①の欄から行を分けて記入して下さい。
- 処理業者へ処理・処分を委託している場合は、マニフェスト伝票等を参考に記入して下さい。不明な点は、具体的な内容を処理業者に確認したうえで記入して下さい。

④中間処理方法コード表

④中間処理方法コード表	⑤処理・処分方法コード表	⑥処理・処分先又は再生利用先の所在地	⑦処理・処分先又は再生利用先の名称	⑧処理・処分先又は再生利用先の所在地	⑨方法番号	⑩中間処理量	⑪廃棄物の処分方法
A：焼却 B：脱水 C：天日乾燥 D：自然乾燥 E：油水分離 F：中和 G：破砕 H：分級 I：選別 J：圧搾 K：切断 L：焼結（セメント原料） M：埋立（汚泥） N：埋立（汚泥） O：リサイクル P：乾燥減量 Q：乾燥 R：オートクレーブ S：熱分解 T：金属回収 U：非鉄金属回収 V：濃縮 W：溶化 X：知照調整・混合 Y：分別・選別 Z：その他	<自己処理> V1：自社で再利用した。 V2：売却できないものを自社で再利用した。 W1：売却（売却があった）した。 Z1：自社で保管している。 Q1：自社の処分場で埋立処分した。 <産業廃棄物処理業者等へ委託処理> U1：自社の処分場に中間処理（焼却、乾燥、あるいは輸入業者、関連企業等）を委託し、自社の処分場で埋立処分した。 X1：焼却（セメント原料） S1：民間の処理業者の処分場で直接埋立処理した。 S2：民間の処理業者の処分場で直接埋立処理した。 T1：処理業者で直接埋立投入した。 P1：乾燥減量 R1：オートクレーブ S1：熱分解 T1：金属回収 U1：非鉄金属回収 V1：濃縮 W1：溶化 X1：知照調整・混合 Y1：分別・選別 Z1：その他	<秋田県内> 秋田 市 男鹿 市 大湯 町 能代 市 福島県 郡山 市 仙北 市 小坂 町	<秋田県外> 秋田 市 男鹿 市 大湯 町 能代 市 福島県 郡山 市 仙北 市 小坂 町	<秋田県内> 秋田 市 男鹿 市 大湯 町 能代 市 福島県 郡山 市 仙北 市 小坂 町	1次処理 2次処理 3次処理	1次処理 2次処理 3次処理	1次処理 2次処理 3次処理

廃棄物を委託している場合で、委託後の具体的な処理・処分を把握していない場合は、委託先へ確認して記入して下さい。また、不定期の回収業者等で、住所などの詳細が不明な場合は、わかる範囲で記入して下さい。

⑩処理後の処分方法
1 再生利用・リサイクルしている
2 埋立処分している

記入例：A

- ・工事現場から鉄筋くずが年間9 t発生したが、すべて、秋田市の解△産業に売却した。
- ・相手先では、鉄鋼材料として再生利用している。

記入例：B

- ・工事現場から建設木くずが年間に2 t発生して30 t合計（すべて満杯）発生した。
- ・1 t当たりの重量が1 t程度であるため、重量に換算すると、30 tである。
- ・これは、男鹿市にある〇〇商店に料金を払って処理を委託した。
- ・相手先では、破砕チップ化し、燃料として再生利用している。

記入例：C

- ・工事現場から廃プラスチックが年間10 t発生した。
- ・すべて自社の焼却炉で焼却した。その灰の量は年間で1 t程度であり、大湯町にある解△の処分場で埋立処分した。

記入例：D

- ・工事現場から廃プラスチックが年間5 m³発生した。
- ・これは、能代市にある解△の中間処理を委託した。
- ・委託先では圧縮して固形燃料を製造している。

記入例：E

- ・工事現場からベントナイト汚泥が発生したが、すべて工事現場内で脱水した。
- ・脱水後の汚泥量は、100 t（含水率70%）であった。
- ・脱水前の量は、計量していないので正確ではないが、脱水前の含水率が95%であるため計算すると600 tとなる。
- ・処理後の汚泥は、焼却口に運搬を委託し、福島県郡山市内に管理型処分地を保有する〇〇解で埋立処分した。
- ・計算式 100 t × (100 - 70) ÷ (100 - 95) = 600 t

記入例：F

- ・工事現場からコンクリートのがれき等が10 tダンブで12台発生した。重量に換算すると120 t程度である。
- ・このうち、10 tは、焼却口に収集・運搬を委託し、仙北市に処分場を保有する解△で処分した。
- ・残りの10 tは、小坂町に破砕プラントを保有する△△解に中間処理を委託した。△△解では破砕後、骨材として再生利用している。

廃棄物等分類表

産業廃棄物

種 類		分類番号	具 体 例
有機性汚泥 (泥状のもの)	汚泥	0211	排水処理汚泥、ビルビット汚泥（し尿を含むものは除く）
	無機性汚泥	0222	建設高含水率汚泥、ベントナイト汚泥、道路側溝汚泥<建設残土は除く>
	一般廃油	0311	重機等の潤滑油、エンジンオイル、機械油、グリス、切削油、絶縁油
	廃溶剤	0320	アルコール類、ケトン、洗淨油
	廃樹脂	0330	アスファルト、タールビッチ類
	油で	0340	タンクスラッジ、オイルスラッジ、オイルトラップ汚泥、油性スカム
	油		油の滲みだつエス、油紙くず、廃吸油材、廃シール材、クレオソート廃油、アンダーコートカ
	油付着物等	0350	汚塗料（廃状）、インクかす、廃ワニス
	酸	0401	廃液で酸性を呈するもの
	無機性の酸性廃液	0401	廃液でアルカリ性を呈するもの
廃アルカリ	アルカリ性廃液	0501	【熱可塑性】ポリエチレン樹脂、ポリスチレン樹脂、ポリプロピレン樹脂 【熱硬化性】フェノール樹脂（ベークライト）、ウリア樹脂、エポキシ樹脂、メラニン樹脂、ウレタン樹脂 【合成繊維】ナイロン繊維、ポリエステル繊維、アクリリル繊維、混紡繊維、化繊ロープ、化学繊維 【その他】フラスチック製品くず、プラスチック容器、発泡スチロール、ビニールシート、フィルム、フラスチックパイプ、セルロイド、繊維強化プラスチック（FRP）、塗料かす（固形）、接着剤かす、合成ゴムくず、塩化塩
	廃プラスチック類	0610	
	使用済みタイヤ	0620	使用済みタイヤ
	石棉含有産業廃棄物（非飛散性）	0630	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた産業廃棄物であって、石棉をその重量の0.1%を超えて含有するもの。
	紙くず	0701	建材の包装紙、建設現場から排出される紙くず
	木くず	0801	木くず、おがくず、かんなくず、バーク類、竹、パニヤ、パニヤボード類、伐採木、伐採材、伐根材
		0802	パレット、パレットへの貨物の積付けのために使用したこん包用の木材
	繊維くず	0900	羊毛、綿、絹、麻等の天然繊維、レーヨン、アセテート連続繊維（天然繊維が主体のもの）
	ゴムくず（天然ゴム）	1100	天然ゴムくず
	鉄くず	1210	鉄くず、スクラップ（主体が鉄製の場合）、プリキくず、トタンくず、空き缶（鉄製のもの）
金属くず	非鉄くず	1220	銅線、銅くず、アルミくず、アルミ缶
	混合金属くず	1230	自社にて分別を行わなかったものや分別不可能なもの
	ガラスくず	1310	白熱電球、窓ガラス、びん類、グラスウール
	陶磁器くず	1320	かわら、土甕、陶管、タイル
	石膏ボード	1330	石膏ボードくず
	石棉含有産業廃棄物（非飛散性）	1350	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた産業廃棄物であって、石棉をその重量の0.1%を超えて含有するもの。
	コンクリート片	1510	コンクリート破片、コンクリートブロック破片
	廃アスファルト	1520	アスファルトコンクリートの破片
	レンガ破片など	1530	鉄道用線路の砂利、骨材、石材、れんが、スレート、タイル、断熱材
	石綿含有産業廃棄物（非飛散性）	1540	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた産業廃棄物であって、石棉をその重量の0.1%を超えて含有するもの。
混合物	安定型混合廃棄物	2100	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類のみを含む混合廃棄物で分別ができない廃棄物
	管理型混合廃棄物	2200	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類以外の廃棄物を含む混合廃棄物で分別ができない廃棄物
	廃自動車	3000	廃自動車、廃二輪車
	廃電気機械器具	3100	プリンタ配線板、テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、パソコン、電話機、自動車赤機など
	廃電池類	3500	鉛蓄電池（バツテリー）、乾電池（水銀を含むものを除く）
	複合材料	3600	2つ以上の異なる素材が一体的に組み合わさっている製品の廃棄物
	水銀電池、空気亜鉛電池、照明機器（蛍光灯ランプ、HIDランプ、放電ランプ）など、水銀等の使用に関する表示がある製品	2500	
	水銀含有ばいじん等	2600	水銀を1kgにつき15mgを超えて含有するもの（ばいじん、燃え殻、汚泥、鉱さい） 水銀を1Lにつき15mgを超えて含有するもの（廃酸、廃アルカリ）

※腐食性、毒性、感染性、腐食性などの有害な性状を有している廃棄物は特別管理産業廃棄物として分類されます。

特別管理産業廃棄物

種 類	分類番号	具 体 例
引火性廃油	0318	揮発油類（燃えやすい軽油、ガソリン、灯油、軽油、シンナー、トルエン、キシレン、エーテルなど）
腐食性廃酸	0408	水素イオン濃度指数（p H）が2.0以下の廃液
腐食性廃アルカリ	0508	水素イオン濃度指数（p H）が12.5以上の廃液
特定有害廃棄物汚泥	0229	特定有害物質を含む汚泥
特定有害廃棄物廃油	0319	特定有害物質を含む廃油
特定有害廃棄物廃酸	0409	特定有害物質を含む酸性廃液
特定有害廃棄物アルカリ	0509	特定有害物質を含むアルカリ性廃液
特定有害廃棄物廃石棉等	1538	吹き付け石棉（アスベスト）、石棉含有保温材
廃PCB等、POB等、POB5染物、POB処理物	7419	
廃水銀等	7440	特定の施設において生じた廃水銀又は廃水銀化合物（水銀使用製品が産業廃棄物になったものに封入された廃水銀等を除く）、水銀若しくはその化合物が含まれている産業廃棄物、又は水銀使用製品が産業廃棄物となったものから回収した廃水銀

調 査 票 番 号

産業廃棄物等に関する調査票【その3】

「産業廃棄物等に関する調査票」と同様に記入し、併せてご返送ください。
 なお、「産業廃棄物等に関する調査票」の【その1】にて、「廃棄物等の発生がない」とご回答いただいた場合は、本調査票の回答は不要です。

設問1 電子マニフェストの利用状況について

貴事業所では、「電子マニフェストシステム」を利用していますか。該当する番号を1つ選び、○を付けてください。また、「2」を選択した場合は導入時期を、「4」を選択した場合は利用しない理由をご回答ください。

- () 1. システムを利用している。
- () 2. システムの利用を予定、又は検討している。
- () 3. 補助等の支援があれば、システムを利用したい。
- () 4. システムは利用しない。
- () 5. システムを利用するか、利用しないかは、わからない。
- () 6. 電子マニフェストシステムを知らない。

導入予定時期：令和 年頃

上記で「4. システムは利用しない」と回答した方にお伺いします。システムを利用しない理由について、該当する全ての項目に○を付けてください。(複数回答可)

- () A. 排出量が少ない。又は取引先が少ない。 () B. 取引先で導入されていない。
- () C. 独自システムで管理している。 () D. コストの問題がある。
- () E. システムが難しくて分からない。 () F. 現状として問題がない。
- () G. その他(具体的に：)

設問2 自由記載(県への要望等)

産業廃棄物等の減量化・リサイクル、適正処理等を推進するにあたり、県への要望等があればご記入ください。

(例) 適正処理・リサイクルに関する研修会等を実施してほしい
 環境負荷の少ない製品や、リサイクル認定製品の普及等に対する支援をしてほしい 等

以上で、アンケートは終了です。ご回答ありがとうございました。